

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>量徳小 6月25日</p>	<p>この教育委員会の区分けを見たときに、明治7年に学校が開設され、あと2、3年で140周年を迎えるこの量徳小学校、小樽教育発祥の地というのがこの場所だと思う。教育委員会とはそういった文化芸能を管轄するはずなのに、一切そういうことは入っていない。商業経済でいうなら、小樽運河を潰してしまえということではないか。そういう配慮があって、昔はここしかなくて、このまちの全部が集まった起点ではないか。ここの文章の中でどうして小樽の伝統的なものを配慮されないのか。自分の息子は、ここの量徳、住吉中を卒業した。住吉中を閉校にした一番の理由は、グラウンドが狭いというので全然、反対も出来た。この資料を見ると、量徳のグラウンドが一番広いのに、それは関係ないということか。子どもたちのことを考えてやってくれるのは、すごく良いことだと思う。だけど、そういう小樽の伝統とか歴史を大切にすることも教育委員会の仕事ではないか。なんで一言もそういうことを書かないのか。方針は変わったのか。伝統とかは関係無く小樽運河を埋めてしまえという考えと教育委員会の考え方は、同じという気がする。</p> <p>もう一つ、自分の考えだが、前回、量徳小学校もここに残って、小樽病院も隣に作る、隣の土地で工事ができると言ったら、そんなのためだと市長に言われた。第2病院があって小樽病院がある。そこの半分を何とかしようとしたときに、法律的なことはよく分らないが、今、教育委員会が入っている旧東山中学校はガバッと空いている。石山中学校もまだ小樽市のものだが、法律的にどうしたらいいか知らないが、グラウンドがでかくて何とでも対処できるのではないか。規模の問題にしても、380何人がどうのこうのと、室蘭市の市立病院もすごい借金をこいている。小樽だって20何年後かには、人口が十万人を切るという話があって、380何人がいいのか。教育委員会の誰でもいいから、どうして隣の土地で半分ずつ施工出来ないのか自分では分からないが、あなた方は、この学校を潰す、廃校にするとやっているのだから、当然知っているはずだ。こういう理由で私も素人、あなた方も病院建設については素人のはずだ。この素人が納得して説明に来ているはずだ。私達素人が分るように、なぜ半分ずつ敷地の問題から、工法から色々なものがあると思うが、それを教育委員会の担当の方から説明してほしい。要は質問が二つ。小樽市は、明治7年開校のあと2、3年で140周年を迎える量徳を潰す。それが一言も書いていない、教育委員会は伝統とかそういうものを全部無視するのか、それが一つ。素人が分るように隣に工事を二期に分けてどうしてできないのか。あなたがたは、学校を潰すということで来ているのだから、当然誰かが知っていると思うのでこの二つについて願います。</p>	<p>この再編の考え方で、一点目に量徳小学校の伝統という話があった。今回の再編に当たっては、一つご理解いただきたいのは、これだけ子どもさんが減っている中で市内41校の小中学校があるが、それについて再編を進めていく、まずそれがある。昭和39年当時、4万人程いた子どもが、今現在、8千人程ということになっているので、そのような少子化に対応するため、また今日の説明でも、学校施設の耐震とか老朽化の話もさせていただいているが、学校施設のそのような課題にも対応していくため、今回は学校再編ということで、基本計画を作り、こういうプランを作ってこの懇談会を開催している。ただ私どもが再編を考えていくとき、ブロックごとにやっているが、そのブロックの中でどこが統合校としてふさわしいのかという観点をまず考えている。今日配りしている資料再編プランの2ページのところの囲みがあるが、◆で5項目書いているが、その中の三つ目のところに、統合校の場所について書いている。統合校の「通学区域内のバランスと、校地・校舎の状況や通学上の安全等の条件を勘案して決定します。」としているが、・・・</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>その説明は分る。通学距離は書いてあるから分る。敷地だってここが一番いいはずだから、だって体育館と新しい方は、耐震だってOKでしょ。だからそういうことは、分っているから、小樽市は量徳みたいな伝統のあるやつを無視して、要は、教育委員会は、さっきも言ったが、小樽運河を埋めていくのか。通学距離だってスクールバスを出せば何とかなる。建物だって金を出せば何とかなるんだわ。あなた方の声をこじ付けるのではなく、方針的に教育委員会は、伝統だとか発祥だとか関係無く、バスを出すと金がかかるから、安い方法で真ん中に作ります。それには伝統だとか文化を全部無視するんだと、そのことを聞いている。今の説明は全部分かっている。場所的に潮見台は近い。だけどグラウンドは千㎡違う。耐震だって全部ではなく、古い部分だけがだめなんだろう。この体育館は確か耐震になっている。だから大した差はないはずだ。だから伝統だとか文化を無視したことをやるという、そういう考え方を貫いているのなら、ああそうですかということだ。</p> <p>「教育発祥の地」の重みをどう考えるのか。あなた方が伝統を無視するという考え方であれば、それを言ってほしい。</p>	<p>今回再編計画を作るに当たって、6ブロックに分けている。それぞれのブロックの中にも、歴史的に古い学校、新しい学校、建物など色々ある。私も今回、再編計画を作るに当たっては、一昨年から市民の皆さんにも入っていただいて色々な議論をいただき、再編の考え方として、その地区で、ここも含めて、古い歴史のある学校を優先的に残すという考え方はこの再編計画の中には盛っていない。その意味は歴史を無視する、伝統を無視するということは少し違う。学校の再編に当たって、歴史の古い学校を残していく、そういう観点には立っていない。</p> <p>もう一つ、今の病院を半分ずつ壊して建て替えてもいいのではないかという意見があった。私も前段申し上げたが、今回の量徳小学校、地域の方々との懇談会は去年の7月2日からこれまで6回やってきた。実はその中で、ご承知かと思うが、病院の担当者も参加してここにプロジェクターを持ってきてこういう位置関係で、今ある病院を半分使いながら、壊して建て替えていくことは工法的にも難しい、できないとお答えはさせていただいている。私は病院の担当ではないので具体的な詳しいところまでは話さないが、その部分についてもし疑問があれば、また病院の担当者に話を聞いていただきたいと思う。私がこの場で、もう一度お話をする場ではないと思っている。</p>
3	<p>小樽市教育委員会は、伝統文化を無視して学校の統廃合を考えます。もう一つは、よく分からないのに病院の方、上役の方から言われたから説明も出来ねえのに言うことを聞いたということで良いのか。</p>	<p>今おっしゃったこと、そう思われることについて、私は否定しない。</p> <p>誤解しないでほしい。補足するが、伝統文化を無視することではない。あくまでもそれぞれの学校で取り組んでいる教育活動の特色や特長は、再編の中でも、良いところはそれを伸ばして再編後の新しい学校に引き継いで行こう、そういう基本的な考えはある。それだけは誤解しないようにお願いしたい。</p>
4	<p>誤解でもなんでも無い。伝統文化を今140年、100年後には240年とか300年になったときに、これがどうなるか分からないが、そういうやつが残っているということは、文化遺産として貴重ではないのか。だから基準をここから考えればいいというのは私の考えだ。あなたがたはそれを無視している。距離が潮見台から近いというのは分っている。だけど、あそこは住吉中学校で負けたグラウンドがここより狭いのではないかと言いたい。皆さん何人かもいたと思うが、住吉中学校のこのような説明会の時、このグラウンドでは、サッカーも野球も何も出来ない、というので、引くしかなかった。それとこの質問にもあったが、2年後の4月というのは、教育委員会は子ども第一に考えるのなら、1年9か月後に変更にするのではなく、子どもの心境を考えて、俺なんか手紙を出したと思うけど昔は4、5年だけど、予算かなんかで3年以上前に言ってくれとつくづく言っていたのだけれど、結局また2年を切っている。だからあなた方は、つくづく思うのは、子どものことを考えてねえって、小樽市の財政か、あんた方のプライドか何か知らないが、そっちを優先しているだけではないか。ちょっと言葉は悪いが、普段は普通にしゃべるが、だけど、あなた方としゃべると口調が強くなる。説明も出来ない、俺たちに納得も出来ない。よくまあ、あんた方持ってくるね。おかしいのではないかと言いたい。</p>	

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>5</p> <p>PTAの再編プランに関する委員会への回答だが、1の回答の中で「統合の時期は地区の方々や保護者との協議のうえ」決めることとしております、とあるが平成24年度からの工事着手は、協議を求めている段階で決定されているのはおかしいのではないかと。</p>	<p>回答の1の24年4月の関係、前段でお話いただいたとおり、適正化基本計画では、統合校については、地区の方、保護者の皆さんとの協議の上決めていきますと、このように書いている。ただ、その中にも書いているが、量徳小学校を含むAグループの学校については、先程来、申し上げており、昨年の7月以降、新病院との関係ということで、ここの保護者の方に何回か説明会、懇談会でお話をさせていただいている。そのような中から、5月の11日に市の方針として、なんとかご協力をお願いしたい。そういうことで5月11日の説明会を終えた。基本的には、このような期限は、ここの学校についての特殊事情ということでご理解いただきたい。</p>
	<p>6</p> <p>量徳小学校は別ということか。量徳に関しては、地域や保護者との協議の上、というのは意味がないということか。</p>	<p>地域の方と量徳の保護者の方を別だと考えたことはない。そのために、これまでも説明会や懇談会でいろいろお話をさせていただいている状況がある。私どもとしては、可能な限り皆さんのご理解をいただけるよう、資料も用意して、回答についても丁寧に答えさせていただくということで、今日この場に臨んでいる。</p>
	<p>7</p> <p>多分聞きたいことは、今の1の部分では、「説明会、懇談会を開催して参りました」と先程から7回と言っているが、まず1回目にしたのも懇談会にもなっていないかと思う。自分たちの言ったことに対する回答も得られなかったし、挙げ句の果てには「あなた個人の意見でしょう」最終的にはそういう言われ方をした。それは懇談会になるのか。ただのそちらの時間だからこれまで、というのが懇談会だったのか。そのことをここにきている親たちは疑問に思っていると思う。一方的に言いましたよ、という会だったのではないかと僕たちにはとれる。違うか。一度も最後まで話をしていないでしょ。まして一度帰れと言われたこともあった。それが懇談会なのか。どうですか、教育長お答えください。</p>	<p>これまで何度か皆さんと、懇談会説明会を開いてきたが、私どもとしては、全員の量徳小学校の保護者が賛成している、そういう考えには立っていない。だからこのように何回も数を重ねて皆さんにご理解をいただけるような努力をしている。また病院との関わりで私どもとしては、今日皆さんにお示しをしているこの再編プランを練ってきた、市長部局、病院部局それぞれに色々な思いがあり、前回の5月11日のような形で出されたもので、私たちは皆さんにご理解をいただくべくこのようにして説明をし、また、ご意見を賜りたく、皆さんにご理解を何とかいただくようにこうしている。納得する、しないをどのようにおさえるのかというご質問があったが、とにかく努力はしているということをご理解願いたい。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>量徳小</p>	<p>8</p> <p> 私たちも、何とか理解をしようとの間から「再編プランに関する委員会」を二度程開かせていただいた。その中で子どもたちにどんなことができるのか、納得はできないけれど、再編に向けてどのような話し合いをしたら良いのか、例えば、病院を壊すとか、学校を壊すとか、ダンプとか重機が入るに当たって道路の安全(確保)などの話もするのかなということで、委員会に出席しましたが、結局、花園小になるのか、潮見台小になるのか、そここのところがはっきりしないものだから、どうも話し合っても意見が結局はその所に行くことになる。ブロック分けてプランを出されているが、結局のところ特認を認めて、兄弟の関係で花園小を認めるとか、いやいや、潮見台の方に全部行くんじゃないの、中には先程の意見にもあったが、住吉中学校の適正配置の頃からいわゆる地域のごたごたで辟易している保護者の方もいる。それで、どっちかに移るのだったらさっさと移りたい、と言っている人も中にはいる。その人も、潮見台なのか花園なのか決定できていない。だから、もし特認を認めるのなら、量徳小学校の子はほとんど花園に行くということになると思う。</p> <p> ホームページを見て、向陽中学校の説明会でも松ヶ枝中学校の方が潮見台中学校より地理的に近いから認められるのか。入船小学校の方が奥沢小学校より近いから認めてもらえるのか。若竹小学校でも桜の方が近いから認めてもらえるのか。そういう意見を見ても、特認で認めるというように書かれているし、懇談会でもそう説明している。そのようになると潮見台小学校が、こちらの方で提案されている人数になるのか、それと菁園中学校の人数が(施設的に)足りるのか、昨日の最上小学校で松ヶ枝中学校に替えてやると言っているが、その15年かけてやるというプランが本当に見えるのか見えないのか、私たち自身もそこが納得できないから、このように意見を言っているつもりだ。だから私たちも子どもたちがスムーズにごたごたしないで、さっさと決まるのだったら、そのようにいきたい。ただこのプランが、本当にそのとおりになるのかどうなのか説明していただきたい。</p>	<p> また不足の分があればご指摘願いたいですが、まずこのプランのとおりいくのかどうなのかということから先にお話をさせていただく。私も教育委員会としては、やはり今の少子化の現状からすれば、学校再編はしていかなければならないと考えている。その中で、教育委員会がこの案で決めるのではなく、いくつかの文字どおりプランをお示しして、それで、PTAの方々、保護者さんとも話をしながら最も良いものを選択していただくと考えている。だからその意味では、小樽市全部41校の再編プランについては、基本的にやっていく。実は今日で半分と少し懇談会を終えた状況だが、6月4日の懇談会の分までは、市のホームページでもどういった意見が出るかということはアップしている。地域によってはやるのであれば急いでやってほしい、という意見も現実的に出ているところもある。私どもとしては、一応この懇談会が一当たり終わるのでその次の段階に入っていきたい。</p> <p> それからこの南樽のAグループの部分、これは文字どおり私どもが申し上げた部分だが、プラン1と2を示している。それできつと色々な議論はあると思うが、量徳小学校の校区だけについて言えば、全部潮見台の方になるのか、今の中学校区に合わせて、菁園と潮見台の方に別れるのかというその二つを示している。こういう乱暴な言い方をすると怒られるかも知れないが、私どもはどちらでも良いと思っている。保護者の方々なり地域の方々の考え方の中で、プラン1を選択する、あるいは2を選択する、そこはまずどちらでも良いと思っている。そのつもりで私どもはプランを出している。その中で特認のことについて申し上げたいのは、一応通学区域を決めた以上は、基本的にはそれぞれの通学区域でそれぞれの学校に行っていただくというのが原則だ。今現在も色々な理由で、これについてはこういう理由でということを示しているが、いわゆる特認の基準に合致するものは認める、という形で今もやっている。今日渡した図面で申し上げたかったのは、今回このような学校の再編の時期に繋がると、例えば、今の一年生が15人。このお子さんの中で、二つに分かれた時に、例えば、A君がこっちことになった時に、B君と別れるのが辛い、子どもにとってなかなか負担だということになれば、これについては統合、再編というのを一つの理由として特認の弾力的な運用はしていくと申し上げている。だから、境界が無くなるということではないということをご理解いただきたい。</p>
	<p>9</p> <p> 私たちは、具体的にプランを進めていくために、来年度1年間の行事予定、例えば、PTA同士の交流を各学年でやるのか、全体でやるのか花園小学校と1校だけとやるのか、ということを決めなければならないと思っている。それは、最短で来年の2月までには、だいたいおおよその目安をつけなければいけないと思っている。それでも、花園小学校や潮見台小学校の受け入れる側、若竹小学校に関しては、ついこの間、24年3月をもって再編になると聞いたとのことで、まだ意見もまとまっていない状態だ。その中でどういうふうにかこれからの交流なり、いつ、例えば、学校の中でやるのか、PTA主催で交流を図っていくのか、具体的な協議もその前に話し合わなければならない。だから、教育委員会で今おっしゃった「どちらでも良い。」では困る。具体的なことを進めるには、ある程度の指針みたいなものを出していただかないと、それで、どちらでも良いんですというのであれば、花園小学校にお願いするとなっても、花園小学校がこれから再編される中央・山手地区の、例えば入船小学校だったり、色内小学校だったり、緑小学校との兼ね合いも出てくると思う。そうなるにつれて要するに一人の子が中学校までに関わっている中で、再編にかかるというのは二度とないというふうになるとできるのか。そここのところだと思う。</p>	<p> 今、若竹小学校の話もちょっと出たので、経過について話をさせていただく。6月1日と22日に若竹小学校のPTAの皆さんと二回程お話をし、こういう懇談会を開きました。南小樽地区のAグループについては、やはり24年3月という期間、目処というのがあるわけで、このAグループについてはそこに向けて、潮見台小学校を統合校として、新しい学校を作っていくというそういう視点での議論というか協議に入っていただきたい、ということでももちろん若竹小学校とも懇談会で話をしている。ただ、そこで分かったということには現状なっていない。</p> <p> それともう一つは、ストレートに申し上げるが、来週の月曜日に花園小学校との懇談会を予定している。花園小学校の懇談会の中でも、この南小樽地区との隣接ブロックということも含めてのお話を花園小学校でも当然する。仮にこの図面で言えば、グリーンの部分、プラン2でいけば、花園小学校との事前協議、交流の問題こういったことでの話は現実に進める。それからこれは私どもの考えだが、現在私どもが考えているのは、できればこの南小樽地区Aグループの3校同士の協議、話し合いの場というのは、できれば2学期早々くらいにしたいと思っている。ただ、それは当然、私ども教育委員会がそれぞれに呼びかけてそのような場を設定して進めていきたいと考えている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>10 今、具体的に2学期に3校の協議として話し合いを持ちたいと聞いただけでも良かったと思う。花園小学校の懇談会は、月曜日にあるということで分かるのだが、ホームページで去年の説明会を見ても、学校に通っている保護者が3人しか出ていない。あとはほとんど先生たちで前回、堺小学校の子どもたちを受け入れたのも、先生たちが大変な思いをしたと、そういう意見も出ている中で、今回の懇談会の中でも地域の保護者の方が何人出てくるのか、中には仕事の都合で、出席できない方もいると思う。それで、基本計画素案地域説明会の質問意見書をホームページにきちんと載せて質問とそれに対する回答も載せて、人数も載せているので、今回もこのような協議があったということきちんと載せてほしいと思う。7月22日まで懇談会があるというが、結局周りでどのような話がされているかというのが、すごく目安になると思う。来られない方についてはそちらの方を見てくださいということで、教育委員会がもっと学校を通じてプリント配るなり、新聞報道でどのように毎日どこどここの地区で懇談会がありましたと書かれていても、紙面の都合上、懇談会に行って聞いたニュアンスと新聞で読むニュアンスの記事がどうも違うなあというのがあると思う。ですから、そういうところはもっとホームページ、見られない方もいると思うが、もう少し丁寧に詳しく載せることが、地域に知らせて、今、学校に関係している保護者だけではなく小樽市民としても考えなければならないことと思うので、もう少しそここのところ大変だと思いが、詳しく載せるようにしてください。</p>	<p>言い訳でも何でもなく、おっしゃっていることは良く分かるので、私どもできるだけ努力する。ただ、今こうして、ほとんど毎日やっているものだから、担当の方でもホームページに全部アップするということは、多少の時間が掛かる。特に、このAグループの部分とそれと隣接するブロックの関係あるところというのはどうなっているのかということを知りたいのは当たり前のことだと思っているので、その部分はまた違う形で情報をお知らせするという事は、私どもの宿題とさせていただきますと思う。</p>
	<p>11 教育長の話の話を聞いていると非常に腹立たしい。あなたは、ここに出てきて量徳自身は、ここは閉校にするとすることは反対だと、そういう前提なんだろう。だけど、病院のために何とかお願いしますという立場なんだろう。それをご理解をお願いしますとか、新聞の方では、平成24年の4月閉校だと決めておいて、やっけることは何ですかこれ。時間をかけると・・・、他のところは24年4月なのか、優先順位があるだろう。ご理解くださいとはどれだけ妥協するかという問題ではないのか。もともと反対なんですから。ここに量徳残してくださいというのが、量徳小学校PTAの意見だったでしょう。病院も残し量徳も残してくれ、そこが前提にあるのに「ご理解願います。」というのは違うと思う。もっと頭を90度以下げて、これではどうですかという形で、PTAの方を説得しなければだめでしょう。他人ごとみたいですよ。ご理解くださいとかそして12年3月と決まっていると、聞いてて非常に腹立たしい。あなた方本当に教育委員会なの。子どものことを大事に考えているの。とてもそういうふうには聞こえない。反対なのに、何とか小樽市全体のことを考えて、何とか妥協しようとか、納得しようとしているのに、全部が全部ではないと思うが、だけどあなた方の態度は理解ができない。反対なのに理解なんかできないでしょう。そちらがどれだけこっちのことを考えて、例えば、潮見台に行くのなら、そこの道路に歩道を全部つけるとか色々なことを考えて提案してくるのが、閉校されるこっちの身になって考えるということではないのか。交通安全、小学校1年生が結構集まって歩くのなら交通事故の確率増えますよ。それなら、教育委員会が両側は無理だけど片方歩道ならつけますよ、という説明ならまだしも、「ご理解願います」理解なんかできるわけない。止むを得ず、仕方なく、のんでいるのでしょう。それが前提なの。閉校は反対なの。そこを前提として話して、何がご理解願いますなのか。理解できるようなことをやっていないじゃないか。もっと子どものこと、親のことを考えてください。</p>	

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>量徳小</p>	<p>今、後ろのPTA方のご意見でもう量徳小学校が無くなるみたいな、雰囲気では進んでいるような気がしないでもないが、小樽市の教育委員会というのは、小樽市の職員か、そうであれば、札幌から通っている方はいるのか。今、小樽市が赤字になっていて、少しでも税収を上げたいという時に、市の職員が、星置に友達がいる、星置にたくさん市の職員がいるという話を聞いた。本来、会社なら自分の会社の利益を上げるために皆さん活動しているところだが、それなのに小樽市の職員でありながら札幌に住んで、札幌に税を納めているのは、どうい話なのか、疑問に思った。昨年にも言ったが、せっかく札幌がすぐそばにあって、札幌に勤めながら小樽に住むということができると思う。そういう人々たちを呼び込む方策を考えたビジョンのある配置を考えてほしい、と言ったような気がする。その時、拍手をいただいたような気もする。ところが、また今年になって2月から3回目、結局まるで5年前のように、市が突然持ってきた話を押しつけて、子どもが大変だどうしようかと焦っている親を言いくるめるように話を進めてきているようではない。稲穂小学校は、駅のすぐ近くにあって、新しく建て替えたおかげで、近隣の校区からも集まってくるという噂を聞く。実際に確かめたわけではないので分からないが、そういうふうにはっきりと集まれる小学校、それが量徳と若竹だと思う。せっかく南樽地区も若竹地区もマンションがたくさん建って、若い人たちが札幌に勤めながら、小樽から通えるという良い場所でありながら、それを生かそうとする考えが小樽市にまったくなく思っている。小樽市、何を思っているのか知らないが、小樽に新幹線を呼ぶと言っている。小樽市に人を呼び込める、そういうビジョンを持った統廃合はできないのか、という気がする。</p> <p>12 この地区が少なくなったから、こっちに集める。そんなことではなくて、せっかく札幌に隣接していて、小樽に人口を集める、北広島や石狩など人口が増えているところもあるのに、小樽はどんどん減って行く一方だ、何が悪いのか。小樽の政策が悪いのだ。こんな近くにいい経済活動ができる場所があって、後志の経済の中心を担ってきた過去の栄光にすがっていて、どんどん小樽の人口を減らすような政策を次から次とやってきた。南小樽地区というのはすぐそばに観光施設をたくさん抱えている。</p> <p>それで、その施設には若い人たちがたくさん集まっている。その人々たちを小樽に住まわす呼び込む政策をやっていない。なんでも聞いたら札幌の方が税金が安いそうだ。若い人だけでも税金を安くして小樽に呼び込む方策を考えるとできないのか。それで、その若い人たちが、南小樽地区に来るために、ここに量徳小学校がある。こんな便利なのに量徳小学校と幼稚園もたくさんある、保育園もある。こんな素晴らしい場所にながら手放さなければならぬのか。おまけに、グラウンドも今、統合を考えている学校の中では一番大きい。花園を無理やり残すのなら、せっかくだから青園に明け渡して、青園のグラウンドをサッカーができるくらい広くしてあげたらどうか。青園のグラウンドでは野球もサッカーも試合はできない。やたら、いい砂を入れたらいいが、その砂も生徒には不評だ。そんな所に余分なお金をかけるくらいだったら、もっと本当に若い人を呼び込む方策を考えてほしい。そして小樽市の人口を増やすためのビジョンのある配置転換を行ってほしいと切に思う。</p>	<p>今の質問は、小樽市のまちづくりについての提言というところもあったので、小樽のまちづくりに対する考え方も含めて説明したい。最初に職員が札幌に住んでいるのはどうなのかという点だが、確かに札幌に住んでいる職員の方もいる。市長も副市長も職員には小樽に住んでもらって、その税収は小樽に入ってくるので当然小樽に住んでいただきたいということで、色々な場面で話をしている。それから、職員を昨年何年かぶりに採用したが、その面接の時にも、小樽に住んでいただきたい、というお願いをしている。基本的には憲法に定められている居住の自由というがあるので、強制はできないが、色々な場面で職員に対してはお願いをしている。お願いをする以上のことはできないのではないかと。ただ一般的に高齢化社会で、私もそうだが、年とった父母もいるので、近くに住んでいなければならない、一緒に住まなければならない、そういった事情の方もいるので、すべての方が家賃が安いとか利便性が良いとかということでは札幌から通われているわけではないので、その辺はご理解をいただきたい。</p> <p>それからまちづくりについて、人口や経済政策のことについて話があったが、私も小樽の町をこれからどうしていくかを考えるときに、やはり人口は大きな問題だと思っている。新聞などでご覧になった方もいるかもしれないが、合計特殊出生率という言葉があって女性一人の方が一生の間に、産むお子さんの数をデータで出している。これが2以上にならないと人口の維持ができないが、日本は1.37という数字だが、小樽は1.2くらいしかないの、小樽の人口は間違いなく全国平均より早く減っていくという状況にある。人口が減るということは、社会や経済が間違いなく小さくなる。人が減り、働き手も減る、税収も上がらない、そうするとまちづくりのどこかにひずみが生まれてくる。それが皆さんの周りでは間違いなく行政サービスの低下に繋がっていく。町が今、人口20万人の高度経済成長を経て町は20万人の時代の器になっているが、先程も教育委員会から話があったように生徒が一番多い時で4万人。今は8千人。5分の1になっているのに学校そのまま残していくということは、必ずしも良いことではないし、行政負担を伴うから私ども縮小する社会、経済の中にあっても、やはり一定程度の行政サービスというのは提供していかなければならないわけだから、その一環として、やはり学校の適正化についても合わせてやらせていただきたいと思っている。</p> <p>それで若い人を呼び込む、私は4月にこの職場に来る前は経済部にいたが、人口政策や雇用政策は単独ではあり得ない。やはり経済が元気にならない限り、人口も増えていかない、雇用も増えていかない。ある人が調べたことがあるが、小樽の人口の動きと、小樽の港が扱っているグラフは同じような動きをするということを見つけた人がいる。やはり小樽はこれまで港が栄えていて、それで経済的に発展してきた部分がある。やはり今どちらかというと港では、太平洋側に荷物が移って行って小樽のような日本海側にはないので、そういった意味で多少経済政策が、うまくいってない部分があるが、今言ったように人口が減って社会や経済が小さくなる、税収が入ってこないということもあるが、私どもとしてはその中でも、一定の行政サービスを維持していきたい。</p> <p>それから南小樽地区のまちづくりについてご質問があったが、やはり国道とJRに挟まれている地域だということ、一定程度利便施設があるということ、南小樽を過ぎると観光で栄える堺町地区と隣接するという点で、非常にポテンシャルの高い地域だと思っているが、このような地区別懇談会を経てこの地区のまちづくりについても色々ご意見をいただきながら、考えていければと思っている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>13</p> <p>今の話で、小樽は段々人口が減っていく。だから学校再編が必要だというのは理屈としてすぐ分かるが、それであれば今計画されている市立病院の規模というのはバランスが悪いように感じる。そこらへんは、整合性がないように感じるがいかがか。その辺を考えると、ポテンシャルの高い量徳小学校を残すという道も見えてくるように思うが。</p>	<p>教育の専門家でも、病院の専門家でもないが、企画政策室ということで、庁内の色々な会議に出ていて、私も聞いた話ということでお伝えをしたい。今回、市が建てようとしている病院の病床数は388。今400床代なので数十床減ることになるが、人口がこれだけ減っていくのにこの規模が必要なのかという意味のお尋ねだと思う。私どもが小さい時に習った人口の構造というのは、ピラミッド型になっていた。今は提灯型になっているので50代から上の世代にかなり固まっている。そうすると人口が減っても病院の方では有病者と言っていたが、病気を持っている方の数、高齢者の方が中心になると思うが、その人たちの数というのは、ここ十年くらいは、変わっていかないという考え方だ。人口は減っていくけれども、病気の方、高齢者の方は、減っていかないという考え方で、これだけではないがこういった考え方も一つのベースにして388という数字が計算されてきたと聞いている。</p>
	<p>14</p> <p>PTAの委員会の質問に対する回答で、「病院問題が白紙に戻った際のプランはあるのか。」という問いに対して、「最終的には小樽市としては、病院建設が白紙になることを考えておりません。」、その前段で小樽市会第2回定例会で予算案が通ったことについては、教育長もおっしゃっていたが、議会を通過してしまえば、100%病院は建つのか。小樽市民としてもそれは関心のあるところなので、100%建つのかということと、また、それはいつ決定するのか。予算が市議会を通過したということは分かるのだが、そのお金が出るかどうかということも複雑であると思うので、その決定もいつされるのか、それがされないことには病院が建つのかということが、私たち市民としても分らない。たまたま予算が通ったということしかないものですから、4番の返答が教育委員会としての返答ではないので、どなたにお聞きしたら良いのか分らないが、「白紙になることを考えていません。」という自信満々の答えの裏付けというか、それを伺いたい。その時期が分かれば、今年度に決定が出るものか来年になるのか。ということになれば、なぜ平成24年4月に先行して統合という、なぜ先行してやらなければならないのかという矛盾点とも合致するので教えていただきたい。</p>	<p>おっしゃっていただいたとおり、私の立場で話ができるということにはなかなかならないが、今回の議会の中でも、新市立病院計画概要という今後のスケジュールとか、そういったものの案が議会にも出された。相当、各議員さんからも質疑があった。議会に出した時は案だったが、近々それが案ではなくて計画概要というものにまとまると聞いている。ご承知のとおり、去年からずっとこの説明会、病院の人間もこの説明会に来ていた。実は今日この懇談会に来る前に病院とは話をしてきた。今日の懇談会は、あくまでも再編プランの懇談会だから、病院のことについては、具体的なことは言う訳にいかない。ただその概要の中のスケジュールでは今年22年度に基本設計をやる。そして23年度から実施設計を始める。24年から実際の工事を始めるというそういう日程になっている。そうするとそれなりの規模の工事にもなるし、これはPTAの方々だけではなくて地域の方々もどういう日程になるのか関心があることだと思う。実は私の方からも言ったが、PTA云々ということではなく、この地域の方々には、スケジュールなどの話をする場面があるのではないかと病院の方には言っている。病院の方でもそういう機会は必要だと思っているので、これについては病院の方でも計画すると思うので、その場で、色々な質疑をいただければと思う。</p>
	<p>15</p> <p>関連して、平成24年を目処にしているところを、教育委員会として、子どもたちを預かる側として、先行ですということではなく、他と同じ段階で病院を1年遅らせるなりそういうことをどうして言えないのか。子どもたちを犠牲にしながらそっちを優先させるのか。同じ市の職員とは思いますが、親側の立場に立って考えて、その意見を小樽市にぶつけていただくのも教育委員会ではないのか。先行でやるということで若竹小学校などこの近隣で揉めている元ではないのか。全市一斉にやりましょうと言っている計画案であるのであれば、この地域だけ先行というのは、全市を段階的にということにしても、この地域だけをというのは同じ小学校に通う者としてはどうかと疑問視するので、教育委員会としてそのような提案というのは、今まで一切考えたことがなかったのかどうか伺ってみたい。</p>	<p>一つ確認させてほしい。子どもの犠牲という言葉を使ったが、24年の4月にやる、統合時期がそこになる、ということは子どもの犠牲になるという見解か。それが延びることが、犠牲の緩和や解消に繋がる、という趣旨のご発言か。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>16 受け入れ側についても、1段階、2段階と段階を経るということになる。先程の話で、入船があったり、緑があったりということで、他の小学校、中学校の説明会の中で大野部長が交流や説明に2年から3年というのを伺っている。ではなぜ2年を切っているのか。それぞれの学校で言っていることが違うという矛盾を感じる。</p>	<p>他の懇談会と違うところをまず先に説明させていただく。PTAの方から出していた質問の1番目のなぜ24年4月なのかということとの関連になるが、おっしゃるとおり、この基本計画の基本的な作りでは、遅くすれば良いということではないが、それぞれ地区で一定の合意ができたところから進めていくと申し上げている。教育委員会としてはこの地区では、Aグループでは潮見台が適切だ、こここのところは他の地区と全く同じ作りになっている。このAグループで違うところはやはり、合意ができてから進めていきますというところに、一つの24年3月という課題がある、そこはやはり他のブロックと違うところだ。それで逆に私どもとしても、4月から病院も来だし、市長も来だし、副市長も来だが、ご協力いただきたいということで申し上げてきたところがその部分だ。若竹小学校の懇談会でも24年3月が、南小樽地区のAグループの統合の時期としてあるわけだからそれに向けての協力をお願いしたいと、この間の懇談会でも相当強く申し上げた。6月1日と22日2回懇談会をやるが、1日の懇談会でもPTAの方から統合するにしても、例えば24年に量徳が来る。翌年に若竹が来る。そうはならない。それは逆に大変だ。可能であれば一生懸命協議をしていかなければならないが、一つの新しい学校を作る、そういう観点から、24年3月を一つの目処として、ぜひご協力をいただきながら、私どもとしても、それに向けての色々な議論、条件の整備、そういったことをさせていただきたいと思っている。</p>
	<p>17 お願いすると子どもたちはスムーズにいくのか。今の話で、お願いすれば子どもたちは短期間で問題無くできるのであれば、どこでもできるということか。今までも、短すぎるという話が出ていたと思うし、教育委員会には十分ご理解いただいたはずだし、その前の、前回の適正配置が始まる前の全体的な説明があった時には、4、5年かけてという話をしていた。忘れたとは言わせないが、それだけかかるものが、この学校は病院が建つからと、1年半でできる、という理由が、分からないというのは、さっきの質問で答えていただけてないということと、全く同じことだが、それについてお答え願いたい。</p>	<p>6月22日の若竹小学校の懇談会の時でも、この南小樽地区のAグループについては、平成24年3月という目処があるので、ぜひ統合に向けての時期についても、ご協力いただきたいと、若竹小学校の説明会でも言ってきた。私としてはそういう日本語を使ったつもりだ。それから、確かに、平成16年のこの小学校の適正配置の説明会で、私は当時教育委員会にいなかったのですが、それほど多くについては知ってはいないが、去年の7月から議論を重ねてきた時にも、その時の議論にも、前の質問状にもたくさん出て来ている。それについても私どもとしては、反省すべきところはしてきたし、そしてまた今回このような事態の中で、24年3月までだと、確かに1年9か月だが、ただそういった議論の積み重ねという意味では、私どもとしても去年の7月から様々な角度からの議論はさせていただいてきた、そここのところはご理解をいただけないかと思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>18 司会者には子どもがいないのか。俺が思うには、小学校一年の子どもにあなたが4年になる時には、学校が変わるんですよ、と言っていると自然と子どもがそういうふうになるが、それが1、2年だと、友達と離れるのが嫌だとかそういうことがあるんで、俺も4、5年だとか少なくとも、3年以上と言ってきた。あなたは、なんで3年だと子どもがあれなんですかと、トンチンカンなことを言って。さっき、俺はなぜ同じだと言った時に、あくまでも、なんとかこの量徳が残ることができないか。その時に380床ではなくて180床になった時に、今の敷地で間に合うのではないか。そういうことで、病院問題と量徳は学校の編成ではないから。あなた方は先ほど言ったように平成16年まででしたか、17年でしたか、ここで反対で3万人署名集まった時、あなた方はずっと病院問題は一切関係ないと言い続けてた。それが今回はコロッと変わって、病院が基本計画をやって、それが平成24年の4月だからそれに合わせて、前の説明会の時に病院は一切関係ありませんと言った教育委員会は、今回は病院だから。だけど病院にしたって、前回もう議会でもう築港地区の土地を買って、そこで建てるんだと、基本計画まで出して、半分金払ってストップしたんですよ。教育委員会も小樽市もブレしてくれるんで、何とか量徳が残る手立てはないか。地元のためには、向こうに行ってもらいより、ここに病院あった方が良いのだから、人口が減っていくと、20何年か後に10万人を切るというのを新聞で見た記憶あるが、そうしたら半分でも良いんじゃないか。半分の病院だと量徳は残るとというのが地域の気持ち、親の気持ちだ。それを関係ありませんとか、こっち立場何も考えていない。あなた方は、病院問題と学校適正配置とは一切関係ないと言ってたんだ。それがコロッと変わって、病院の基本計画があるからって、こどもの心のケアのことも考えないで、2年と3年何が違う。何言ってるんですか。みんな大人しく言ってるけれど。そういう可能性が小樽市にはあるんですよ。前回議会で通って、基本計画まで出してコロッと変わった、あなた方教育委員会は適正配置と病院問題は一切関係ないと言ってきた。住吉、石山、東山の閉校から、その時から病院問題ありましたから、それがコロッと変わったんですから。そういうので、病院が半分の規模になったら今のところに出来るんじゃないのかというので、何とか、少しでも量徳を残す手立てはないのかというのが第一で、どうしてもやむを得ないのであれば何とか子どもがすんなり慣れるようにもっと期間がほしいと、前の時だってそうだったよね。もっと時間がほしいと。散々言ってたはずだよ。それを今2年と3年何違うんだって。本当にあなた方子どもの心理だとか考えたことあるのか。聞いてて腹立たしいよ。</p>	

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>量徳小</p>	<p>19 市教委の皆様には、プラン委員会に対する回答、お忙しいところ、ありがとうございます。私は昨年からの説明会に来させてもらっていて、他の学校の懇談会にも足を運んで来ました。ずっと話を聞いていると、保護者の皆さんは再編プランについては反対ではないです。基本的に反対ではなくて、なぜこのように揉めるかという子どものことをちゃんとやってくれる市教委の目が、市長であったり、並木局長であったり、そちら側に向いているのではないかと感じてしまう。量徳小学校だって、私は量徳出身ではないが、母校は1校無くなっていて、そういう経験を踏まえた上で、もし明治7年開校の量徳が本当に山の奥にあったら、ここまで揉めないと思う。やはり子どものことを考えて、クラスが多い方が良く、児童が多い方が良い。やはり切磋琢磨しながら、みんなが成長していけば良い、記念碑を建ててくれれば、町場に降りて来るという気持ちになると思う。ただ、ここまで揉めるというのは、再編プランにはとっっても賛成なのにかかわらず、教育部長もそうだと思うが、目がこっちを向いていない。私たちは、どこを教育の場として、子どもたちを預けることができるのか、というのがあるので、ここまで揉めることをどうして分かってくれないのかと思う。教育委員会に力があるのだったら、病院に待ってもらってもこの地域に大きな学校を建てるということもなぜ言えないのか。そういう力がないのかどうか私には分らないが、そういうのがもしあったら、本当に協力したいし、さっき質問のあったPTAさんみたいに、プラン1かプラン2、はっきりしてほしい。やはり子どもたちは迷うし、親たちも迷う。通学路も安全にしてあげたい。決めてくれないから分らない、決めるにしても、花園小学校にもし行ったとしたら、菁園中学校のグラウンドが狭い、私たちの子どもが菁園中学校に行ったら、こんな狭いところで中学校生活を送らせるのか、そしたらそれはおかしいと思う。距離が近いからこの学校が良いということではなくて、やはり子どもたちは広いところで活動とか、遊ばせたいとか、そういう部分を考えている。なぜ向陽中学校の8,800㎡を潰して、潮見台中なのか。私は花園小学校出身なので、無くなると思いはあるが、自分の子どもたちの将来のことを考えると、菁園中学校があれば立派になったのなら、グラウンドも立派にしなければおかしい話だ。きっと、こういう話をしても、今までのように話がつきました、説明しました、だから理解してもらっているんでしょうね、というふうに勘違いをしないでほしい。今まで理解をしてください、というのが流れてそれに納得できてないからここまで揉めるのであり、納得できていないから他校からお母さん方が来ている。興味ではなく、関心があるからこそ来ているのであり、とこれを言っても平成24年3月で統合になってしまうという諦めも半分あるが、子どものために諦めたくない、という気持ちも本当に分かってもらいたいと思うし議論を重ねていきたい。「説明しました」だからおしまいですが、ではなく議論だと思ふ。よろしくお願ひします。</p>	<p>今、菁園中学校のことも少し出ていた。それと小学校のプランについても、グラウンドのことに関連して話があったと思う。私どもとしては、この懇談会は、それこそ議論をする場だと思っている。その素材として今回このようなプランを作った。今日あまり中学校の話をしていないが、一つの検討の軸で学校規模と学校施設の状況、そして通学距離の三つの観点を大きく出して、統合後の位置について検討をしてお話をしている。そういった中では、先程から出ている、地域のこの量徳小学校という面で言えば、伝統の話も出ていたし、それからグラウンドの面積という特化した部分での話も統合校を決める場合の基準としてはどうか、という具体的な話としてはその辺だと思う。だから、逆にそういった形で、こちら側にぶつけていただきたいと思っている。ただ総花的に話をしても、議論はなかなか平行線でいったりきたりはしないのではないかという気がする。教育委員会はこのブロックの統合校、あるいはその統合年次も含めて、一つの考え方を出しているわけだから、そういった部分で、違う案、そういったものを、ある意味我々にヒントを出していただきたいと思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>20</p> <p>この度PTAで再編プランに関する委員会を立ち上げた。先程何人かの保護者が言われたように、私たちは先程から議論をして、議論というのは、お互いの持っていることを意見としてこれからの参考として、反映するものを議論だと思っている。でも前回は前々回もその前も一番最初から話は聞かされるけれど、保護者からこんなのではないかと考えた場合、私たちや他の方も、プラン1、プラン2には賛成できない。プラン4を作ってくださいといったことに関して、それが議論としてされているのであれば、3、4として、提案されたものに関して「3、4のプランがありますがどうですか。」という議論をしていかなければならないと思うが、それもされず、いきなり24年の4月に決まりました。確かに病院が前提にあつてここが潰される。親はそう思い込んでしまうと思う。学校に聞けば、病院に関する事は分からない、詳しく言えない。病院に聞けば再編プランとは関係ない、と言われるが、この二つはずっと絡んできたはずだ。それに関して、病院の規模についても、今、騒がれてきているし、小学校の再編プランと関係ないというのであれば、もし病院がなければ量徳が適切だとみんなが思うはずだ。だけど病院が絡んでいるからいち早く量徳の親を説得しなければならない。説明自体が焦っているししか思えない。それを納得させるために、やはりこれから先3、4のプランをお持ちいただきたい。1と2のプランだけでは、納得できないと何回も言っているはずだ。今回質問を書いてこの回答を見ると教科書を読んでいるようにしか思えない。これは学校の教科書みたいだ。何回見てもこの回答の内容が同じだ。納得できるような説明をしてほしい。</p>	<p>一つは教育委員会でプラン1、プラン2ということで、通学区あるいはその統合校ということで2種類考えているが、それ以外に出してほしいということだが、それは以前の説明会でも聞いている。確認するが、学校規模と通学距離とそれから学校施設の現状、それ以外のファクター。先程から出ている伝統、南小樽地区のロケーションの優位性とかそういったものを基軸にして受けとめているが、それ以外に逆にプラスする要素というはあるか。</p>
	<p>21</p> <p>私たちは今まで何回も言っているはずだ。</p>	<p>申し訳ないが私個人の受けとめ方かもしれないが、100%受け止められないところもある。</p>
	<p>22</p> <p>教育部長に聞きたい。この前の奥沢小学校の説明会終了後、僕の意見として、プラン1、2は量徳の保護者は、納得できなかった。だから、保護者の言っている意見は、中央・山手地区と南小樽地区を一つに考えたプランを一つと、あと病院が万が一白紙撤回になった場合のプランを3、4として、作ってきてください、と言ったはずだ。僕は量徳小学校のPTA副会長として、個人の意見としてではなく、PTAの意見として部長に伝えたはずだ。それを今、次長も聞いていないようなニュアンスだったが、次の日の天神小学校でも同じようなことを言った。</p>	<p>確か私も奥沢小学校の後の立ち話で、そのようにおっしゃったのはお聞きした。正直言ってその時、PTAを代表してお話だったのか、個人のお話だったのかという所の判断はできなかった。ただ、私の方からお答えしたのは、私どもは今の懇談会、ここだけではなく色々なところの懇談会はこのプランについての説明をさせていただく。そして意見をいただいている。三つ目、四つ目のプランを示してほしいとおっしゃったのは記憶があるが、私は現状ではできないとお答えをした。「分かりました。三つ目、四つ目のプランを作ります。」とは言っていないと思う。それとどうしても三つ目、四つ目という部分については、もともとの議論から何回か聞いたり、他の方から言われたのも記憶があるが、ブロックの分け方そのものということだった。そこを含めての議論だったと思う。それで今回の委員会からの質問の中にも、そもそもブロック分けではっきりとした回答を得ていない。再度ブロック分けについてお伺いしたい、とのご質問もあった。私どもとしてはこの質問にも、再度と書いてあるが、私どもは今までお答えしてきたつもりだ。平成18年からのブロック分けについての考え方、ブロックの境界では色々な考え方があるだろうということで、基本計画の中では、一つの項目として、隣接するブロックでは、協議を進めていかなければならないということをつけ加えてきている。確かに再度ブロック分けについてお伺いをしたいという私どもの考え方としては、ここに記載をさせていただいた、ということしか説明のしようがない。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>23 何回も説明会はあるが、毎回同じ説明会で、私たちが言った意見に対して、肉付けもなければ、ご理解もないということであれば、何度説明会を開いていただいても時間の無駄だ。何回も1と2のブロックについては、距離だとか場所だとか人口だとか、さんざん聞いて分かっている。でもそのほかに議論というのは、説明されたうえで、これはどうなるのですか、こうしてしてもらえるのですか、では検討します、これはできないけれども、この範囲でならお答えできる、というのが議論だと思うけれど、ただいま言われたようなものであれば、もう説明会など開いていただくかなくても結構だと私は思う。</p>	
	<p>24 ブロックに関する今のことと同じかと思うが、花園小学校を基点として稲穂小学校、緑小学校は1km以内に3校が位置する。稲穂小学校0.9、緑小学校0.9、これは偏っていないか。こんなブロック分けはおかしいのではないか。それで、こちらの地区は、遠いところは2キロ以上生徒が歩く。その段階で、この3校はこんなに近くて、まして緑小学校は新築するという話を聞いたが、それはどういことなのか。3校が同じような場所にあって、他の所は離すというのは納得できない。</p>	<p>考え方としては、同じ要件の中で考えている。今、3校の名前が挙がったが、この3校についても、教育委員会としては、先程来言っている、距離、学校施設など3項目の中でやっているが、それが決まったということではない、冒頭でも言ったとおり、私たちとしてはこのように考えてその場で皆さんとお話をしてやっているの、3校がそのままということではないということでご理解をいただきたい。保護者や地域の皆様と協議をしているという段階だ。</p>
	<p>25 それでは、今の3校がこの状態で残るといことは、全くないのか。それともあるのか。どれが無くなるということはあるのか。</p>	<p>中央・山手地区は6校の小学校がある。その地区で残る3校が、稲穂と花園と緑ではおかしいのではないかとのご指摘だと思うが、この6校を私どもはグループということで分けている。南小樽地区でいえば、AグループとBグループに分けているようにグループ分けをして検討している。一つのグループは、色内、稲穂。もう一つのグループは、少し複雑になるが、花園、入船、量徳の一部を含めた案も載せているが、花園、入船という組み合わせも一つ考えている。それから花園、緑という組み合わせも考えている。このA、B、Cという三つのグループの中で、それで、Cグループでは、緑、最上という考え方も想定をしている。それから、最上、入船という考え方も入れている。それでそれぞれのグループ分けをした時に、通学距離、施設の状況、交通の安全とかそういった観点からみてどこを統合校にするのが良いか、そういう議論をしていただく仕切りでやっている。これはどこのグループも同じだ。だからその中では、それぞれのグループの中で、稲穂が適切だという場合、緑が適切だという場合、花園が適切だという場合になればそれが残るといことはある。</p>
	<p>26 ブロック分け自体が間違っているのではないか。だからこういうふうな、こっちの方ではこうで、こっちの方ではこうで、こっちの方ではこうだ、という中で話し合って最終的にこの3校が残ったとしたらおかしい問題だ。だからこのブロック分け自体が、子どものことを考えていない。ただ、図面を見て、地図で見て、そこで切り分けしているだけの話ではないか。もうちょっと考えて、ただ線を引けばいいだけのことでなく、それにはブロック分け自体が、多分量徳だけではなく、他のところでも、言われてきていることではないのか。それをなぜ変えようとはしないのか。なぜ考えようしないのか。自分たちはこれで作ったからこれで決定なんだ、だからもうこれ以上のブロック分けもグループ分けもしない、するつもりはないのか。それとも意見を聞いてもう少しブロック分けなり、グループ分けなりもう少し違う形に変えてみることはしないのか。意見はとらないのか。聞いてもらえないのか。</p>	<p>もう一回、ブロック分けの部分での指摘だったが、他の地区ではそれ程多くはない。ただ奥沢、向陽、天神での懇談会では、特に中学校の関係で、向陽の上の方であれば、松ヶ枝中学校の方が近いのではないかという意見があった。これは私どもの方で、一つ基本計画の中で考えているのは、文字どおり境界の部分になると思う。向陽が無くなって松ヶ枝が残るとすれば、それは潮見台中学校に行くより松ヶ枝中学校に行く方が近い。ただ中央・山手地区の中学校の再編の中では、松ヶ枝中学校は、もうすでに54年経っている学校で、これはあくまで案で、最上小学校を中学校として使おうかと出している。そうなった時には、向陽、最上間でどうなのかとそんな議論をしていかなければならない。だから、そこは色々な視点から、見ていただきたいと思う。これを言うともた怒られると思うが、ブロック分けについても、地図を見て、「えいやっ」と決めたわけではない。平成18年に「あり方検討委員会」を作って、そこで色々議論をいただいて、小樽市の場合こういう地形なり横に長いということもあるから、一定程度ブロックに分けて議論をしなければならぬ。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>27 私たち量徳の親からしてみれば、この潮見台と若竹のブロックで一緒になるということは、小学校1年生の子どもがいわゆるウイングベイの方まで一緒にの校区になる。要するに人数を増やして交流ができるように、クラス替えができるようになった場合でも、隣の席になった子が、築港地区の子になって遊びたいんだけどと言われても、親の送り迎えがないと行けない。ましてや量徳小学校1、2年生の遠足で築港に行くような感覚だ。ウイングベイの人たちしてみれば、じゃあ今日は小樽祭りだから潮見ヶ丘神社もあるけど住吉神社のお祭りだからそちらの方にも行けるみたい、そんな感覚で違和感がある。いわゆる病院の建設で、工事中で危ないと、潮見台小学校に登校するに当たっても、5号線か南樽市場の橋か、それかもう一本下の方の歩道のないガードレール一本だけの狭い橋を渡らなければならない、そこを歩いて子どもたちが、遊びに行かなければならないという状況がある。他の学校は若竹小学校にしても、地域の人と話し合っただけで跡地利用をどうするかというふうには問題もできて、量徳の場合はその病院になって遊ぶ場所が無くなってしまふ。だから、線の上だけとか距離の関係だけでは、引いてほしくない。いわゆる子どもたちに目を向けて考えてほしい、というのはそういうところだと思う。</p>	<p>そのブロックの分け方については、総合計画に示しているブロックどかかを参考にしてやるべきだという答申を受けて、そのあと、一昨年には、「基本的な考え方」というものをお示して、そこで懇談会をやらせていただいた。そしてそれを踏まえて、基本計画を作って、6ブロックに分けて学校数をお示してきた。それなりの手順、それなりの相談は議論させていただきながら、今日を迎えている。ただおっしゃるとおり、隣接ブロックの議論はあるので、それは当然、私どもその議論はしていかなければならないように思っている。だから、昨日、今日、えいやと決めたものではないということにご理解をいただきたいと思っている。</p> <p>それと最後に、距離の関係だが、これはもう言い訳ではなく、小学校であれば27校あるわけだから、それを大きく再編していく、これはもう一般的にも通学距離が長くなるのは、ある意味当たり前、必ずそういう場面は多くなる。実は、若竹小学校での懇談会でも文字どおり築港のマンションや道営住宅から通っている子どもの保護者から国道を渡る、あるいは臨港線を渡る、場所によっては踏切を渡らなければならない場合もあるわけで、そういったところについては、交通安全指導員の配置もできるのか、そういったご意見もあった。私どもそういった部分も含めて、検討していかなければならないと思っている。ただ、家に帰って遊ぶ場所が遠くなるというのは、校区そのものが広がるわけだから、その部分は、理解していただくというか納得していただかなければならないと思う。</p>
	<p>28 5年前にも、適正配置が降ってわいたのが、2年前ちょっとという話だった。その時にも、「早く言ってください。長い時間が取れるようにしてください。」と言いました。それだったら、賛成する方ももっと大勢いたかもしれない。教育委員会の方にも、それは耳にタコができる程それは言いました。長い時間をかけて交流して一緒になるのだったら良いですよ。そう言っている人もいた。なのに、また、何か知らないけれど今回の話、突然市長が量徳に病院を、それも2年ちょっと先、どうして、こういう横暴を許すのか。市役所の皆さんをそういう横暴を許さないようにちゃんと見張っていてくれないと困る。こんなことを突然言い出さなければ、多分、新しい病院がほしい人は一杯いるし、量徳のPTAの中からも賛成がたくさん出るかも知れない。なんで、急にやらなければならないのか。時間をかけましょうよ。前にも言った、3、4年かけてゆっくり、ゆっくり交流会ができれば、新しい校区探検とかいってみんなで違う学校の校区と一緒に探検して回ることもできる。それを3、4年も続ければ、小学生2キロ、3キロ、不安なのは1年生だけだ。1年生だって2学期になればそのくらい平気で歩くと思う、友達の家までは。だから、こういう上から無理やり、突然言われてきたことを、はいそうですか、と言って教育委員会まで一緒になって押しつけようとするのはやめるべきだ。5年前にも約束したのだから、もう少し時間をかけてできることを考えていただきたい。</p>	<p>おっしゃっていることは分る。前回の小学校の適正配置計画の時に、時間の問題で色々指摘されたということは、その時の報告や残っている資料を見た。今回の計画の中でもある意味では、期限を切っていない。繰り返しになるが、地域の合意の出来たところからやっていこうというのがこの計画の主旨になっているのは事実だ。ただ、ご承知のとおり、1年前の6月から、医療関係者そういった方々からもう1回病院の建設場所を検討できないかという話があり、私どもとしても、そこからではなくて、その議論の経過、どういふことで量徳小学校の場所は病院が適しているかということ、この場所での説明会も何度もさせていただいた。そういった経過の中で、今日がある。そのことは、理解していただきたい。これについては私がいう立場ではないかもしれないが、平成19年だったと思うが、一旦築港の所に病院を建てると、市として決定をした以降、一貫してあそこではなく、現地での建て替えが出来ないのかという議論をずっとしてきたというのも事実だ。本当に繰り返しになるが、他のブロックと異なるところは、文字どおり病院建設の要望が強い中で、24年度から工事を着工したいという、そういう中でAグループについては課題がある、ここで文字どおり5月11日に副市長からもあったが、これについてはご協力をいただきたいということに尽きる。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>量徳小</p>	<p>29</p> <p>先程病院問題で、病院のことは病院に聞いてください、と私の前に質問した人にそう答えていて、病院の問題を回答されると自分もついつい意見を言いたくなる。ここに病院を建ててくれという人は、昔の小樽病院のイメージを持っていると思う。でも実際、今の小樽の病院が、どれだけ機能しているか、どう考えているか。もし開放骨折して血管にいていた場合、小樽で診てくれるところはない。子どもが火傷をした場合、小樽で治療を受けられるところはない。そこまで知ってる方はいるのか。全部札幌に行かなければならない。そういう子どもが犠牲になって、この量徳が無くなって病院が建つ。それでも子どもを診てもらえない。それで先程企画の方が言いましたが、高齢者しかいない町になるということは、底辺で稼ぐ人がいなくなるということだ、ということは崩壊するだけということだ。そういう病院というのは、別に町の中心に無くても良い。向陽中学校が無くなれば、そこに建てれば良い。そういう施設的なものであれば良い。なんでここでなければならぬのかという病院になってしまう。将来的に、でも、小樽市教育委員会としては、小樽で子育てをするという環境を作ってあげないと、小樽で段々学校は小さくなり、グラウンドは狭くなる。皆、札幌で子育てをしようということになる。小樽の市立病院の先生も子育ては、札幌でしている。そういう環境になってしまふ。だから僕がずっと言っているのは、良い環境を子どもに与えてくれと、それでこの回答の中にもあるが、子どものことを第一に考えた統合という素晴らしい回答があるが、教育のことを第一に考えてと書いてあるが、教育を第一に考えていない。何をもちあなた達は教育というのか。困りがあって、雨風がしのげれば、そこが教育の現場か、自分は少年サッカーの指導をやっている。これだけ小樽の学校が減らされて、サッカーをやるところも減らされてとなると、子どもたちはすごく寂しがると思う。そういう環境をどんどん取り上げていく。一つの学校でサッカー、野球の二つをやらなければならなくなるという環境が生まれる。かと言ってどこかでできる施設もない。本当に教育を第一に考えているのは何なのか。最善の実施計画づくりを努めて参ります。先程教育長は、努力していますと言っていますが、僕から言わせれば、結果が出ていないのだから努力不足です、努力すべきだと思います。</p> <p>あとその下の方に統廃合の廃校になった施設をどう利用するのか、地域の皆さんと話し合っているとあるが、東山中、住吉中、石山中、過去に地域とどのような検討があって、今の利用法になっているのか、分らないが、なぜ東山が教育委員会になっているのか。地域の皆さんはそれに対してどう言っているのか、石山中学校は前に一時北ガスが使っていたが、今はどうなっているのか全く分らない。今どんな良い使い方をしているのか、もし使っていないのなら、この前、菁園で提案した東山中学校を花園小学校の代替にしてくれた方が良いのではないかと、そうすれば、石山中学校をもし使っていないのなら、今の東山で使っているすべてを引っ越せばいいのではないかと。再編を小規模な考え方でいるから、まとまらない部分があると思うので、もっと大規模に考えていったら、どんどん子どもの良い環境というのが生まれてくると思う。わざわざ緑小学校を4階建てにする必要はない。そうすればグラウンド面積は、4千㎡取れるかもしれないが、4千だとサッカーの試合はできない。あと、もしこうやって学校が減っていく、プールがある学校を減らす、もし将来的に小樽の学校に必要なだと判断した時に緑小学校ではプールは作れない。今後のこと、先のことを考えましょう。自分たちが死んだ後のことを考えましょう。そういう計画をお願いします。</p>	<p>今、色々な病気のことなどでもみんな札幌に行っている、その辺のことは話としてお聞きをする。それから、確かに学校のグラウンド、それは小中限らず、広い方が良いというのは十分分っている。ただ、今回このAグループで言えば、繰り返しになるが、担当の方からあったが、三つの要件、通学距離、施設の状況、もう一つはグラウンドというのも含めて、私どもとしては、このAグループでは潮見台小学校が適切だろうとそういう判断はしている。だから、この再編プラン全体のことでは、いろんな地域で進めているので、色々な意見が出てくると思う。例えば、手宮西と手宮でも統合した場合、手宮小学校を中学校にすれば、グラウンドが狭い。手宮西小学校を中学校にすれば、グラウンドが広いのでその方が良いのではないかと。色々な意見が出ている。十分ではないが、一定程度ホームページでもアップはしている。私どもとしては、基本的には、今こういった懇談会をしているので、統合に向けての色々な条件、文字どおり安全対策とか色々な条件については、それぞれ地域から色々な意見が出されているので、そういったご意見を聞きながら、できるものはやっていくスタンスでこの学校再編を進めていきたいと思っています。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>30 先日、菁園中学校の説明会に参加した。菁園中学校は学校も新しく、統廃合のうちの無くなる学校にはならないのではないかと考えていたが、受け入れる方として、話を聞けるかと思って参加した。話をずっと聞いて、最後にこうなのが望ましいというのが、菁園は山手・中央地区と書いてあったので、そちらの資料をもらって一番最後に望ましいと書いているのを初めて読んだが、その時には中学校の説明会だったので小学校の説明というのを初めて聞いたが、中央・山手地区の小学校の統合では、緑小学校を新築して最上小学校と統合するのが望ましいとあった。あの狭い土地にどうやって建て替えるのかを聞いたら4階建にもできると。あれだけグラウンドが狭くて片方が崖で、一方は川で、あの狭いところに新築できるのなら小樽市内どこの小学校も新築の対象になるのではと思った。緑小学校をもし新築するのであれば、今、手元にもらった資料の中でもたくさんのプランが書かれている。プラン5までもあるが、説明会に出席して資料を見ないと何々が望ましいという検討結果、このプリントからは分からない。教育委員会が望ましいと思っているプランが多分、中央・山手地区でいうとプラン1か2に該当すると思うが、でもプラン5まで載せているのでたくさん選択の要素はあるが、この内の望ましいものが分からないので、望ましいというものが載っている資料を全部の説明会で配付してほしかった、と思うのと、全部の説明会に出ないと教育委員会が望ましいと思っている残す学校の展望というのを聞けないので、資料を全部もらって読むこともできないし、分かっている範囲で教えてほしいのだが、緑小学校以外で新築するのが望ましいという検討結果に終わった学校があったら名前だけ教えてほしい。</p>	<p>単体で緑小学校を新築して残すのが望ましいとだけ取られると、それは困る。菁園の懇談会に出席されていたので、ご存知だと思うが、いわゆる山手の方で一つのプランとして、最上、緑グループというのを想定している。あそこには松ヶ枝中学校がある。松ヶ枝中学校というのはあのような高台にあってすでに54年も経っている。それでも1回あそこに中学校を建てるというのは考えにくい。それで一つのプランとして、松ヶ枝中学校を最上小学校におろす。そして最上小学校と緑小学校を統合して緑小学校を統合校にする。だから緑小学校も資料を見ていただければ分かるが、耐震の優先度は①になっている。急がなければならないという数値が出てきているので、そこを統合校にするとすれば、建て替えということを考えなければならない、というのが一つの候補として出しているところだ。それといまストレートに建て替えとして出しているのは手宮地区だ。手宮地区でも統合して1校と思っている。そして、その場所は、手宮小学校か手宮西小学校が適切だと言っている。手宮を残すということになれば、ここは建て替えが必要になる。手宮西はわりと新しい学校だから一定程度の改修で良いと思う。ただもう一つの要件として、中学校で末広と北山がある。ここは、そこを統合してこの2校を1校にしようというのが、私どもの考え方だ。それで統合校をどこにしようということで、なかなか北山中学校も高い場所にある。末広中学校も相当高いところにある。そういうことから、手宮と手宮西の2校のうち、どちらかを小学校に使った場合、残った方の敷地を使って中学校にしようという、そういう考え方を示している。その考え方でいけば、手宮小学校は古くて使えないので建て替えをしなければならない。そういうプランを示している。今プランの中で、これが適切ではないかということで新築という形を出しているのは、その2校だ。</p>
	<p>31 今のプランもそうだが、各ブロックで特認してほしいという子どもがいて、その子たちが卒業するまでは再編はしないとなっていると思うが、例えば、量徳の子が花園の方に行かせてほしい、最終年度に入る子は23年度に1年生に入る子が、卒業する28年度までその学校は再編しないということになるのか。それとも、特認で行った子たちは、それとは関係無く、花園、緑、そういう中央・山手地区の中の再編の中に入るのか。だから、そういう意味でも特認で行っている子たちがいる限りそちらの方の再編には手をつけられないということだと思う。それが、ましてや最上小学校が中学校に再編するとなると、小学校を卒業して中学校で菁園中学校に行く子、松ヶ枝中学校に行く子が重なってしまう時期ができて、再編プラン、教育委員会が考えているような、いわゆる緑小学校を新築して、最上小学校にいったら、向陽中学校は潮見台の方が遠くなるから松ヶ枝中学校に行こうとしていた人たちは、最上小学校が松ヶ枝中学校になって、緑小学校を新築するという経緯を知っているのか。向陽中学校や天神小学校で通おうかという意見も出ているのに。だから、こちらの方の一つのブロックでは考えられないのではないかとこのことを言っている。緑小学校を建て替えるということは、やはり色内小学校、稲穂小学校のからみもあるし、西陵中学校、松ヶ枝中学校、菁園中学校のからみもある。だから、来年度1年生が入る子が卒業する小学校6年間までと、緑小学校の子が中学校、菁園中に行くのか松ヶ枝中に行くのかをからめて考えるといつの時期にゴーサインがでるのか。ましてや、このように学校で説明会を開いても、自分たちの学校が対象になるんだというようにならないと保護者はピンとこない。私たちでもどっちになるのかということですべて探めてプランもどうだということになっているのに、じゃあこういうように提示しますよとなった場合、またそこどころでも地域で揉めて、今日にして納得した上で進めていきますというプランが15年の中で納まるのか。</p>	<p>おっしゃっていることは、そのとおりだ。ものすごい、ある意味、小中学校41校を前期、後期に分けて、合意をできたところからやっていきます。ざっくり言うとそういう言い方しかしていないわけだ。そうすると、色々なことが、この場合は繰り返してしまうとか、そういう部分というのが出てくる可能性がある。特に中央・山手地区は小学校と中学校の配置が複雑になっているので、それで、中央・山手地区でご覧になった方もいらっしゃると思うが、このプランの中で書いているのは、中央・山手地区でいうと基本的に小学校を先行します。それで小学校が一定落ち着いた、一定の段階で固まった段階で中学校をやる。ただ松ヶ枝中学校だけは、先程も言ったとおり、耐震化の問題、築54年の問題があるのでそこには手をつけなければならないということから、松ヶ枝中、最上小の関係は、先行して出しているということもそこに一つの理由があるということは、理解をしていただきたい。だから、最上小学校を中学校にする時点で、中央・山手地区の中学校が2校になるということにはならないと思う。要するに松ヶ枝中学校は、あくまでも耐震化、老朽化の問題を持っているので、松ヶ枝中学校だけは、先に対応して行こう。それプラス、前提として小学校をやって、時期を見てから中学校やりましょう。それがまず基本的なあの地区でいう考え方になる。ただ他の地区では、小学校を先行するとどうしても統合の経験を繰り返させないためには6年間いるので、先に中学校をやるという地区もある。司会の方からもあったが、懇談会はまだ1回目を当たっている段階なので、まず一当たりしてご意見なり、要望なりを聞いて次の段階に入ろうと思っている。ただ、一番最初に言われた量徳の部分の2のプランを選んで花園に行くと言った場合は、基本的に2年生の時に統合になると5年間になるが、それまでは残さなければならないと思っている。それと、特認に関しては、特認でこられた方については、違う考え方を持たなければならないと思っている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	32 違う考え方は。	例えば、24年4月に、ここの子どもたちの何十人かが花園に移ったとすると、その子たちを対象にしての、28年までは花園は、まずある。花園を29年に無くすと言っているのではない。それは保証する。ただ、ほかの事情でそのあと特認で入って来る子たちの部分については、ちょっと、制度で行く場合と特認で来る場合は、ちょっと違いはある。特認というのは、24年の時に、本来、潮見台に行く子は一緒だから良いが。
	33 例えば、以前、堺小の子どもたちが、稲穂小学校や花園小学校に入った場合と今回の場合は違うと思います。ましてや学校名を変えると、対等合併とか言葉は分かりませんが、そのように考えられていますよね。そうなった場合、この人数が花園小学校に行ったとして、花園小学校と量徳の再編でまず考えるのか、その後の花園小学校と緑小学校、入船小学校で考えるのか、それとさきほど28年度で区切られましたけど、もし29年度に、もう一度花園小学校が山手ブロックで再編がかかるとなった場合、その花園小学校の重複して、28年度に花園地域の子が1年に入ってしまうと、その子もまた再編になってしまうということになりますよね。その子が卒業する6年後となると33年度になるんです。そういうふうになっていると、いわゆる緑の方とかも関わってこないですし、ですからブロック、これは私が考えた中では、その子が33年度まで小学校を卒業する。じゃ、次の中学校を卒業するというふうになると、前期、後期の最終年度36年度にその子が中学校を卒業してしまうということになるんです。教育委員会の方が15年後に何人残っているのか分かりませんが、こうやって表を書いているうちに自分でも分からなくなってしまうんです。そして今日、緑小学校を建てなおして、最上小学校をどうのこうのと、本当にそれってどういうふうにするんですかと、こちらが聞きたいんです。できるんですか。	さきほども少し触れたが、実施計画というのをブロックごとに、あるいは統合のグループごとに作っていくことになると思うが、ただこれは一つずつ作っていかばその矛盾が拡大すると思う。そういう意味で今回の地区別懇談会というのを、時期を集中して、1学期、5月から2か月かけて全ての学校で1クールやっている。第2クールは2学期ということになると思うが、その辺の所で、統合の時期、ブロックごとの統合の時期の目鼻というのも具体的な日程に上ってくるという形で、お話を持っていかなければならないと思っている。ですから、矛盾がどんどん拡大していかないように、まず基本的な目鼻といったものはなるべく早いうちに、統合が実際に行われるのはまだ先かもしれないが、基本的にこのブロック、隣のブロックの姿というのは2回目、3回目の懇談会の中で、一定の形は作っていかねばならないと、十分今お話をいただいた部分を踏まえて考えていかねばならないと思っている。
	34 ですから、そういうふうをやっていかねばならないとおっしゃっています。量徳・若竹小学校の南小樽ブロックというのは24年度4月で再編をしたいと言われている時間がないんですよ。山の手ブロックの人達に、いわゆる危機感、ここのところが分かっていただけではないでしょうか。受け入れる側の方が本当は大変なはずなのに、受け入れる側の方の説明会の参加者が少ないというのはどういう気持ちなのか。受け入れる側としては、どういう学校で、どういう人数が来るのかとか、今まで運動会とかどんなことをしていたのかとかそういう質問が出てもおかしくないのに、なんでそういうことが出ないのか、やっぱり関心がないからだと思うんです。でも、私たちからすれば、24年3月で終わりなんですよと言われている親にしてみれば、本当は話を進めていきたいんです。本当にそれは、私たちもどうしたら良いですかとこちらが聞きたいくらいなのに、同じことの説明会の繰り返しで、もう9時を回わって、子どもたちなんか留守番させているんです。本当に話を進展させるために。	おっしゃる意味は良く分る。若竹小学校も6月1日の懇談会では、うちの学校も近々なの、という空気は感じた。こういう言い方は適当ではないかも知れないが、端的に言って、統合校になると思われているところの集まりは、やはり少ない。これは数回見て間違いない。繰り返しになるが、来週の月曜日花園小学校で行うが、その時には私どもも今日出たご意見も含めて、今の段階で来るという話ではないが、教育委員会も一つのプランとして、隣のブロック、このブロックとの関係で、花園との統合もあり得る。それも、想定としては24年4月ということがあるから、その時の統合校の体制、そこはきちっとやらねばならない。これは、保護者にも、学校にもきちんと言わねばならないと思っている。 今回、3番目とか4番目とか、統合に関連して要望が出されている。対等合併という言葉が適切かどうかはあるが、教育委員会が基本計画の中で言っていることから、統合するとか合併するとかいうことではなくて、その地区に新しい学校を作っていくというそういう視点から考えてもらいたい。これは今回の再編の一つの考え方だ。南小樽地区 Aグループでは、潮見台小学校を統合校とするというよりも、潮見台小学校の場所を統合校にして新しい学校を作っていく。当然ここで書かれている校名だとか校歌だとか、教育目標とか、こうした議論というのは、一定程度それぞれの関係者がいて、それなりの時間が掛かる部分だと思っている。先程もちょっと申し上げたが、私どもとしては、やはりこの夏休み明けくらいには、この統合へ向けての地区、1か所ではなくて、この対象地域の話し合いの場というのを設定していかねばならないと考えている。このようなスタンスでAグループはもちろんだが、可能性としては隣接する花園、若竹側でいえば桜、こういったところでの話し合いもしていかねばならないと思っている。

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
量徳小	<p>35 教育委員会の部長の話、説明ではなく言い訳だ。量徳小学校PTAとして3案、4案出してくれ、それが妥協案だと言ってるのに、理解をお願いしますって、なんでそのことを受けないだ。学校は、閉校にする、期間は1年9か月しかない、これじゃ飲めませんという、1案、2案しかない。それもPTA代表として出しているのに、なんだか委員会というのはこの地域、この量徳小学校を知らない人間が作った区域割をなんでそこまでこだわるんだ。こっち、妥協して、百歩譲って閉校に対して前向きにやろうとしているのに、部長あなたの答弁は、答弁ではない言い訳だよ。ご理解願いますというのは、こちらの意見も聞いて初めて成り立つんじゃないかい。おれからいわせれば、どこのだれだか決めたか分らない区域割か知らないけど、この量徳小学校の区域の父兄、児童、父母のことを分かってないんじゃないか。一方的にしゃべって、言い訳ばかりして、どうしてこっちが納得できるんですか。ご理解願いますと言ってもご理解できません。</p>	
	<p>36 先のことについての質問ですが、統合校が決まったとして、その統合校は、全部、校名とか校歌とか変えるということなんですか。</p>	<p>今日配った、要望に対する回答5ページで教育委員会の考え方を示している。一番上、適正化基本計画では、学校再編を行うに当たっての考え方の中で、「従来の通学区域を隣接する学校に編入する統合だけでなく、現在の小中学校の敷地を活用して新たな学校をつくる統合も視野に入れて考えます。」と、簡単にいうと、全部は新しい名前にするという考えでだけではない。二つの選択肢は持っている。今回は、基本的に学校の再編という考え方をしているので新しい学校を作っていくという基本的な部分はある。</p>
	<p>37 そのこの学校に、ほかの学校の子たちが、受け入れるとか、受け入れないとかではなく、統合されるのであれば、全部変わるんですよね。</p>	<p>ある学校の懇談会では、新しい校名という話でしたが、逆に参加された方から名前というのは伝統があるから名前は残した方が良いのではないかと言われた。その辺は私どももどちらかでなければならぬというスタンスには立っていない。ただ、今回、この量徳小学校のPTAから出された要望には、新しい校名、新しい教育目標、新しい校歌という指摘も書かれているので、私どもとしてもこの視点は大事にしなければならぬ。今後、ここのグループの話し合いの中では言っていきたいと思っている。</p>
	<p>38 統合される学校、例えば量徳が無くなって、花園や潮見台に行く生徒が分かれて、としたら、量徳も他の学校と同じように、量徳という名前を残したいと思うのですが、そう考えると、皆の意見とか一つ取り上げるというのは不公平になってしまう。思うに、花園小学校の父母は、父母とかあまりこういう懇談会に、その統合されないとか受け入れる側の親たちは関心がないという状態が起きると思うので、その辺をなんとか教育委員会も考えて、少なくともそれで良いではなく、量徳は無くなるからいっぱい来るけど、他の学校のお母さんたちが関心がないと私たちも不安ですし、どこが無くなるにせよ、ここだけでという話にはならないと思うので、そこをしっかりとやってほしいので、名前とか大事にしてほしいと思います。</p>	<p>そのとおりだと思う。やはり、校名、校歌の問題もあるが、今回の要望書にも出ているが、やはり統合の場所となる方がそこそこで、たくさんの子どもが来るわけだから、学校でも言うし、保護者からもきちんと言っていたかかないといけないと思う。その部分というのも大事なことだと思うので、そこは文字どおり、子ども同士の交流、PTA同士の交流、そういったこともきちんと言っていたかかないかと思わないと思う。おっしゃっていることは全く同感です。</p>
	<p>39 事前にいただいたプリントの青い紙について伺いたいのですが、教育委員会では今までの学校統合のときの経過や取組を踏まえながら、保護者の皆さんと協議します。となっていて、学校統合協議会(仮称)となっているんですけど、そのメンバーが保護者や学校、地域の方がメンバーとなっていますが、当然教育委員会の方もこの中に入るんですよね。であれば、事前にここに一筆入っていないと誤解を招くのではないのでしょうか。教育委員会の方もこの中のメンバーに入っているということで、これは刷り直しをしていただいた方がよろしいのではないかと思います。</p>	<p>当然教育委員会入ります。今日みたいに全部の人間ということにはならないが、それぞれ担当する人間がおりますので、必ず入ります。</p>
	<p>40 次回開催分から刷り直してください。即座にやった方が良くと思います。誤解を招きます。</p>	<p>お話の趣旨は分かったので。そのようにしたいと思います。 もし、いっぱい刷ってあるようでしたら、それぞれ懇談会の時にでも前段でお話をするということも考えたいと思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>奥沢小 6月2日</p>	<p>1 13ページのところで、小学校の校舎を統合校として、中学校に校種転換するところがあるのですが、このプランでいけば向陽中学校となるので、この地区では、小学校の統合校として向陽中学校の校舎の校種転換というのはあるのか。</p>	<p>13ページにありました、校種転換について、中学校の統合で整理したのは向陽と潮見台ということで、空く小学校を使えないかということで、手宮の方ではそういう検討もしているが、その際、天神小学校の位置と若竹小学校の位置、さらに、学校の敷地面積等考えると現在の小学校より狭くなる、そういうところを持っているということでその部分については考慮していない、ということで記述している。</p> <p>向陽中学校を小学校として使えないのか、という話ですが、小学校と中学校の学校の造りで、階段の上がり段の高さが違って来る。小学生の方が当然低くなっている、中学校を小学校では使えないということが出てくる。その逆では対応は可能だ。</p> <p>今の説明につけ加えると距離の関係も小学校の場合はあると思う。天神小と奥沢小の通学距離も考慮すると書いているので、向陽中学校ということになると、距離の関係も影響してくると思う。</p>
	<p>2 奥沢小になっても天神小になっても通学距離が結構長くなると思う。その場合、バスを利用することになると思うが、スクールバスのようなものを出すのか、それとも路線バスを出すのか。路線バスを使うのであれば、どのように便宜を図ってもらえるのか、その辺のところお話してください。</p>	<p>バス通学の関係だが、今現在小樽市内で路線バスやスクールバスを利用している子どもは約400人。基本的には小学生はスクールバス、中学生については路線バスという考え方を教育委員会は持っているが、例えば、中学生が路線バスというのは、部活動などでみんな一緒に帰るということできないので、中学生については路線バスとしている。先程質問のあった通学距離が遠くなることについてどう考えているのかということだが、基本的には小学生はスクールバスという考え方はあるが、小学生は距離にして2キロでバスに乗る区間が1キロ以上ということになれば、助成なりスクールバスの対象になるが、統合校が奥沢や天神になった時、対象児童がどのぐらいいるのか。また、その子どもがどこに住んでいるのかということもあるので、そういうことを考えた場合に路線バスが良いのかスクールバスが良いのか。やはりその統合校が決まった時点で、これはもうケースバイケースで考えていかなければならないと思う。詳しく個々に話を聞きながら、考えていくという形になるかと思う。</p> <p>バスの通学の利用に関して、小学校でも路線バスを使っている地域の学校がある。例えば張碓小学校がそうだ。JRバスを利用して、路線バスで張碓の子どもたちは、春香の方から通っている。そういうことで、その学校の、地域の実状とか、あるいはバスの本数とか、それから、バスの込み具合、そういったことも合わせながら、それぞれ地域に応じた考え方をとっている。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
奥沢小	<p>3 天神も奥沢もどちらも耐震基準を満たしていないということだったが、どの時点で、どちらかが決まった場合にすぐ工事に入って、工事が終わった時点で統合するという形なのか、おいおい何年かかけてやっていくものなのか。また、使わなくなった学校はどういうふうに、今後利用していくのかというのがある。元東山中学校は教育委員会が使っている。壊してしまうには惜しい学校がたくさんありますので、そこも何かお話があるのであれば、お聞かせください。</p>	<p>耐震について説明する。市内で五つの小中学校で今年から工事に入る。それから二つの中学校で耐震化工事をする前に耐震診断というのをやらなければならないので、いくつかの段階を経てやることになる。耐震診断をやって設計をして工事が終わるまでの期間を考えると2年。場合によっては3年くらいかかる。もう一つの要件としては、学校を普通に使い、授業をやりながら工事する。そういう構造の学校もある。ご覧になった方もあると思うが、よく学校の窓の外側にプレスというが、筋交いを入れて、耐震化をやるというそういうやり方でできる学校もある。ただ学校によっては、支柱が外側でなく、建物の中側に入っている学校もある。そうすると、プレスも外側と同じものではなく、細いもの、内側から。基本的には統合校になるところは、耐震工事もするし内部改修もしていくことになるが、その工法によって、統合校になってからやっても支障のないところと、規模が大きくなって内側から工事をするというのはなかなか難しくなるところと、それぞれある。だから、その辺は、この学校がそうとか、この学校がああだ、とか言えないが、基本として統合校については、工事は行う。その耐震工事の時期と、統合する時期は、その学校の施設や、あるいは工事期間などそういった部分も含めてご相談をさせていただく。文字どおり統合に向けては、建物の耐震工事だけではなく、教室の改装とか、この学校もたくさんの教室があるが、もうしばらく使っていない教室というのは結構ある。決まってからすぐ、来春から使えるかという、一定程度整備をしなければならない部分もあるので、その辺もお配りしている青いパンフレットで言えば、その統合準備の中で、どういうふうにやっていくかということをお話させていただかなければならないと思っている。これは一つの例だが、桜町中学校の耐震診断を始めるが、その学校は、先程述べた基本的な柱が内側にある学校なので、もしかすると一時期プレハブを作って、部分的に生徒に移っていただいて耐震工事をしなければならないという場面も想定している。</p> <p>学校の跡利用については、教育委員会が昨年11月に作った適正化基本計画という中に、跡利用の基本的な考え方が示されている。「廃止となる学校の跡利用」という項目があり、ここに「統合により、廃止となる学校の建物や土地の利用については、市民の共有財産として、全市民的なまちづくりの視点で地域の皆さんの意見や要望を聞きながら検討します。」ということになっている。それで学校の適正化については、今皆さんがお集まりになっているのは、地区別懇談会という位置付けになっているが、この後より具体的になってくると、説明会というものがある。その後、協議会というもの組織されてご意見をいただくことになっている。今後将来に向けて地域の皆さんのご意見を伺う機会というのが設けられているので、そういった場で皆さんのご意見、あるいは地域のご意見を伺いながら私どもは検討していかなければならないと考えている。ただ配慮しなければいけないことは、学校というのは教育の場としての機能だけではなくて小樽市の場合でいうと、各小中学校は、まず避難所に指定されている。それからやはり地域によっては、大事なコミュニティの形成の場になっているから、私どもとしてはそういったことにも当然配慮をしていかなければならないのではないかと考えている。現在私どもが考えているのは、本州では学校の跡地を非常にユニークな使い方をしている事例というのもあるようですので、今そういったものを私どもも調査、あるいは研究をしながら今後の参考にしていきたいと考えている。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
奥沢小	<p>4 今日、教育委員会からはっきりとした提案が出たわけだが、これから学校ごとに検討していくと、例えば明日天神小学校ですけれども、色々な意見が出てくると思いますが。その時に、教育委員会としては、今日提案した内容を、突っぱねるといったらちょっと変ですけれども、これをなんとかして理解してもらおう形で無理やり持っていくのか、あるいはまた他の学校の意見ももう一度考慮しながら再度検討する考えがあるのか、その辺の柔軟性というのはどうなのか。</p>	<p>今日は奥沢小学校なので、説明は力点をどちらかという小学校のBブロックの話をしているが、説明で一部中学校の話もした。中学校の統合の考え方、その中では、こちらの奥沢、天神に近い向陽中学校と潮見台中学校の統合の考え方も少し説明をさせていただいた。そういうことからいくと小学校だけに限らず、この周辺で言えば、奥沢小学校が統合校としては良いということではあるが、一方、向陽中学校の問題も密接に絡んできて、私個人的には内心複雑な思いではないかと何となく思っているが、これからは意見のまとめ方ということになるかと思うが教育委員会の今時点の考え方を話す。</p> <p>おっしゃるとおり、明日天神小学校に行くので、ここで話したことと、天神小学校でいうことと違うと怒られるので、その辺気をつけながらお話をさせていただくが、まず前提に、先程この資料の説明に入る前に、今日お渡ししている冊子の1ページ目に、正面の近くの囲ってあるところに書いてあるが、「地区別懇談会で参加者の活発な意見交換ができるような観点から作成したものです。」ということプランという名前をつけているので、これで決まりじゃないということとは、まず一つ前提としてご理解をいただきたい。ただどちらでも良いというわけにもいかないので、私どもとしては先程見た、学校の規模、あるいは通学距離、あるいは施設面、そういったそういったことで奥沢小学校の方が適切だという、そういう一つの現状での教育委員会としての考え方を持っている。</p> <p>当然明日の懇談会でも意見がたくさん出てくると思うが、先程学校の概要のところでも話をしたが、今現在の奥沢小学校の児童数は129人。天神小学校は170人。40、50人天神の方が多。これは天神小学校の方から見たら「なんじゃないな」という意見は出てくると思う。ただ私どもが考えているのは、今天神と奥沢だけを統合するというのではなく、ここでは結局、天神と奥沢の組み合わせというプランでしかないが、市内41校を対象として、文字どおり小中学校とも再編をしていかなければならない、そういう考え方である。そうすると将来的に小樽の子どもたちの分布はどうなるのかということも一つの要素になると思う。今だけということではなく。これは一昨年生まれたお子さんが、小学校に入る時ということで、数字上平成27年という数字を出させていただいているが、実は平成27年になると、今度は奥沢の方が151人、今129人だから、今いる子どもが出入りしないですそのまま大きくなれば、その数字になる。もちろん入ってくる子どももいるし、転出もあると思うが、151という数字になる。一方天神小学校の方は、今170だが、同じ平成27年は、137人になる。長いスパンでものを見た場合、一つはそういう状況がある。それともう一つは、やはり中心部に近い方が良いということではないが、学校の建っている立地条件、特に冬期間の部分で考えれば、正直言ってこの元育成院の坂を降りてきて曲がるころはなかなか大変だが、天神小学校も上がっていくのは、特に冬期間は大変な部分がある、そういった現状がどうだということだけではなく、いくつかの視点から見てもここが適切だということでの教育委員会としての現状の考え方を示させていただいた。ただ明日の天神小学校でも意見はたくさんあると思うが私どもとしては、今申し上げたことを同じように言って、そういった中で5年、10年さらにその先も含めて、どうしていくべきなのか議論をしていかなければならない、検討していかなければならないと思っている。だからどこかの時点では、Bグループの小学校2校を1校にという議論だからどこかの時点では天神小学校の皆さんと、この奥沢小学校の皆さんとで、一緒に議論していただく、もちろん教育委員会からの意見も申し上げるが、そういった場も作っていかなければならないと思っている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
奥沢小	<p>5</p> <p>きちっとしたこういう提案出させていただくと話しやすくて良いですけども、教育委員会がよく考えて出したと思うんですけども、ただ地域の人達からいろんな意見が出た時に、地域の人達の別な形の意見を受け入れる、若干の余地があるのかどうかと。ここばかりではなくて、全市的な形の中で、そういう気持ちはどうなのかと思って聞いた。無理やりなんとか通していきたいというなら、それはそれで良いですし、その辺どうかと。</p>	<p>おっしゃるとおりだ。これがどこの学校の位置でも、やはり長くそこにある学校だからどの方も自分の地域の学校、自分の通った学校は、残してほしい。という思いを持っているのはその通りで、それは私どもも否定はしない。ただ前段申し上げた通り、ここまで少子化が進んでいる、例を挙げると、今年一年生で入ったお子さんは平成15年に生まれたお子さんだ。今年の新一年生は865人。この平成15年とはどういう年だったかという、小樽市内で936人の子どもが生まれた、一方平成21年に小樽市内で生まれたお子さんは、723人だった。200人減ってしまっているという現状がある。来年、再来年と小学校に入ってくるお子さんは、どんどん減っていつてしまう。逆にいうと、市内全部の学校が先細りをしていく、どんどん小さくなっていく、やはり学校の再編をしなければならないと私ども思っているし、そこのところは、地域の方にご理解をいただかなければならない。そういう状況の中で、それではこの地区でどこの学校を残していくのが将来的にも良いのかという、そういう議論をしていかなければならないと思う。1から、学校の再編は反対だ、20年先も30年先もこのままでいいと言われてしまうと私ども一言もないわけだが、決してそうではないと思っている。私ども一昨年とそれから去年もここで、確か5月の18日に説明会をやらせていただいています。やはり学校再編をしていかなければならない、そういう状況にあるんだということをご理解していただいて、それであればどこの学校に今後も、30年40年先も学校を残すべきなのかというそういった議論をしていかなければならないと思う、というふうに思っているし、これは全部の学校でさせていただかなければならないと思っている。</p> <p>プランという言い方をしているが、教育委員会で考えたいいくつかのプランを検討した結果ということでまとめて、このBグループについては、奥沢小学校の場所が適切だ、そういう教育委員会の見解を記載して、それと合わせて、今回このような懇談会に臨んでいる。だから教育委員会の立場としては、このブロックのBグループについては、奥沢小学校の場所が適切だという判断をして、これが、私ども100%ではないと思っているので、視点というか、欠落している部分の方が一あった時には、このような懇談の場で、指摘をしていただいて、それが私どもが考えていた結論を一定出したものをもう一度見直さなければならないという場合が、万に一つあれば、それは受け入れなければならないと考えている。ただ、地域の方にここ2年くらい意見を聞きながら進めてきた、市全体の再編計画の中では、このような一定の見解を出して、説明も含めて、意見というかそれに対して参加した皆さんからのお話をお聞きしているということなので、それとは180度違う別なプランが出てきたときには、考えることは全くやぶさかではないので、そういう意味合いで最初からお話している。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
奥沢小	<p>6</p> <p>そういうことではなくて、委員会がきちんと提案してくれた内容に対し他の学校からも色々な意見が出てくると思う。その時に、ある程度、取り入れる気持ちはあるのか、ないのか。あるいは、またそういうのを取り入れてしまったら、またごたごたになってしまうので無理やりこれでもってやっていく、そういう腹積もりなのか。例えば、今回の沖縄の話みたいに、聞くだけ聞いて、あとはもう国の方でばつと意見出してそれで終わりという、そういうような形を、言い方は悪いけど、そのような形をとっていくのか、その方が一番きちっとすんなりいくと思うのだが、言いづらいかもしれませんが、その辺のところの腹積もりというのはどうなのかと思って。</p>	<p>私ども2年間議論してきて、今回このプランということでお示ししていて、これをまたぐじゃぐじゃにするというのは考えにくい、そうはならないと思っている。ご存知かと思うが奥沢小学校は、このすぐ向かい側、入船小学校の校区と近くこの図面を見ていただければ分かるが、奥沢小学校のすぐ前の所が白地になっている。ここは入船小学校の校区になっている。実は、入船小学校より奥沢小学校の方が距離的に近いということで、10数人くらいの子どもが奥沢小学校にきている。私どもは色々な意見を聞いて、見直すところは見直す、特にブロックとブロックの境界になっているところは出てくると思っている。中央・山手ブロックの方では、今日お配りしている広報を見ていただくと思ってるが、中央・山手ブロックの小学校は6校を3校にする計画で幾つものプランをお示ししている。その中で、入船小学校がなくなり、奥沢小学校が残るとすれば、今でもこういう状況なので、そういうところの協議とか見直しも当然あるだろうと思っている。どうしてもあまり、たくさんシミュレーションもできないので、こういう形で出しているが、ブロックとブロック同士の境界、そういった部分での通学区域の調整というのは出てくるだろうと思っている。</p> <p>今の話は、通学区域の設定の部分で、例えば道路1本挟んで、教育委員会では今の小学校の通学区域をそのまま使っているが、具体的に今後隣のブロックの学校との関係で、通学区域の道路の線引き、言葉は乱暴だが、線引き自体を実際にそこに住んでいる子どもたちが通うことを考えれば、こちらの方が良いという具体編になれば、話があれば、それはそれで一つの妥当性があれば、そういう線引きをし直すこともあるのではないかと思っている。</p>
天神小 6月3日	<p>1</p> <p>区割り自体を違う形でやるということも考えているのか。天神小学校は入船小学校とも近いので、入船、奥沢、天神の3校で新しく作るなどの案はないのか。根本的に小学校と中学校を分けて再編を考えているようだが、例えば、小学校は通学距離が短い方が楽だと思うので、小学校の位置と中学校の位置を入れ替えて、半径何km以内という出し方で区割りをした方が良く思う。</p> <p>2</p> <p>昨日、町会の役員会で、総連合町会と市長と語る会の中で、市長のほうから、量徳小学校のPTAとか他のところが病院建設について、了解をしたというような話をしたが、その辺はどうなのか。当初、かなり量徳小学校のPTAの間でももめていたと思うが、昨日の話だと自分は了解をしたという話を聞いたがどうか。</p> <p>3</p> <p>同意をしたというふうに役員会で聞いたが、そういうことではないのか。勝手に量徳小学校の跡地を、建てたらどうかということを調査することなのか。</p> <p>4</p> <p>きちんと答えてほしい。ぐたぐたはいい。はっきりと。市長が昨日の話の中で、6項目のいろんな話が出た中で、量徳小学校について「同意を得た」というふうに自分は役員会で話を聞いたが、それが事実であるのか、事実でないのかだけ聞きたい。いろんなことをぐちゃぐちゃ言わなくていい。はっきり、それだけ聞きたい。</p>	<p>今日はプランを一つ議論のたたき台として用意している。このプランは教育委員会としていろいろな角度から検討し示したもの。入船小を入れてのプランという話だが、この地区別懇談会は、5月17日から7月22日まで36会場で、市内の小中学校全校を対象に始めた。1回目は、皆さんからの色々な意見をお聞きして、当然1回で終わるとは考えていない。2回目以降は、この意見を踏まえて、どういった形で行うかを整理して次回に生かしていきたいと考えている。</p> <p>量徳小学校の位置に病院を建てるということで、市としてはこれまでも何回か量徳小学校のPTAの方、また地域の方とお話をさせていただいて、市としてあの場所に病院を建てるという方針を決めた。そこに、今回の第2回定例会で病院を建てるための基本設計の予算を提案していくということで説明をした。</p> <p>病院の関係では、量徳小学校の地域での懇談会を5月11日に行っている。その時は、合意とか同意とか、どういう形での終わり方では正直なかった。やはりいろいろな意見が出たので、その場では市のほうの考え方、そういうものについてお話をした。</p> <p>自分は昨日の町会長との定例連絡会議に出ていたが、6項目の中にはそういう話はなかった。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
天神小	5 町会の役員は違うことを聞いていたということか。	量徳小学校のPTAの皆さんが了解したということ話であればしていない。
6	その中で量徳小学校と病院の関係について、市長のほうから何か話はあったのか。もしあるとすればどのような内容の話をしたのか聞きたい。その場にいたということであれば一番よくわかっていると思うので聞きたい。	その場にはいたが、病院についての話がどの程度までと言われると、教育委員会の立場としては、逃げるわけではないが、市の話、病院局であれば…。
7	聞きたいのは、昨日の市長とのやり取りの中で、量徳小学校のPTAとか地域の方がたが量徳小学校の跡地に病院を建てるということに同意はしていないということか。そういうふう理解してよろしいのか。	そういう理解は困る。そういうふうには言っていないし、合意をしたとは言っていない。
8	学校の統廃合のプランと話は違うが、同意もしていないのに基本計画プランを量徳小学校の跡地でお金を出して、またやるのか。築港でもお金を出して基本設計をやったが。	病院の関係については言われたとおり、色々と経緯があるが、今日は南小樽地区ブロックのBグループの再編についてどうするかということで皆さんのご意見を聞きに来た。
9	<p>量徳小学校も南小樽地区だ。ここと同じグループなので聞きたい。量徳小学校のブロックの統廃合が進むということになれば、同じ南小樽地区に入っている天神小学校も進んでいくということだと思う。この奥沢、天神だけやるということではないと思う。分けてやることは可能なのか。同じ南樽地区でありながら、量徳小学校の話は違う話だというのは変だと思う。</p> <p>なぜ学校の統廃合のために、ブロックに分けて行っのか。バスで通わせて、もっと大きな範囲でブロックを形成しても良いと思う。人口も子どもも減ってきて、また同じことを何十年か後に繰り返して学校の統廃合をするのであれば、もっと大きなブロックでの統廃合が可能ではないのか。銭函や塩谷方面は別として、同じ南樽地区でやるのであればプランと違うやり方もあるのではないのか。国道5号線に分けなくても良いと思う。子どもがたくさんいた方がいいのであれば、南樽地区全体で新しい学校を建てたほうが良いと思う。そうすれば、2回も統廃合をしなくて済むのではないのか。耐震化されていないのだから校舎はどうにかしなければならぬ、それであれば思い切って、病院に150億もかけるのであれば、きちんとしたグラウンド、きちんとした体育館を建てて、生徒の安全を確保できるような学校を建てた方が良くはないのか。そういうことから南小樽地区の量徳小学校の件を聞いただけだ。ぐちゃぐちゃ言ってもらわなくて結構だ。</p>	<p>このブロック全体で考えてどうかという話だが、私どもとしては、今回たき台としてプランを示してみんなで議論をしようということなので、色々のご意見をいただき、今後の協議の材料ということで話は聞いていきたいと思う。</p> <p>今の意見は、ここのブロックでは、Aグループ、Bグループに区分せずブロック全体5校で考えた方が良くという意見ということによろしいか。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>天神小</p>	<p>10 5校でなくてもいい。花園小学校や入船小学校を入れても良いと思う。地域にこだわってはいない。道新記事では、「量徳小学校の統合の時期が2012年の3月と明らかとなった。」と書いている。「このため、量徳小学校、潮見台小学校と同じグループの若竹小学校で1日にも地区別懇談会を開催することになった。」ということも言っている。たたき台だと言っているが、自分たちのプランを押し付けるのと同じことだ。札幌のような大都市でさえ学校の統廃合を行っている時代だ。そうすると、もっと将来を見据えた形で、花園グラウンドを学校のグラウンドにしてもいい、総合体育館を小樽中央小学校の体育館にしてもいいではないか。そういうふうにもっと大きな目で、児童がどんどん減っていくと、小樽市の人口も14万人切ってから、今、13万3千7百人くらいしかいない。ものすごいペースで減っている。この状態でいけば、総務省かどこかで出した小樽市、何年か後に8万人というのも現実味を帯びてくるような話だ。今、統廃合しても将来にわたって本当にこれで良いのか、またやるのかという話になる。同じたたき台でも、皆さんどうですかと、率直な意見で、こういう地域を大きく囲ってしまって、バスで通うのも大変だと思うがどうでしょうかというプランも出しても良いと思う。なるべく小さくこちょこちょとやるのも手だろうし、大きく包んで本当にみんなに同意してもらって、子どもたちにも迷惑をかけるかもしれないがバスで通ってという気持ちでも良いのではないかと。素直にやれば良いと思う。大人の論理でやるのであればやらないほうが良いと思う。小学校は6年、中学校は3年で終わるが、小樽市の将来も考えたもとおおきなエリアで囲っても良いのではないかと。銭函の人を小樽市内に来いとは言わないが、3校を統廃合しても結局3クラスにならない時期もあったわけで、そう考えると、やっぱり教育委員会がいうようにたくさんの児童が集まって和気あいあいと学校生活を送りたいというのであれば、そういうのも一つの手じゃないかと思う。いろんな意見を聞いてからプランを作ってやってくれた方が良かったのではないかと思う。自分たちが考えている以上に13万3千人の小樽市民の意見を聞いてからプランをつくったほうが一番良かったのではないかと思う。やっぱり自分たちの意見ではないと思う。</p>	<p>今の方の発言は、ご意見としてお聞きする。今、6ブロックに分けてプランを示しているが、例えば塩谷の方では、長橋中と塩谷中と忍路中、小学校で言えば幸小、長橋小、塩谷小、忍路中央小を統合すると考えた時に、教育委員会が示したプランとしては、かなり広域になるので、バス通学にしても10kmを超えるような通学になる案も出している。先程からお話している色々な視点、広域的なもの、市全体として考えた上で6ブロックに分けて考えた。その中でBグループも色々な観点から考えた時、実態としてバスが天神町から国道まで繋がっているという部分と、その下というのはまっすぐバスが繋がっていないわけで、やはり、グループを二つに分けて考えるというプランに行き着いたということだ。先程あったが、全くこのプランを押し付けるという姿勢ではないということを御理解願いたい。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
天神小	<p>このプランを見ても、ただの数合わせにしか見えない。天神町の天神小学校、向陽中学校の2校ともがなくなる。ただでも高齢化率が高いこの地域では非常に寂しくなる。毎朝、子どもの通学時間には、交差点にボランティアが立って子どもと話をしながら送っていくという姿は見えてもとても微笑ましいし、それが地域の一つの活力に繋がっていると思う。単純に数字合わせのプランはいい。視点がおかしい。数合わせでいえば、天神と奥沢の統合のメリットは何もない。校舎は新築しなければならないし、最長通学距離は変わらない。人口は天神が減っていくので奥沢にしますというが、奥沢と天神は絶対的な人口が違し、現行の通学路を考えても、奥沢小を残すという根拠は何もない。</p> <p>11 量徳小学校に病院を建てるために、量徳小学校のPTAを黙らすために奥沢小学校と潮見台小学校のどちらでも良いと、もし奥沢小学校がなくなれば、選択肢が潮見台小学校しかなくなるから、量徳小学校のPTAの合意をとるために、天神小学校をなくす案を作ったという噂がある。数字合わせで天神小学校なくすということは、私は反対だ。天神小学校では野球やサッカーで地域が子どもを支えている。このようなことがなくなれば、老人だけの寂しい地域になってしまう。</p> <p>それから青色のパンフレットで、「以前の統廃合の時には次のような事をしました。」ということで、子ども110番の家、防犯ブザーの貸与、通学路の白線、カーブミラーの設置と書いているが、これは消していただきたい。なぜなら統廃合には全く関係ない、逆にこれに手をつけてなかったということに驚いた。</p>	<p>最後の意見の通学路の安全については、全くそのとおり、市全体で取り組んでいかなければならない問題だ。去年の説明会で、この会場では除雪の問題でお話をいただいたが、学校再編にかかわらず、学校の環境の整備についてはやらなければならないのは、当たり前のことだ。自慢げに言っているつもりはなく、なかなか日常的にそれが気づきにくいことから、今回、再編を契機にしてより一層こういったことにも取り組みます、取り組みました、という例示をした。</p> <p>それと先程、噂話ということであったが、そういう噂は本当にあるのか。そういう話があるのなら、私は言っている人と一対一で話がしたい。またそのような疑問を持っている方がいたら、教育委員会に聞いていただきたい。量徳小学校の病院の問題とこの通学区域の問題については、そういう発想は全くない。</p> <p>あと学校がなくなることで、その地域が寂しくなる、再編をすることが、逆に地域の活力をそぐことになるという話だが、それはある程度否定はできない面はある。今回の教育委員会の立場としては、学校の小規模化が進んで、施設も老朽化している。それを何とかしなければならぬ。広く言えば教育環境の整備と言っているが、そういう観点で今回の再編計画を進めている。地域の寂しさについては、十分承知をしているが、その問題と子どもの教育をどう考えていくかは、ある面では、両立できないかもしれないが、逆にそういう子どもを思う気持ちを通学区域が広がったことで、周りで包んでいただくように協力していただく、それは私どもとして、お願いをしていきたいと考えているので、根本的に地域の活力をそぐということをスタートにして学校の再編を考えているということではない。このことはご理解いただきたい。</p>
	<p>12 小中一貫校で、小学校で英語を教えるとか、小学校の音楽や体育は、今は1人の先生が教えているが、専門の先生がついたほうが子どもたちにプラスになるのではないか。この地区であれば天神小学校と向陽中学校、潮見台でも小中というのは可能かを聞きたい。</p>	<p>過疎化が進んで学校の小さなところは、小中一貫というより小中併置という形があり、一つの器の中に、小学校と中学校が一つになっているという学校があるが、小中一貫校というのは一つの目的を持って、例えば今の6・3制を4・3・2制にするなどの仕組みづくりをしないと、学校一緒にして、小中を一緒に入れてただ先生が小学校、中学校お互いの生徒を見るというやり方は認められていない。小中一貫となると、校舎が二つの一貫校もあるし、一つの校舎の中で、例えば国語で独特の教育を先生方が3年も5年もかけて色々やった結果、小中一貫教育を進めるというのが一般的なやり方になっている。私立の学校ではそれがかなり進んでいて、小学校6年生の時に中学校1年生の勉強をやるなどの独特のプランを持ってやっているもので、例えば小樽でそれを導入すると、市民や保護者の合意を得てそのプランづくりに汗を流してやらなければならない、というのが小中一貫校の考え方だ。現在の段階では、ブロックに分けて学校を再編しようと考えているので、現段階で、小中一貫校という考えは別の課題だと思っている。将来的には小中一貫校を考えていかなければならないかもしれないが、今導入すると余計複雑になるので、その考えを今は持っていない。</p> <p>また先程説明した小中併置校についてもその考え方を計画に入れると、また複雑になるので、私どもはプランに基づいて示している。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>天神小</p>	<p>13 教育委員会は実際に学校に子どもを通わせている保護者の方に統廃合について意見を聞かずに計画づくりを始めていると思う。今ここにきて具体的なものを見せられ「参加者との活発な意見交換ができるように」という話だが、この会場でも参加者から述べた意見が出ているが、これについての回答が「ご協力ください。」「ご理解ください。」ばかりのような気がする。感想としては、単にお願いをしに来たように思える。 ここで出された質問や意見は、教育委員会が持ち帰って検討をされる可能性はあるのか。</p>	<p>学校の再編について意見も聞かないままにプランの説明が始まっているという話だが、冒頭の教育長の話のとおり、学校の再編については、今年の6月の基本計画の素案の説明会をこの会場でも開いて、意見等をいただいている。さらにその前の年には、少子化が進むに当たって、学校の再編をしていかなければならないという考え方について、市内14校の中学校を会場として説明をして、そのあとに基本計画の素案ということで、41校の小中学校すべてを回って、意見をいただいて、そこでの意見が400件という話をさせていただいた。さらにその素案説明会をやった後に、何回か皆さんにはHPなどでお知らせをしながら基本計画の原案をまとめた。素案説明会の際には、具体的な案がなければ議論ができないという意見をいただき、実際にここここの学校を再編した場合に、どのような組み合わせで行って、規模はどの位になるのかを作ってきてきたものだ。決してこれがすべてというわけではないし、今の区割りの中でどういうことが子どもたちにとって良いのかという観点で作って示して意見をいただく場ということで、今日こういう場を設定している。この懇談会は、一回で終わるわけではなく、今日ここでこういう話をして終わりということではない。今いただいたような意見については、今後検討するものは検討していくという姿勢できている。</p>
	<p>14 末広中学校の懇談会で費用のことを聞かれたようだが、奥沢小にしても天神小にしても、耐震工事が必要となっている。今の校舎を耐震化することだと思うがその時に1校当たりはどのくらいの費用がかかるのか。</p>	<p>22年度は、5校の耐震工事をを行う。長橋小学校、桜小学校、朝里小学校、朝里中学校、銭函中学校。耐震化工事について、費用的なことでは様々。耐震化の工法にもよるし、校舎によっては、一部耐震基準を満たしているところもある。一番かかっているところでは、概算で工事費は約2億弱かかっている。</p>
	<p>15 学校を建て替えなければならぬと。総計でどのくらいの費用がかかるのか。</p>	<p>概算で2億円位という数字が出ていたが、その中には、暖房の工事など色々なものが入っている額だ。耐震化で言えば、施工面積にもよって変わるが、1億前後となると思う。</p>
	<p>16 先程あった耐震化の費用について、潮見台中学校では、3億近くかかると聞いていたが、さっきの金額は古いのか、具体的な数字は出ていないのか。</p>	<p>今、私がお伝えした金額は、今年度工事にかかる学校の部分で、円単位まで細かく言っているわけではないが、実際の契約した金額。3億というのはどこから出てきたのか分らないが、トータルすると何校かやっているのでそのくらいにほなるかもしれない。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
天神小	<p>17 市内の小中学校は避難所になっている。統廃合を繰り返していくと、どんどん避難所が遠くなっていくが、その辺は市の総合計画と照らしてどうなのか。</p>	<p>避難所も含めて、学校の施設をどう使っていくかということについて、いわゆる跡利用の基本的な考え方について説明したい。教育委員会が昨年11月に適正化基本計画というものを策定している。この中に「廃止となる学校施設の跡利用について」ということで記載されている。「統合により廃止となる学校の建物や土地の利用については、市民の共有財産として、全市的な街づくりの視点で地域の皆さんの意見や、要望を聞きながら検討をしていきます。」という基本的な考え方がこの中に示されている。私ども学校の跡利用については、今日は、地区別懇談会という位置付けになっていてこれが何度か開催される。そのあとに説明会が開催されて、皆さんの意見が出されるので、当然議論が進んでいくと、地域によっては学校の跡利用はどうするのか、というように議論が進んでいくのではないかと考えている。そこで配慮しなければならないことは、市内の小中学校はすべて避難所に指定されている。これは小樽市が定めている防災計画というものがあって、その中できちんと位置付けをされている。それと学校の役割というのは、避難所だけではなくて地域によっては、コミュニティーの場として使われている学校もある。だから、直ちに学校が統合になったからといって市がそれを壊したり、処分したりということではなく、防災計画に位置付けられている避難所としてどうするのか、あるいは地域の方々が、それ以外にどういった使い方を望んでいるのかということから色々な段階を経て、お聞きする場面というのがあるので、そういったものを踏まえて私どもとしては、検討していきたいと思っている。将来的に施設を、具体的にどうするかになると、それを改修するためにどの位になるのかというお金の話になる。また、誰が運営するかという運営主体の問題も当然出てくると思うから、将来的にはそういった課題を解決しながら、施設をどのように使っていくのかということになるかと思っている。避難所としては、防災計画に位置付けているので、私どもとしては、全市的な配置などを考えながら、十分配慮していかなければならない問題だと考えている。</p>
	<p>18 量徳小学校のPTAの者。天神小、奥沢小、入船小を一つにするということが出ていたが、ブロック分けについては量徳小学校の懇談会でも見直してほしいとの意見が出ていた。他の地区と比べてこの南小樽地区と中央・山手地区は学校が近隣にあるため、このブロックで区分をしないでもっと違う見方でプランを出してほしい。昨日奥沢小学校の懇談会に行き、終了後教育部長と話をしたが、量徳小学校の場合は病院の問題も絡んでいる。量徳小学校の保護者としては、小樽病院に関しては同意はしていない。量徳を閉校するということについては諦めていないので、もし小樽病院の量徳敷地の建設がなくなった場合のプランも作ってほしいと要求をしている。市がどうしても病院を建てるとなると、量徳小学校も来年いっぱいなくなってしまうのでもう時間がない。子どもたちにも動揺が広がっているし、新聞報道を見て泣き出す子どもたちも出てきている。市も教育委員会も早急に、慎重になって真剣に考えてほしいと思う。今まで量徳小学校から色々な質問や要望が出ているが、プランには一つも肉付けされていない。そのままで5月17日の潮見台小学校の懇談会に入っている。何のために量徳小学校の説明会を何度もやったのかと思った。先程、避難場所のことも出ていたが、量徳の地区も病院のために避難場所がなくなってしまう。双葉中学校のグラウンドだけでは、あれだけ広範囲の地域の人には避難できない。前回、市の説明会でもその話はしたが、何も回答をもらっていない。病院問題での市の説明会も強制的に終了された。このままで終わって良いのか。真剣にプランを立て直してほしいと思う。6月25日の量徳小学校の懇談会では、この内容でプランを説明する必要はない。違うプランを待っている。量徳では、委員会を立ち上げて話し合いの場を持っていきたいと思っている。</p>	<p>今の件で、一つだけ話をさせてほしい。量徳小学校のPTAから市の方で、アンケートをまとめてそれに対する回答を要求された。その中には、避難所のこともあり回答はしていると思う。書類で回答していることを確認したい。PTAから話があったことについては、可能な限り、誠実にということでは適切ではないが、答えられる範囲のことはやっている、教育委員会では認識している。この話はまたあとで話をしたい。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
天神小	<p>19 40年近く前の話だが、昔、奥沢天神に生徒が多かった時代天神の終点から小樽市駅へ松ヶ枝緑経由でバスを通してほしいという要望を出したが、いまだにバスは通っていない。案としてあげても答えも帰ってきていない状態だ。その頃私は子どもだったが、親に聞いても答えは返ってきていないとのことだ。そういうこともあるので、きちんと述べられたことについては最低限答えてほしい。</p> <p>20 先程の避難所の話だが、総合計画がどうだとか訳のわからないことを述べていたが、学校がなくなれば、維持管理をどうするということよりも、避難所自体がなくなるんですか、どうなんですかと聞いたのだ。けがした人が奥沢小学校まで行くことになるのかと聞いたのだ。維持管理の話はどうするのか聞いたわけではない。何も答えてないような気がする。</p> <p>21 学校全部を残すのか。</p> <p>22 私は量徳小学校の卒業生だが、学校が火事になって避難したことがあり、その時は潮見台小学校に一時仮住まいをした。避難した時に小学校6年生のお姉さんが点呼をとっている時に泣いていた。それはよく記憶をしている。自分の学校がなくなる、焼けてしまうということだけで、小学校6年生のお姉さん方は泣いていた。それだけ学校とは離れても愛着のあるものだ。ただ人がいないからといって勝手に大人の論理で潰していくようなことを本当にして良いのか。お金をかけるべきところにかけてやっっていく。小さい学校は小さいところなりに良いところがある。大規模な学校はそれなりに良いところがある。今の世の中、人がいなくなれば、コスト削減で何でも切ってしまうのか。新しい病院が出来たら良い先生が来ると市長は言っているが。意見を聞くのであれば、新しいプランを作って持ってきてほしい。プランを押しつけるのではなくて、いろんな意見が出てくるので、もっとそういうのもって話を持ってきてほしい。多少犠牲を払わなければならないというのなら、なくなってしまうかもしれないこともあるだろうが、そこはみんなで素直に話し合っていけば良いと思う。</p>	<p>量徳小学校のPTAからアンケートで寄せられたものについて回答していることは知っている。市としては、基本的に答えはお返ししているはずである。ただ、なかなか実現できないものもあるうかと思うし、市が主体でやれるもの、やれないものがあるので、すべてのご要望に答えられるものではないということをご理解いただきたい。</p> <p>総合計画の中ではなく、防災計画の中に、市内の41校の小中学校が避難所に指定されている。学校が廃校になったからといって、直ちに解体をして処分をしてしまうということではなく、地域に避難所としての機能は当然置いておかなければならないので、学校の跡利用として、地域によっては避難所として残しておかなければならない場合が出てくるのではないかと思う。</p> <p>詳細については私どもこれからどういった形で残していくのかということも含めて、検討をしていきたいと思っている。</p>
潮見台小・中 5月17日	<p>1 資料の3ページについてお尋ねする。耐震化優先度の①とか②-2とかの記述はどのような意味か。</p> <p>2 子どもが潮見台中学校に在籍している母親です。なかなか突然質問と言われても……。他の方の意見を聞いてから意見を出したいなあという気持ちもあります。少し潮見台中学校の関係の方とお話させていただいて、意見を言うというのは難しいでしょうか。</p>	<p>耐震化優先度を付けるというのはある程度学校の数のある町の場合、耐震化を一遍にはなかなかできないので、どういう順番で次の耐震診断をやっっていくかという順番をつけるための一定の指標があって、構造やコンクリートの状態とか古さなどから、この学校から早く耐震診断をしていったらどうかと言う順番付けだ。○で囲んだ数が少ない方が先に診断をしていったら良いのではないかという順番付けをしている。①の中でも量徳小学校や奥沢小学校で②-1とか②-3がある。②-1の方が優先度が高くなっている。あくまでも、これは次の耐震診断を行う順番を決めるための指標なので、必ずこの数字が少ない方が構造的に弱いというものではない。それは次のもっと詳しい診断をしてみないと分からない場合もある。</p> <p>こういう場を設定したのは、例えば、PTAの役員の方であっても、PTAを代表して意見をいただくという場ではない。当然地域の方も入ってくるし、あるいは町会役員という肩書きを持っている方も、いるかもしれないが、まず率直に会場に来ておられる1人として、ご意見あるいはプランに対しての要望、これからのことも含めて、感想でも結構ですが、いただければと思う。教育委員会は今日は、何でも聞いていこうという姿勢ですので、あまり格式ばらずにお願いをする。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>潮見台小・中</p>	<p>3</p> <p>潮見台中校区で量徳小学校の方が、皆さん菁園の方に行かれる方が多い。本当は潮見台中学校に通うはずの子どもが少なくなっているように思われる。この計画を進めるに当たって、潮見台中校区の方は、潮見台にいらしてください、ということで進めないかと再編計画が今の状態だと、菁園に行きたいというお子さんは、そちらに行かれるので、中学校は潮見台が残るように聞こえるが、そうなった場合生徒数が計画どおり集まるのかという心配がある。</p>	<p>今、発言された方、お子さんが潮見台小学校卒業して本来であれば潮見台中学校の校区だが、いわゆる特認で、菁園中学校に行くお子さんが多いという・・・今日の図面にもあるが、菁園中学校に行くお子さんと潮見台中学校に行くお子さんがいるが、多くのお子さんが菁園中学校に行くということをおっしゃると思う。特認申請は、そういう傾向が極めて強いということがある。特認の部分について、基本的には決められた校区の学校に行ってください、いくつかの理由はあるが、その理由に合致すれば、他の校区の学校に行っても良い、という仕切りになっている。それで、量徳を卒業したお子さんが、潮見台ではなくて菁園に行くのが多い理由というのは、量徳の卒業生に限らず、菁園中学校は、特認を受ける例が極めて多い。その理由は、女子では圧倒的にプラスバンド、男子ではサッカーで部活動が理由に挙げられる。菁園中は、グラウンドも狭くて大変だというのは、一方であるが、他と比較してそういった理由が多い。ただ、街の中心部にある学校では、稲穂小や花園小もそうだが、ご両親の勤め先の関係で、全体としても多い傾向はあるが、それにしても多い。</p> <p>市内の中学校は、14校あるが、1学年あたりの子どもの数もさきの数がずっと減ってきている。そうすると、野球部はできるけど、サッカー部はできない。またその逆の面もある。多くのお子さんが、小学校の時代から少年団で活動していて、中学校に入ったら、部活動をやろうと思っていて、自分の通う中学校にその部がないとなるとそのお子さんにとっては大変なショックになると思う。それでその希望する部活のある学校に行くということになる。そういう流れは、もう十年近くと言っても良いかもしれませんが、すごく多くなってきている現状はある。だから学校再編ということではないが、小学校ももちろん、中学校では部活を考える時、一定の規模の学校を作って、選択肢のできるような体制を作っていくかなければならないと思う。今の中学校の部活では地域の方々のご協力をいただきながら、いわゆる外部指導者に教えていただく、確か潮見台小学校では、野球で外部指導者の方にお手伝いをいただいていると聞いている。ですから、教育委員会としても、特認をよしとしているわけではないが、市のホームページにも載せているとおり、いくつかの特認の条件を認めている、合致すれば、だめということにはならないというのが現状。ですから私どもとしては色々な学校活動が一定程度できるような形の学校作りを進めていかなければならないと思っている。今いただいたご意見の対応にはなっていないかもしれないが、誰でも好きように学校に行くと良いということではなく、やはり、いくつかの理由というのを掲げていて、その理由に合致する部分については、特認を認めるというのは、基本的なスタンスであるので、そここのところではご理解をいただきたいと思う。繰り返しになるが、それぞれで活力のある学校づくりによって遠くの学校に行かなくても、それぞれ自分の校区の学校で色々な活動ができるような、そういった体制というのは作っていかなければならないと私どもとしては考えている。</p>
<p>4</p>	<p>地域の者としてご質問したい。当然統合ということで学校が減ると、資料の中にも、一番遠いところからの通学距離というのが述べられているが、全体としてお聞きするが、例えば新一年生になるお子さんが、通うと、それが、学校にいる時間が短かろうが長かろうが、登下校の距離については、保護者の方も、ご心配な面があるかと思う。バスの停留所の距離もあるかと思うが、将来的にスクールバスで学校に入ったばかりのお子さんだとか地域的に、限定的に、出でくるのではないかと危惧をしているのですがその辺はどのようにお考えですか。</p>	<p>通学の手段ということで現状をお話します。現在バス通学で児童生徒にかかる通学支援制度があって、路線バスを利用する方には通学距離によって、小学生では片道2キロ以上、中学生では片道3キロ以上の区間があると、バスの通学費の助成制度を受けることができる。その他に路線バスを利用できないお子さんがいたら、スクールバスを将来的に考えていかなければならないと思うが、現状ではスクールバスは、銭函小学校と長橋小学校と忍路中央小学校の3か所で運行している。今後の部分については、皆さんのご意見を聞きながら、路線バスかスクールバスかの協議をしていきたい。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
潮見台小・中	<p>5</p> <p>（意見） 全国的に少子化の傾向にあつて、小樽だけでなく、どの地区も小中学校の再編成は避けて通れない道だと思うが、小樽市の教育委員会を始め市の皆様が大変御苦労なさって計画を立案されているということが大変よく分かる。ここを皮切りに、全市的に説明をしていただくということが大変ありがたく思う。今日プランを見せていただいて、具体的なことについてこうとはなかなか言えないが、このプランを見て感じたことは、プラン1とプラン2を見比べて、小学校のグリーンで、示された区域、それから、中学校のピンクで色分けされた区域が大きく差の出るところだが、私が見て、通学距離それから将来の学級数で言うと、プラン1では、27年度の中学校では9学級、それからプラン2の方では、12学級編成が可能と見て取りましたが、そのような学級数から見ても、できれば9学級よりも12学級の方が私は望ましいと思いますので、通学距離、学級数の面からプラン2の方が望ましいのではないかと個人的には十分勘案されて、将来決定していただければありがたいと思う。</p>	
	<p>6</p> <p>現在中学校に通う娘がいる。3年生なので、今回の再編にはかからないと思うが、2年後に下の子が小学校にあがる。先程の方が言われた色分けされた区域に住んでいて、話を聞いていても、プラン1が良いのかプラン2が良いのか本当に迷う。この色分けされた区域に住む人達に対する説明会を別に開くなどの対応が今後あればと思う。</p> <p>もしこのプラン2となった場合、朝里ブロックになるのですが、朝里ブロックではさらに数年後に中学校の再編成があることを考えると、どうにも悩ましい限りです。親として、どちらを選択すれば良いのか。今、上の子は、境界線にいるものですから途中で引っ越したこともあつて、特認を使って潮見台へ通わせていただいている。潮見台が慣れているものですから潮見台が良いのかという悩みがある。今後、この悩みを解決したいので、この区域の人にどうですかと話す機会があつたらと思う。</p>	<p>今日は量徳小学校の保護者の方もこられているようだが、量徳とはこの間何回か話し合いを進めて来ました。それ以外の学校では、こういった案を出して、懇談会を開催するのは、私どもは今日が初めてで、皆さんも資料をご覧になったのは、今日が初めてだと思う。ですから、前段で司会の方からもあつたが、私ども基本的には学校再編は進めていかなければならない。それで我々、教育委員会の人間が考える案として、一つではなく二つものを出しました。正直言って私どもどちらが良いのか今の段階では考えていない。この図面を見ると文字どおりそうですが、潮見台小中の方は、どのプランでも動きがない。ですが、若竹校区それから量徳校区の方は、小学校区と中学校区の間でどちらかの選択になるか。極端な言い方をすると、例えば、小学校の緑色の二つの部分があるが、もしかしたら、この部分が、両方とも、中央・山手地区と朝里地区のブロックに行くこともある、だけでも、一つのブロックがこの南樽ブロックにきて、片方は、朝里ブロックの方に行くということで、これだけではない、私どもが示している二つのプランだけではなく組み合わせについては、三つも四つも出てくることはある。ただ、それを私どもがこの冊子に全部載せるわけにはいかないの、その基本的なところを作ったということにしている。</p> <p>今日から各学校でのこうした懇談会を開いて、こういう言い方が適切ではないかもしれませんが、今日は潮見台小中の懇談ということで、教育委員会のお示しているたたき台としては、小学校中学校とも潮見台としているのでそれほど意見は出てこないだろう思っている。これが若竹、中学校で言えば向陽とかそこへ行くとき相当色々な意見が出てくるだろうと思う。ですから、私どもは、この懇談会を一当たりやって、それぞれ地区から出てきた意見を飲み込ませてもらい、場合によっては次の話し合いは、Aグループ皆さん全体での話し合い、あるいはBグループ全体での話し合い、そういったことも当然あり得ると思う、個別でもあつたと思う。それから今ご発言にあつたとおり、この緑色のエリアの人だけで、もし話し合いが必要であれば、言っていたら私どもは行きます。今日は、こんなに一杯来ていますが、こんな人数では行きませんが、担当者が、この地区の人たちだけで懇談会を開いて欲しいというオファーがあれば、私どもは相談します。ただ、7月一杯まで夜は、このような形で懇談会を開いていますので日程調整をさせていただかなければならない部分はあるが、ここの会場でも1回で終わるわけではないのでぜひお帰りになつた後でも、周りの保護者の方とも相談をしていただいて、どんな場所でも言っていたら私ども何うので、そういうことで、お願いしたいと思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
潮見台小・中	<p>7</p> <p>この資料を見て、かなり時間を使われて努力されていると思う。ただ正直言って少し分かりづらいという印象を持っている。お願いだが、もし27年度の人数の把握ができているのであれば、住んでいる人数を地図に落としていただければ、ここには人がいる、ここにはいないというのが分かる。確かに範囲は広いけれども、住んでいる分布がよく分らない。ひょっとして5年後にはその人が卒業すれば、この地区に誰もいなくなるかもしれない。もし可能であればそういう資料をいただければと思う。</p> <p>あと先程から話が出ているが、緑色やピンク色の区域に関して言えば、隣接ブロックの情報が欲しいと思う。それがないとなかなか判断しにくい面がある。今後の流れとしてそういうような資料があればと思う。</p>	<p>今のお話の中に2点程あった。一つは住んでる方の居住分布、年度を特定すれば、現在の住所ごとにこのように拾っていますので、ただそれを落とした際に、どの位のものに見えるのかということもあると思うので、今の話は、承って検討させていただきたい。もう1点、隣接ブロックの考え方がですが、プランそのものは、市内6ブロックに分けたものを市のホームページ等で公開はさせていただいているが、今日、受付で資料として「広報おたる5月号」の関連記事をお配りしている。この中では、ページ数の関係でなかなかすべては書ききれないが、考え方として、このブロックで言えば、先程の小学校のプラン2の関連、量徳小学校の関係、桜小学校の関係は資料として整理をさせていただいている。例えば、小学校のAグループのプラン2の若竹小学校校区を朝里地区へ行った場合、これにつきましては、7ページの⑤として表現させていただいている。ただそこで、切り取っていく子どもさんの部分とか、数ということに関しては、この冊子にしか書いていないので、手元には、この冊子全6ブロック分ある。資料としてお渡しすることはできるので、言っていただければと思う。</p>
若竹小 1 6月1日	<p>1</p> <p>2年程度かけてとあったが、それは決定事項か。若竹小学校は2年のうちに統廃合になるということか。全くの白紙の状態から考えていくのではなくて2年後なのか。</p>	<p>「学校の統合を進めるに当たって」のリーフレット、この中で2年程度と書いている。全市的に41校を21校にするという計画であるから、実質20校が減ることになる。経験的に言って、3中学校を統合した時の準備期間、それから堺小学校を統合した時の準備期間、当時の関係者の声を聞くと、少なくとも1年、できれば、もう少しという声をたくさんもらった。結果としてそれだけの準備期間が確保できない中で統合したという形になったが、今回は助走期間をある程度取っていきたい。ということで全市的な統合を進める上での考え方として2年程度ということで打ち出している。ただ、このブロックに関しては、病院問題があり、量徳小学校が含まれるグループで若竹小学校もAグループという考え方を持っているので、病院の工事が始まる、その中で、ある程度の年限を決めてこのブロックの再編を考えなければならないと思っている。では量徳にすべて引きずられるのか、という声が当然出ると思う。教育委員会では今回のプランの中で、学校の位置として、色々比較、検討した結果、潮見台小学校が適切だという一定の判断をしているが、それに至る経過の中では、適否については、一つは若竹小学校というパターンを出していることで、そういうこともあるかも知れない。教育委員会では潮見台小学校ということを出していることで、そのプランの是非について意見をいただきたいのと、量徳小学校の閉校の時期と、同時タイミングで潮見台小学校を統廃校とするという形になれば平成24年ということで実質的な準備期間は1年半ぐらいという形になると思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 1	<p>2 先程の質問は、白紙からのスタートではないのか、ということだと思ふ。これについてイエスカノーかということだ。</p>	<p>このグループ3校の中で、潮見台小学校が適切だという表現をしている。ただ、これは一つの案として出しているもので理解をいただきたい。このAグループの中では病院問題があるので、量徳小学校で言えば、平成24年度の段階で移るとことになる。潮見台小学校に統合しなければならないと思っている。潮見台になるか、一部花園小学校になるかという選択肢はあるが、統合はしなければならない。その時に若竹が同じ時期なのか、もう少し準備期間を置いてやるべきなのかは、議論のあるところだと思う。準備ができないということであれば、準備なしでは行えないと思う。先程2年と言ったのは、この地区別懇談会で全校の会場を回っているが、統合校が決まるのであれば、あまり長い時間をかけないで必要な準備をやって統合を迎える方が良いのではという意見も出ている。統合校を決めてから3年後、4年後に統合となれば、毎年1年生は入ってくるので、その1年生の保護者は迷うと思う。だから、決まった以上は準備期間を一定おいて統合に向かうべきだ。それでは、今決めて来年すぐに行えるかというところはいいかない。具体的な準備はある。例えば、学校によっては教材が違うかもしれない。そういったことは事前の準備の中で、先生に他にも色々議論をしてもらって、教材は同じものでスタートして行こうとか、そういった部分が必要だろう。それから子どもたちの交流も2年も3年も交流をするわけにもいいかないので、例えば統合が24年と決まれば、その前の1年間、同じところに遠足に行き交流する、お互いに学校訪問をしあうとかそういったものをして統合に向かう。PTA同士の交流も同じだと思う。その意味で2年程度の準備期間間というのを考えている。言われたように、量徳の関係で24年だから絶対に24年なのかということもあって、まず今日懇談会を開催させていただいて、6月22日も予定をしているから十分話し合いをさせていただきたいと思っている。</p>
	<p>3 今の話の中で、確認だけしておきたい。私たちは新聞報道に今の説明をあわせて聞くと24年度には新病院を建て始めたいということだと思ふ。そう考えると量徳小学校は、新病院を建て始めることで統廃合することを確認して潮見台小学校を中心として再編することが望ましいのではないかと教育委員会は考えている。それで、色々な経験を踏まえると、2年程度の時間をかけていきたいという思いもある。それでは教育委員会が24年度の病院建設に向けてベストと考える、量徳小学校にも確認はできている。そういうことからいくと、若竹小学校もあまり時間を掛けすぎないで同じような時期に潮見台小学校に移ることが教育委員会としては、子どもたちにとっても地域にとっても良いと判断しているという受けとめ方で良いか。</p>	<p>基本的にはそのように受けとめていただいて良いと思う。ただ教育委員会として思っているのは、リーフレットに統合後どんな協議をするのかを載せているが、左側の方に7、8点書いている。今度の再編計画は、市内41校全部やるということなので、今回の再編の基本的な考え方として、ある学校がこの学校に吸収統合されるという考え方だけではなく、それぞれの地域で新しい学校を作るという視点も持ちながら進めていきたいと考えている。その場合は文字どおり今日からの議論になるが、可能であればこのAグループの中で一つの学校を作るとした場合、例えば校名はこの学校の名前で良いのだろうか、違う名前も考えられないだろうか、そういった議論もしていかなければならない、するべきだと思っている。そのようなことから、まず量徳と潮見台が先行し、後発に若竹ではなく、同時期に可能であればやっていきたい。ただ、もちろん選択肢としては、今の小学校を3校全部ということも視野に入れて示しているが、量徳小学校で葺園中学校に通う校区は隣のブロックへということについては、議論をしていかなければならないと思っている。同時にできればその方が良く私どもは思っている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 1	<p>若竹小学校では統廃合するのに教室の数が少ない、そして数年のうちに建て替えが必要だとあった、であれば建て替えをして欲しい。若竹小学校に説明に来てプランやパターンを示しているが、若竹小学校が物理上無理だとしても建て替えという道があるのであれば、プラン3や4として、若竹小学校存続の提案があっても良いと思う。これは統廃合の説明ではなくてブロック別学校再編プランの説明なのだから学校名を変えることよりも、若竹小学校に来てせつかく説明してもらっているのだから、若竹小学校を建て替えて残すというプランもあり得ると思う。そういう示し方もしていただけたら、若竹小学校の子どもたちのことを大事に思っていると私は感じる。</p> <p>統廃合を二度重ねないよう期間を置く、もし私が潮見台小学校の保護者だとしたら、今回は量徳が来た、今回は若竹が来たというようになれば、潮見台小学校は迎える側として2度経験することになる。そういうことをきちんと話してほしいと思う。</p> <p>量徳小学校の保護者には何回も説明をしてきて、今日ここに樽病のことを質問されたら答えるように病院の担当者も来ている。量徳では色々なことを説明してきて、若竹の保護者は新聞報道でしか分らない。同じグループであれば、量徳と同じく病院の今後や見通しについてももっと具体的に話をしてもらっても良いのではないか。量徳ではそういうことをしてきたから一定の協力を得ることができたのだと思う。私は前のPTA会長として教育委員会からこの5月、6月に懇談会を開催したいという話を聞いた時に総会の時にも呼びかけを受けたところだが、これだけのことを話そうと思ってきているのなら、呼びかけするところも親切にしなければいけないしこのブロックでは、病院のことは切り離せないのだったら、この資料の説明に限らず、病院の見通しについてきちんと話をしてもらわなければ、何のために私たちは協力をするのか分らない。以前、私たちは協力できることはすると言ったが、その代わり子どもたちに関わる安全の問題などについては教育委員会が、最後の砦となってほしいということも話をした。これが実際に最短の2年間でできるということが私たちにしっかりと納得させられなければ、2年間で量徳に追いつくために急かされることはないと思う。前回の小学校適配案の白紙撤回後、教育委員会が量徳小学校の保護者と話をしてきた時間というのは大変貴重な財産として残っていると思う。私たちにもその時間は必要である。もしそれが2年に限らず数年間かかったにしても、後になってその時、そう判断して良かったと思えるような納得のいくものにならなければならない。若竹小学校の子どもも歩幅というもある。先程部長が言われたように、統合まで何年もということであれば、新入生は入ってくる。ただその側面だけではなく、病院の問題を私たちが本当にそうだったと思えるように、量徳小学校と同じように私たちに時間と情報を流していただきたい。</p>	<p>今の話の前半部分で、若竹小学校存続のプランが欠落しているという主旨の話があったが、教育委員会では今回の検討資料を作るときにこのAグループの通学区をどう考えようかということ先程の図面の黄色い部分で説明をした。小学校のプラン1、プラン2で統合校の位置として、潮見台小学校、若竹小学校、パターンと言っているが、その中で、若竹小学校を全く度外視して最初から検討しなかったということではない。基本的な学校再編の考え方についてまず話をするが、ある学校を存続させるのか、あるいはどこかの学校を残すのかという議論をしたくはなかった。これは去年あるいは一昨年の説明会や懇談会でも再三言ってきたが、ある学校を、ある学校に移して吸収統合するという考え方ではなく、学校再編はしなければならないと言え、当然一つの地域に行けば、特に小さい学校の地域では、学校をなくさないでくれという議論に終始してしまう部分がある、あながちないとは言えない。地域に学校があった方が良いのは十分理解するが、もう少し大きなエリアで子どもたちの教育環境を考えていこうという提起をここ2年やってきた。今回そういうことを踏まえて、ある学校を存続させるのか、残すのかという切り口ではなく、一つの通学エリアの中で、どこが統合校の場所として相応しいのか、そういうことを考えればその施設が使用に耐えられるのか、耐えられないのか、耐えられないとしたらどう補修が必要なのか。場合によっては、建て替えということも他のブロックでは、統合校の位置を決めた後に示しているところもある。そういう中で、この南小樽ブロックについては潮見台小学校を統合校にする中で、通学上の安全をどうするか、という議論に進むような道を作っていきたいと考えている。このプランを見ただけであれば分かるが若竹小学校をなくすという構成にはしていないつもりだ。</p> <p>病院問題が全市的に大きな問題だということは間違いない。ただ量徳小学校と病院敷地ということからすれば、以前の小学校の適正配置の時も一つの大きな議論があって、一度築港に行って、そしてまた量徳に戻ってきたという相当複雑な要件というのが重なりあって、量徳校区の皆さんにご理解をいただかなければならない比重は極めて高いものがあつた。昨年の7月2日に第1回目の説明会をやって5月11日に一定の方向性を出した。10ヶ月程度の中で議論した。病院の方向性について知りたいということは、どこの地域の方も思っていると思う。理解いただきたいのは、この会は学校再編の議論の場であり病院がメインではない。ただ、市の出前講座の中でもメニューにあがっているので、地域やPTAで病院の現状や病院建設について知りたい、意見を言いたいということがあれば、病院の担当者と呼んで話を聞いていただければと思う。南小樽地区のAグループということで、量徳との関係はあるが、量徳の病院問題を含めてこの場でのやりとりは、避けさせていただきたい。</p>
5	<p>量徳に関しては、平成24年の3月に閉校ということで考えて良いか。量徳のPTA、地域は反対もあるかもしれないが、基本的には同意をしていると考えて良いか。南小樽地区ブロックについては、病院問題を切り離して考えて欲しいとあったが、どうしても病院問題に引きずられているところがある。病院の建設で平成24年着工は難しいという話も聞くが、実際平成24年3月で量徳を閉めた後、病院建設が何かの事情で1年、2年遅れたとなった場合もあり得ない話ではないのではないか。そうなった時に若竹小学校も引きずられてしまうという可能性がある。そういうことから私たちも、病院の話について聞きたいと思っている。その辺を包み隠さず話をしてほしいと思う。</p>	<p>隠すということではなく、教育委員会から病院について話すことはできない。ただ、今の話でいうと、平成24年から量徳敷地での建設工事を始めることの意味決定はしている。具体的にいうと今週から始まる6月議会で基本設計再開の予算を計上する。一番大きな問題は百億円を超える建設事業だから、起債を起すために国から許可をもらわなければならない。国から許可をもらうためにクリアしていかなければならない色々な条件があるが、今回財政状況などについて見通しが立ったことから基本設計に着手をしていく、そういう流れである。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 1	<p>6 上の子が潮見台小学校、潮見台中学校ときて今中学3年生。途中で若竹に引っ越してきたので特認で潮見台小学校に通った。先日潮見台小学校での懇談会でも発言したが、潮見台は受入校ということもあって参加人数もあまり多くなかった。今日、多くの人に参加していると思ってここにきたが、そうでもない。在校生すべて、これから子どもを学校にあげる家庭のすべてから意見を聞く方法はないか。親としては下の子がこれから入学するので、今後どうなるかということが不安だ。保護者である以上それぞれたくさん意見を持っていると思うが、発言がなかなかできない中で誰かが言った意見で話が決まってしまうのは嫌だ。保護者や地域を含めて、すべての人から意見を聞くようにお願いしたい。</p>	<p>「受入校」とか「廃校」ということは、抵抗があるということからこのプランでは「統合校」という言葉を使っているのでご理解いただきたい。 話合いの仕方については、一昨年に基本的な考え方を示して地域懇談会を行い、昨年は市内42ヶ所で基本計画素案の説明会を開催した。そして今回は、プランについて懇談会を行っている。結論からいうと一人一人の意見を聞くというのは不可能だ。実は昨年、平日の夜の説明会に来られない方を対象に、日曜の昼に開催したが3名しか参加しなかったという経験がある。当然、できるだけ多くの意見を聞きたいので、例えばPTAの会合にも呼んでいただければこちらから出向いて話をすることには可能だ。ただ、こういう形の懇談会ですべての方に来てもらうということには限界はあると思う。開催のお知らせについても学校、幼稚園・保育所の保護者、地域に知らせていることをご理解願いたい。</p>
	<p>7 特別支援学級についてはどのように考えているか。うちの子どもは現在特別支援学級に通っていて、2年後では6年生で他の学校に通うことになるので、先生や中身についてどのようになるのか。</p>	<p>基本的には、準備期間での交流とか大括りの部分での考え方については持っている。ただ、特別支援学級に通っているお子さんの場合、人との接し方の面で相当気を使いながら、考えながら持っていかなければならないと思う。統合校と同じ種別の学級があれば、事前の交流もやっていく、先生にお子さんの状態等を十分理解してもらうことが必要だと思っている。ただ、移る学校にその種別の学級がなければ、開設をするという基本的な考え方は持っている。</p>
	<p>8 特別支援学級と通常の学級の子どもは、交流する場が少ないが、若竹の場合は通常の学級で活動させてもらっている。これが変わるのは困る。</p>	<p>若竹小学校には今3人の子が特別支援学級にいるが、潮見台小学校にも量徳小学校にも特別支援学級はある。潮見台小学校を統合校の位置として、三つの学校が集まるとなれば増えることになるので、スムーズな移校について配慮する部分と考える。</p> <p>子どもさんの疾患や体の状況に応じて、個別に対応していくというのが基本になる。交流ができない状況もあるが、交流が前提なので統合校でも同じように交流はしていく。</p>
	<p>9 指定校変更の弾力的運用については、図面で色分けされている境界にある場合については、子どもの交友関係を考えて、意思是尊重してもらえるのか。</p>	<p>指定校変更の弾力的運用については、資料でも在校生、新入学生それぞれについて触れている。統合が決まって何年に統合ということになれば、それを先取りして事前に新入学の子どもについては、全員がそういうことではないが、先取りして新しい学校に行くことができる。在校生については、交友関係や新しい通学区域になった時に、こちらの学校が近いとなった時、これは通学距離が遠い近いで通学区域を決めないため場合によっては逆転現象が起きることもあるから、そういった場合は「特例を設けて学校指定に関する弾力的な運用を行います」。先程具体的な事例を地図で示したが、プラン2の方の緑色の部分、若竹小学校の一部が朝里ブロックの学校に編入という場合、友達と別れていくということになれば、その子どもが卒業するまで、友達と一緒に指定された学校ではない緑の区域の子どもが通う学校にと、特例を設けて弾力的に行う、という趣旨だ。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 1	<p>10 廃校すると決定した学校の校舎については、老朽化している部分については、一切手をつけないということか。</p>	<p>施設面について統合校とならなければ一切手をかけないのかという質問だが、統合校とならない場合でも、他の学校と同じように手をかけていきたいと思っている。具体的に洋式トイレについては、全校各階について1ヶ所は洋式にするということで全校進めている。地デジ化については、6月までに全部のテレビは新しくできないが、放送設備を利用して各教室のテレビが見られるようにということで進めている。水のみ場についても、赤水が出た場合はすべて直していく。大規模な改造は難しいが、子どもの安全や健康に関わることについては、これまでどおり統合校になる、ならない別にして進めていく。</p>
	<p>11 教育予算の要望で何度も出しているが、若竹小学校では網戸も入れられない。色々な要望を出しているが、どれ一つとして受け入れられない。昨年7月には壁が落ちたが、直ったのは9月だった。教育委員会が若竹小学校に注ぐ愛情がどの程度のものかが知れる。病院建設については、起債の話もあったが無理やり黒字を作ってきたのではないか。学校には、網戸も入れられない、トイレの要望も受け入れられない、赤水も出ている。それすらも手をかけてもらえない。信頼関係のないところから話が進んでいけないということを意見として言いたい。</p> <p>病院の問題をここで説明するのがメインではないという言い方。「出前講座を使えば良い」ではなんで病院の担当者が来ているのか。量徳小学校では、何度病院関連の話をしてきたのか。南小樽ブロックでは、病院建設という問題を抱えていると言いながら、5月11日から1ヶ月半の間が空くから不安に思っていると思いき急遽説明にきたと言いながら、病院の話は出前講座で聴けというのは随分お粗末な話だ。量徳小学校で出来たことがなぜ若竹小学校で出来ないのか。潮見台小学校がベストと考えるという説明があった。だったら若竹小学校にも手をかけて欲しい。子どもたちは無限大の可能性を持っていて柔軟性もある。これが1年先延ばしになれば、若竹小学校で卒業できる子もいる。6年生で、たった1年間、潮見台小学校に行かなければならない子も出てくる。しっかり議論する2年間という時間がもうスタートが切られているという気持ち強い。南小樽地区では病院問題が特に大きな問題だと言っておきながらそれを出前講座に任せるといのはとんでもない話だ。それに対して教育委員会の感想を聞かせてほしい。</p>	<p>病院問題の関係について、今日来ているのは、企画の担当で病院の者ではない。この懇談会の意図は、基本的には学校再編の問題だということをご理解を願いたい。病院についての、病院の是非などについては、それぞれの思いはあると思うが、それについての議論は、病院を議論する場でしていただきたいというのが基本だ。ただ、量徳では自分たちの学校のあるところに病院を建てるかどうかということもあったため、文字どおりその病院がどうなのか、必要性がどうなのか、なぜこの場所でなければいけないのかも含めて議論はさせていただいた。そのことと、学校再編は関連があるが、そのものではないということをご理解願いたい。</p>
	<p>12 22日も説明があるということなので要望だけ伝える、質問はしない。24年3月に統合になる、その時6年生になる子はどうなるのかという質問があったが、それに対する答えが通り一遍だ。どうしてもっと親身な話ができないのか。交流をやるということは前段の説明で聞いている。残り1年をうちの子どもはという質問ではないか。統合校にも先生がいるから事前に交流をします。その人が3月までに転勤をしたらどうするのか。もう各論の段階だ、このような回答では、教育委員会に任せるとい気にはならない。保護者は不安に思っている。22日の懇談会では、そこを酌んでいただいて、分かりやすい、丁寧な説明を要望する。</p>	<p>「総論ではなくて各論で話せ」ということだが、私どもも今日初めてこのプランを持ってこういう場を持たせていただいた。通学路でここから桜小学校に行く場合は、ここが危ないとか、潮見台に行った場合は、道はどうだという課題が特別支援学級の場合、たくさんあると思っている。お願いになるが、今日プランを出させていただいて、6月22日もあるので、今日来られていない保護者の方に出ればPTAの方からも話をさせていただいて、次の時にたくさんご意見ご要望を聞ければと思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>若竹小 2 6月22日</p>	<p>1 この会議に出るのは初めてだ。今、統廃合という枠組みで進んでいるが、統廃合の目的を教えてください。</p>	<p>学校再編の目的ということで質問があったが、まず、今回の学校再編に当たっては、現在の小樽市の少子化の現状が一つ。昭和39年当時は小中学生が約4万人いたが、現在では8千人程度になっている。まずはこの少子化に対応していくというのが一つ。もう一つは市内の小中学校の施設の老朽化もあって、これらを合わせた中で、学校再編を進めていって、結果として子どもたちの教育環境の向上を図っていこう。そういう観点からこの学校再編に取り組んできている。</p> <p>今回このような形でプランとしてお示しをしているが、このプランを作るに当たっては、昨年は「学校規模・学校配置適正化基本計画」というものの素案を作って、昨年42会場を回って意見をいただいていた。さらにはその前年には、「学校再編にあたっての基本的な考え方」というものを作って14会場で皆さんのご意見を伺った。</p> <p>そのような経過があって、これらを踏まえて現在お示ししている「たたき台」というようなものをお示しながら、このような意見交換、懇談会をやっていこうということだ。</p> <p>その中で今回示した「たたき台」というのは、昨年の規模・配置適正化基本計画の素案の説明をしている中で教育委員会がどういう考え方をしているか議論の「たたき台」を示すべきだろうというご意見もいただいたので、この再編プランというものを示して皆さんとこういう協議の場を設けてきているという状況だ。</p>
	<p>2 今の話を聞くと、教育環境の向上と言っているが、コストの削減とか一切関係ないということよろしいか。</p>	<p>去年の6月だったと思うが、基本計画の素案をお持ちしてここでも説明会をさせていただいた。その時に学校を再編していかなければならない必要性として、担当からの説明の繰り返しになるが、一つは小学校でいえば、市内27校の小学校があるが、現状でも7割の学校が1学年1クラスになってしまっているという現状がある。</p> <p>教育委員会としては、小学校については、クラス替えだとかそういったこともできるように考えていて、1学年2学級、12クラスの学校を作っていきたいというのを基本的な考え方として持っている。</p> <p>それからもう一つ、今の方からお金のことは関係ないのかという話もあった。端的に言って、お金を節約するために学校を再編するという言い方はしていない。ただもう一つ、今の市内の小中学校の現状として相当古い学校が多くなってきている。実は、手宮小学校、色内小学校、量徳小学校ではもうすでに築50年近くになっている校舎がある。それでこの若竹小学校ももうすでに35年経っている。だいたい学校というのは40年から50年くらいで、新しい学校に建て替えていくという考え方で進めてきているが、これから大量に建て替えを迎える学校が出てくる。そういった意味では、今回の学校再編というのは、少子化と学校施設の老朽化に対応していくために、この学校再編をしていかなければならない。簡単に言うと今後もずっと小樽市が41校の学校を持ち続けるというそういう実態にはない。子どもの数から言っても施設の状況から言っても。そういう意味では、この学校建設というのは、相当お金が掛かるわけだから、お金の部分も間接的には関わる問題だと思っている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2	<p>現在1年生の子どもの親である。今までそういった認識がなく、こういった問題があまり大きくなっているという認識がなかったので、大変申し訳ない部分もあるが。</p> <p>3 今2クラスについて話しがあったが、1クラスであるということのメリットもあると思う。そのメリット、デメリットをきちんと教育委員会はまとめられているのかというのが1点、それから建物のコストの問題というのであれば、この小学校は、例えば他の老人も使って費用を賄うような形にするとか、そういった色々な発想の仕方ということではできないのかどうか。お答えください。</p>	<p>1クラス、2クラスの部分の話だが、繰り返しになるが、この基本計画はご覧になったことはあるか。この学校再編を行うに当たって、教育委員会としてはなぜ2クラスなのか、単純にいうと、1クラスの小さい学校でもメリットもある。ただ、このままどんどん少子化が進んでいく、(学年)1クラスであっても、そのクラスがさらに20人とか15人とか少なくなっていく、そういった中では、やはり学校の再編というのは考えていかなければならない。それを考えるところで、やはり1学年2クラスというのが、学校を運営していくには望ましい姿だろうと考えている。後で見ていただきたいと思うが、私どもの考え方としては、例えばクラブ活動とか、学校行事、小学校では、運動会とか学芸会とか色々な学校行事があると思う。そういった部分では、やはり一定の規模の人数が必要だと思っている。</p> <p>それから教員の配置にしても、6クラスの教員配置と、12クラスの教員配置は当然違うわけで、特に中学校については、専任免許の関係、要するに数学の免許持っている先生が数学を教える、その数学の先生が、音楽も社会も色々教えるということはやはり避けていかなければならない。そういった考え方を持っている。それから子ども同士の交流の部分だが、やはり一定の人数がいることによって、クラス替えだとか、そういったものの色々な経験を積んでいける。今まとめて申し上げたが、その基本計画の中には、そういう視点のことも書かせていただいている。</p> <p>学校の利用の関係だが、現状では教育委員会としては、学校の建物を学校として使いながら、その場で、どういった施設が想定されるかは分らないが、例えば、老人施設だとかそういったものを併設するという考え方には立っていない。</p>
	<p>4 2クラスのメリットは分かるが、1クラスのメリットは考えたことがないのか。</p>	<p>繰り返しになるが、この基本計画の中で書かせていただいているが、小規模な学校の特長としていえることは、例えば児童生徒一人一人に全部の先生方の目が届きやすい。逆の意味で、子ども同士の間でも緊密な関係が作りやすいというのがある。これはある意味、裏と表の部分も出てくる。それから、郊外にある小さな学校、小樽でいえば豊倉とか張碓とかそういったところでは、周囲の自然を生かした色々な取り組みができる。あるいは体育館や教室などの施設が割と自由に使いやすい。どこの学校でも体育館は一つずつあるわけだから人数が少なければ使いやすい。そういったことを小規模校の長所というかメリットという部分でこの計画にも記載をしている。</p> <p>この話は実は、平成18年から教育委員会、市民の皆さんも含めて、議論を重ねて積み上げてきている。18年に市民で構成される組織を作って、そこで1年程度、色々な11回の会議を開いて一つの方向性を出していただいて、教育委員会に答申をいただいた。そのあと平成20年にその答申をベースにして教育委員会で、「学校規模・学校配置の基本的な考え方」というのを作った。これはあらあらのものだが、そういったものをまとめて、これについては当時小学校、中学校の全保護者、それから、幼稚園や保育所にも概要版を作って、お配りをして、なかなか目に触れる機会がなかったと思うが、そういう形で、このようなことをやっているということをお知らせしてきた。それから、去年の説明会の中でも、そういった一つの考え方について、これも概略版を作って、同じように小学校、中学校、それから、幼稚園、保育所全部の保護者にお配りをした。また、新一年生の家庭にも、同じようにそういうリーフレットを作って家庭に配布をして、今までの議論の経過ということで、お知らせをしてきた、というつもりだ。ただ、その辺のところに、なかなか目に触れる機会がなくて、少し唐突だという印象があったのかもしれないが、今説明をしたような経過だ。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2	<p>5</p> <p>最後に確認をさせてもらいたいが、昭和48年ごろに過疎法というのができて、それに沿って、当時の文部大臣から全国の教育長に通達が来ているということで、その流れで進んでいると思うが、地域の紛争等を防ぎながら、お互いに理解をして進んでいっているということによろしいか。こういった会議を何度も重ねて進んでもらえる、これからもそうしてもらえるとということによいか。</p>	<p>お詳しいようなのでお話をすると、昭和30何年か(昭和31年11月17日)に当時の文部省で通知が出されて、学校統合に関する一つの考え方を出した。ただそのことで全国でトラブルというか住民と軋轢が出ているケースがあったということで、昭和48年に文部省がよく住民と話し合っってこういった問題は慎重にやっってくださいという通知が出ている。 教育委員会は、現在その通知が有効になっているので、それに基づいて平成18年から色々な形で議論を積み上げてきているという経過になっている。</p>
	<p>6</p> <p>現在在学中の子どもたちは、交友関係などを考慮して特例という形で、対応していただけるということだが、再編後に入学する兄弟については、校区外でも同じ学校に行くことができるか。</p>	<p>結論からいえばできる。今でも学校の再編とは関係なく、特認の要件というのを何点か掲げている。学校にもあるし、市のホームページ、教育委員会のホームページで指定校変更の手続きというところを見ていただければ出ている。何らかの事情で兄が他の学校へ行っていた。今度妹が行くときに兄と同じ学校へ行っって良いかというのは、OKという条件になっている。今4年生で、仮に平成24年にどちらかの学校へ行っって在学中で、その後に妹さんが入って来る。その場合には許可される条件になっている。</p>
	<p>7</p> <p>先日幹事会を行い、この懇談会に出られない方に、ぜひ聞いていただきたい意見はないかと募ったところあったのでお聞きする。先程と重なる点もあると思うが、統廃合のメリット、デメリットについて教えてほしい。メリットについては先程、説明があったので結構だが、デメリットについて教えてほしい。</p>	<p>今、会長さんが言われたのは、統合に当たっってのメリット、デメリットということで小規模校のメリット、デメリットではないと思う。 メリットは先ほどのことと関連するが、一定の規模の学校になることによって、小学校の場合は学芸会や運動会、クラス替えなどにより学校が活発になるといった面がある。在学中のお子さんにとっては、3年、4年この学校にいて、よそへ移るということであるから、見た目のメリット、デメリットではなく、気持ちの問題、心の問題はあると思う。今まで仲の良かった友達と別れる、違う学校になるとか。私どもは特認の対応はするが、どこでもそうだが、2年、3年いると愛着が育まれるわけだから、転校というデメリットは一番大きいことだと思う。私どもとしては、出来る限り統合に向けての一定の準備期間を設け、子どもさん同士の事前の交流をする。新聞でも御承知かと思うが、今、どこの町でも学校再編はやっており、先日にも仁木の80人くらいの小学校と10人くらいの小学校が統合する。10人の小学校の子が、毎月1回統合校へ行っって、交流をするということを新聞で見た。そういった取組は事前の準備の中でしっかり取り組んでいかなければならない。繰り返しになるが、デメリットの大きなものは、途中で転校しなければならぬということが子どもにとっての一番大きな負担だと思う。</p>
	<p>8</p> <p>資料の関係で聞きたい。前回、Aグループのプラン1というのがあったと思うが、今回は配られてないようだが、これはもう没になったのか。 それともう一点、量徳小学校の保護者に聞いた話だが、量徳小学校では若竹小学校も統廃合になることが決定になったような文章の25日のお知らせが配られているという話だが、それはどうということか。</p>	<p>前回お配りしている小学校のプランを今回はお配りしていない。だからなくなったということかとのことであるが、1日に参加した方には、資料を配付していることから、今日プラン1やプラン2の説明を求められた時には、今日配付した居住分布の資料で代替できることから配付しなかったものである。プラン1は取り下げたわけではない。 量徳小学校の懇談会の案内の件だが、24年4月の統合に向け協議をという表現をしており、若竹小学校が無くなるという記述はしていないので、理解願いたい。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2	<p>9</p> <p>前段の部分に戻ってしまいが、例えば、若竹小学校が廃校になったとして、学校の再編というのも色々心配はあるが、学校は災害があった時の避難場所に指定されていると思う。この学校が無くなった時、その代わりについてはどうなっているのか。逃げる場所がなくなるという不安がある。</p>	<p>避難所のことは後ほどお答えするが、跡利用の基本的な考え方は、先ほど来教育部から説明している昨年11月に作った適正化基本計画という中に、跡利用の基本的な考え方が示されている。「廃止となる学校の跡利用」という項目があり、今お手元にはないと思うので、読み上げるが「統合により、廃止となる学校の建物や土地の利用については、市民の共有財産として、全市的なまちづくりの視点で地域の皆さんの意見や要望を聞きながら検討します。」というのが基本的な考え方。そういったこともあり、私はこの地区別懇談会に同席しているが、まず跡利用については皆さんの意見を聞くというのが基本的な考え方である。</p> <p>避難所の関係だが、小樽市地域防災計画が定められており、市内の全ての小中学校が避難所に指定されている。学校の統廃合に当たっては、地域防災計画に位置付けられている学校の避難所としての機能を残せるか、十分に慎重に考えていかなければならない問題と思っている。各地区で同じような質問があるが、私どもとしては、地域防災計画に基づき、慎重に考えていきたい。</p>
	<p>10</p> <p>前回の説明を受けて、今日、第2弾ということで話があったが、後段、資料に戻る形で申し訳ないが、このブロックの再編プランの8ページにAグループの4年生の欄を見ると、児童数が40名、学級数1、合計11クラスになっている。先程大野部長さんからのお話があったが、1学年1学級というのではなく12学級の学校を作りたい。そしてそれが子どもたちにとって、「大変良い環境だ」「教育委員会としても、12学級という環境をぜひ作りたい」という話をいただいたところだ。ただ、今までの意見交換の中で聞いてみると、柔らかく対応はします。子どもたちの交流関係など、そういうものも鑑みながら、移動させるといふふうになれば、このAグループの4年生の40人、学級数1という数字が崩れる可能性もあると思う。このことについて私たちにどのように説明していただけるのか。</p> <p>それから、先程、量徳小学校の25日の説明のお知らせでは、もうすでに統合時期云々というお話があったが、案内文を読ませていただくと、「南小樽地区ブロック小学校Aグループ量徳小学校、潮見台小学校、若竹小学校の統合校は潮見台小学校とし、統合時期を平成24年4月とすることについてご説明をいたしました。統合に向けては通学安全上の課題、児童や保護者の交流、施設の整備、教育活動に伴う、云々というふうにつき、統合に向けてのご意見や、ご要望をお聞かせいただくために、懇談会を開催いたしますので、参加いただきますようお願いいたします。」という文章が量徳小学校の方には配られているわけだ。私たちは6月の初めに説明を受けた時には、統合時期は24年の量徳と一緒にできれば良いという案だという説明は受けたが、統合時期を平成24年4月とすることについてご説明をいたしましたということには、私たちは全く合意をしているわけではないし、ましてやこの前の会議では、24年という数字を期限切っで説明されて、私たちには期限切りで、見切り発車されて、尻を叩かれるつもりはないということで、発言をしてお願いしたにもかかわらず、このような説明の文章が25日の開催に向けて配られるということは誠に遺憾だ。この二つについて教育委員会の考えをお聞かせ願いたい。</p>	<p>まず、学級数の関係だが、先程部長の方から学校規模、小学校の場合は12学級ということで、クラス替えができるという話をさせていただいた。ここに書かれている27年度の推計ということで、このとおりになるというものではもちろんない。私どもが基本計画を作っていく中では、色々な意見をいただき12学級にならないということも、子どもさんの推移によりあり得るということを基本計画の中にも謳っている。何が何でも、がんじがらめでなんでも12学級ということではないということでは理解願いたい。</p> <p>量徳小保護者に配付した25日の懇談会の案内に関してだが、ここに書いたのは南小樽地区ブロック小学校Aグループの再編についてのくだりは今お話のあったとおりだが、私どもの意図としてはAグループをもう一度確認というか、ここに3校の名前を書いた。5月11日の説明の際には、南小樽地区小学校Aグループの統合時期は24年4月に向けて協力をお願いしたいとの副市長の発言もあり、そこを引用した形でこのように書いた。今お話のとおり、了解したわけではないというのは、先日のこの会に参加し、意見を聞いているので、そこは理解している。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2	<p>要望の部分も入るが、くれぐれも量徳小学校に25日に説明に行くときには、この文章が、誤解のないようにしっかりと教育委員会の方で、ご説明を冒頭していただければというふうに思う。それから、もしこのような文章が、量徳小学校に配布されるのであれば、本当は私たちにも、具体的にきちんともっと分かりやすく、危機感を持てるような案内文章が、6月1日の時にお願ひしたが、そういうものが本来であれば作られても良かったのではないかと思う。主旨も何も分らないまま、子どもから受け取ってない保護者もいるということを教育委員会の方には私はこの場所で伝えたいと思う。なので、これから子どもには何も責任がない。教育委員会が招集している会議で懇談会であるのであれば、あなたたちが責任をもって保護者の手にしっかり届く手段をとるべきだったのではないか。そして子どもの目にはなかなか私達は、触れさせたくないシビアな中身でもある。それは教育に携わる教育長初め皆さんであれば、その辺のところはお察しいただけると思う。ただ単に、学校再編といっても、学校が若竹の地域から無くなるかもしれないということが、子どもは文面を通して分かるので封筒に入れるなり、郵送するなり、色々な工夫を講じていただかなければ、帰って子どもたちの不安を煽ることになるし、私たち保護者に手紙が届かない問題も出てくる。これは私の要望だ。</p> <p>私は今日あまりお話をするつもりではなかったが、もうこの時間になると教育委員会の皆さんは、質問を集約して一方的に答えて時間になりましたのでここで打ち切らせていただきます。というのはこの間の流れだと思うので、私たちも仕事が終わって子どもたちにご飯を中途半端に食べさせて、大事な会議だと思っているから来ている。なので、私たちがしっかりとこの時間を有意義に過ごせるまで親身にこの時間を、時間が8時だからといって区切ることなく、きちんとある程度、私達も節度を持つので、そちらから一方的に切るようなことはしないでお答えをいただきたい。そして先程、お父さんからの話もあったとおり、1クラスのリットがあるのかどうなのかというところでは、具体的な答えが何一つ帰ってきていない。私たちは、そういう具体的な話を聞いて自分たちの身に寄せてこの懇談会を成功させて、それこそ皆さんがいう次のステップにつなげたいと思う。それなのに皆さんがどうにでも取られるような大ざっぱな言い方しなから質問してくださいと言われても、しょうがない。その辺も配慮していただければと思う。</p> <p>それで最後の質問になるが、資料に沿って言うと、桜小学校との兼ね合いが出てくるが、緑色と黄色の図面で、桜小学校は、後期見直しということになるが、単純な発想として、若竹小学校が今日配られたようなものでいくとしたら、若竹小学校の子どもたちは、桜小学校に、私は桜に近い方だが、単純に桜小学校に転入生として入ることになるのか、隣接校であっても、前期と後期で違うだけで統合、適正配置にかかった時、転校生として行くのか、それとも途中編入された時に、その学校がすべてシャッフルされて、私たちは新しいリニューアルということで、子どもたちが移ることができるのか、そういう具体的な素案も皆さんの中では、持っていると思うので、そういうものを持っているとか持っていないとか、私たちは具体的な話を聞きに来ているわけだからそういうところを答えてほしい。そして、皆さんが本当にこの計画をやろうとしているのだったら、熱い思いで、こういうところにこういう危険な場所があって、ここは安全だけれどもここには危険な場所があるということを調査した上で、このパターンを出されているのかどうかということをイエスカノーかで答えてほしい。</p>	<p>今、最後の方にご質問、意見という形でまとめられていたと思うが、より具体的な部分での検討経過、そういったものはどの程度まであるのか、というようなお話だと思う。この懇談会は何回か繰り返していかなければならないと思うが、基本計画のその前の話も今回質問として出てきた。そういうことで、行きつ戻りつかという印象を持っている。そういった中で、具体編だけが先走っていくと、全体の流れといったものを皆さんと一つずつ合意をしながら、確認をしながら、共通の認識を持ちながら進めていきたいという思いもあるので、そこをうまく整理しながら進めていきたいと思っている。</p> <p>先ほど、話があった量徳小学校の関連と平成24年の関係について話をさせていただきたい。ご存知かと思うが、5月11日の量徳小学校の説明会の中で、市の方から文字どおり病院建設の関係で、平成24年度から具体的な病院建設の工事が始まるので、24年の4月をめどに、量徳小学校の統合をお願いしたい、ということで11日にお話しを申し上げた。その意味では量徳小学校については、24年の3月というのが一つの時間的なめどとして現実にある。</p> <p>それともう一つの議論として、この南小樽地区のAグループについては、私どもとしては通学距離とか、学校の施設状況、そういった中で潮見台小学校を統合校とすることが適切だと判断をしている。その中で、若竹小学校の位置付けということが出てくる。端的に言って、量徳には病院という問題があるから、若竹小学校には直接、敷地の問題についての病院というのではないから、例えば再編をするにしても、25年でも良いのではないか、26年でも良いのではないか。この議論というのは成り立つと思っている。ただ、私どもの考え方としては、この南小樽地区のAグループの中では、やはり潮見台小学校を統合校の場所にして新しい学校を作っていくと、この基本計画にも考え方として述べている。そうした場合に24年に量徳が、量徳も花園に行くパターンと潮見台に行くパターンと両方あるのでどちらに行くのかは議論になるが、24年に量徳が来る。そのあと、1年後、2年後に、若竹が来るという形もあり得るが、新しい学校を作っていく。あるいは学校そのものとしても、毎年一定程度の人数、何十人という子どもたちが来るということは、学校運営上もこれはなかなか大変なことだから、私どもとしてはこの若竹小学校としても、その24年3月ということも、一つの目標にして、まだ2年弱あるが、議論ができないだろうか6月1日にもお話をさせていただいて、保護者の方からも「毎年来るというのも統合校も大変だ。」という議論をいただいた。確かに、若竹小学校には量徳と違う要素もある。ただ、新しい統合校に向けてどういう議論をしていくのか、という部分で言えば、私どもとしては是非若竹小学校も、そのような日程の中で議論をしていっていただきたい。このところはご協力をしていただきたい、というのが私ども教育委員会としてのお願ひだ。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2		<p>それと桜小学校との関係、図面の緑色の部分が、仮に桜ということで選択した場合の扱い。一つは、今言われたとおり、桜小学校を朝里ブロックにしているので、そちらはどうなるのかという議論も当然ある。ただ、朝里ブロックについては、4校の小学校を3校にしていく考え方でいる。大きくいうと、朝里川で、桜と朝里、望洋台、豊倉は区切られているので、私どもの立てているプランでは、桜小学校はそのままになっている。長期になっているが、そのままという押さえた。昨日豊倉小学校で懇談会をやったが、豊倉と朝里との組み合わせ、豊倉と望洋台との組み合わせということで提案しているが、桜小学校は単独という状況で、後期の期間の中で動くかどうかという部分については私どもの持っているプランではそういう形では示していないはご理解いただきたい。</p> <p>それから通学路の安全の関係について、以前に何回も事故があったことも含めて、お話し合いをさせていただいている。今、桜小学校でも桜小学校から少し上がったところに、見通しの効かないところがあり、信号機設置ということで話が出ている。この図面の緑色の部分が、桜に行くとするれば、そこを通ることになるお子さんも出てくる。そういう課題について私どもは一つずつ対応していかなければならない。交通安全上のことは、それぞれ学校でも安全マップなどで危険箇所を載せているので、私どもも一定程度は知っている。ただ今回の再編の中では、大きく通学路が変わるわけだから、仮にこの図面で言えば、黄色い部分のこの地点だけでも、潮見台に行く場合新しい通学路になる道路の具体的な危険箇所についての情報はたくさんお聞きしたいし、市としてもできることはやっていきたいというスタンスでいるので、是非具体的にそういった部分での要望や提案をお聞きしたい。</p> <p>今のやりとりを聞いていて、今日、大版の緑と黄色の資料しか出てなくて、先程、質問もあったが、「これで決まりなのか。」と思われているかもしれないが、そういうことではなく、あくまでもプランが二つあって、ここ若竹小学校の通学区域全部が新しい統合校に行く案と、桜小学校方面に行く案と、二つあって、ある意味、地域の方の選択だと。選択といっても全部預けるわけではないが、それについてじっくりと話を聞いて教育委員会で判断をさせていただきたいと考えている。そういった中で通学上の安全などについて率直に「それを考えると、分割案の方はよろしくない。」とか「分割案の方がより良いのではないか。」などの意見を、こういった話し合いは今日で終わりではないが、せつかくの機会なのでお聞かせ願えればと思う。</p>
		<p>このブロックに限らず、隣接するブロックとの通学区域の見直しをするところは他にも幾つかある。今回この南小樽地区ブロックの中でも、この図面でいうと、左側の方の量徳小学校の校区に関しても、プランの中では、若竹小学校と同じような、中学校の校区を考えてはどうかという提案のプランという形になっている。先程もそれに関連して同じような質問があったが、関連してお答えはしているが改めてもう一度話をします。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2	<p>12</p> <p>どういプランになるか分からないし、これから先どうい話になるか分からないが、例えば桜町中学校区の子は桜小学校、潮見台中学校区の子は潮見台小学校に行くというプランを出されているが、そうなった場合、例えば、潮見台中学校区の子は統合校として新しい学校を作ることになるかもしれないが、桜小学校に行く子どもたちは、統合校ではない。今同じ小学校に通っている子どもたちが、方や新しい統合校と方や桜小学校にお邪魔しますというように別れるというのはおかしい話だと思う。若竹小学校の子どもたちのことを考えてきちんとプランを出しているのか、ということ質問したい。</p>	<p>包み隠さず話をするが、おっしゃるとおり大変難しい問題だと思ひ、どのように整理ができるか考へている。今日はプラン2の方で出しているが、もう一つのプラン1で言へば、この図面の緑色の部分も黄色になるので、この地域全体として作るので議論として分かりやすいところはある。まだどちらかは決めていないが、通学距離などから見れば、この若竹小学校校区から見れば、学校より上の方の方々に潮見台小学校に行くというよりも桜小学校に行った方が距離的にはずっと良いだろうと思へている。そうなった場合、桜小学校と若竹小学校のグリーンの部分で、新しい校名、新しい教育目標、そういったものの議論がどこまでできるか。私どもとしては一切してはだめ、全部桜小学校にあわせてほしい、そういうスタンスではない。ただ、基本計画の中でも、新しい学校を作ると一つの基本的な考へ方。それともう一つは、今言われたように、その区域を統合するという考へ方。その二つの中での議論をしよう、そういう言ひ方している。だから桜小との関係の中で、全然議論がないということではない。このグリーンの部分が桜小の方に行くということになると、準備はしていかなければならないから、そこの中でやはり議論はしていかなければならないだろう。ただ、黄色の部分との濃淡というのはどうしてもあると思へう。</p>
	<p>13</p> <p>ここに学校があるという良さはたくさんある。例えば地区に学校があるから私たち保護者は、子どもたちを学校に安心して通わせることができる。もっと言うと、子どもたちが近くにいることによって、この若竹地区は活性化される。こんな良いこともあると思へう。そして例えば、ここに住居を構へたいと思へる人は、なぜ住居を構へるかという近くに学校があるから。子どもたちが大きくなって学校に進むときには、ここに通学するというので、ここに住居を構へる。若竹地区の皆さんは、そうして生活を送っていると思へう。例えば病院が建つ。その都合によって、大人の都合によって、学校を統合するということは子どもたちにとってどれだけのデメリットがあるのか。もっと言うと環境が変わる。子どもたちには環境に慣れるのが早い子もいるし、遅い子もいる。そういう意味ではたくさんのデメリットをはらんでいると思へう。数字上、各学校で12学級を維持するための学校再編であるのであれば、まだまだ見直す点がたくさんあると思へう。個々にいる子どもたちのことをもっと考へてほしいと思へう。前回も参加させていただいて、今日も話を聞いていたが、何か忘れ物をしているような気がする。安全面も大切だが、それよりももっと大切なものをもう1回見てほしいと私は思へう。今までずっと聞いていてそう思へた。</p>	<p>今、保護者の方から出された意見、否定する何ものもない。ただ教育委員会の一つの立場としては、やはりこれだけ子どもの数が減ってきている、そしてこのまま小樽の小学校27校をそのまま持っていくのかと、やはりそうはならないと思へている。ある意味そこにあたる子どもさんたちの負担は十分分かる。ただもう一方でご理解いただきたいのは、私どもも平成13年、14年で中学校3校の適正配置をさせていただいた。そして前回、小学校で色々な議論になったが、堺小学校の再編をさせていただいた。そして、その当時から見てもさらに少子化が進んでいるという中でどこかでやっていかなければならない。そのことは、理解していただきたいと思へう。</p> <p>それぞれ小学校27校を作ってきた経過というのは色々あるわけだが、直近で言へば、望洋台にも団地を作って、学校が必要だということで望洋台小学校を作っているし、中学校も作った。そのような経過の中できているが、現実これだけ減っている中では、学校再編は手がけていかなければならない、ということで教育委員会としては考へているし、一般論としては一昨年からのような懇談を何回もやってきており一定程度理解をいただいていると思へう。ただやはり、自分の地域、自分の学校となると、それはやはり出てくるのは当たり前だと思へう。私どもとしては、何とかこのような場で話をしながら、こういう形での議論をしながら、他の学校で出てきた意見などもホームページなどで載せているので、そういった部分で、できるだけもっと広がるようにご協力をお願いしたいと思へている。言われていることは分かるし、子どもが大事だということは私たちも全く異論はない。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2		<p>今改めて学校再編の観点というか、基本的な立場といったものの説明をした。ただ、今お話をした方の発言に拍手が起こったが、そのことから見れば、やはり私どもの伝え方がまだまだ足りないのではないかと感じている。冒頭の説明の中でも、この学校の施設の状況について触れている。昭和47年建築で、もうすでに38年経っている。学校というのはさっきの説明の中にもあったが、最長でも50年くらいで1つの建て替えの時期が来る。今38年経っているからあと10年くらいで、建て替えの話をしなければならない。これは若竹小学校の問題だけではない。昭和50年代に建てた学校が小樽市内にたくさんあるが、それに次から次と建て替えの時期が到来する。そういった時に、今から10年後、20年後にどういった学校の配置になるのか、その辺のところもぜひ議論を深めていただきたい。今日はそういうことに多くの時間をとることもできないが、また改めてこの懇談会の中でお話をする機会があれば話をしていきたいし、逆にその辺のところをもっと詳しく話してくれということであれば、全く話をするとはやぶさかではないので、そのような立場だ。</p>
14	<p>今までの話を聞いていたが、私たちの意見を聞いて教育委員会としては、どういった決断をする考えなのか。ただこうやって集まって、意見を聞きますというふうに集まるが、統合はいたします。という話し合いのような気がしてならない。その辺を聞かせていただきたい。</p>	<p>最初に「統合するのか。」という部分についてのお答えだが、私どもは統合を進めていかなければならない。その意味では、極めて事務的な言い方をさせていただければ、プランで二つお示しをしている、そのどちらかを選んでいただく。選んでいただくプランによって通学路が決まってくる。それに対しての安全対策、事前交流といった部分について進めていきたいと考えている。ただそのめどがいつなのかということについては、中学校での統廃合も経験しているし、小学校も経験している。正直言って全員の方が賛成しているとはならない。極めて大ざっぱな言い方をすれば、それではこの時期に具体的に準備を進めていこうか、という流れのようなものはある。その部分で言わせていただければ、私どもは24年の4月に向けて、何とかご協力をいただけないか、その部分については基本的なスタンスとしては持っている。ただ、昭和48年の文部省の通達の話があったが、やはりこの学校の再編というのは、このような話し合いを何回もやっていくことがまず必要と考えている。最初から絶対反対、最初から話を聞かないということではなく、交通安全上の対策がきちんとされるのであれば良い、とか色々な条件があると思う。そういった部分でこれからも何度も話し合いをさせていただきたいと思う。</p>
15	<p>内容が全然変わるが、もし潮見台小学校と一緒にすることになったら、他の量徳小学校の遠い方も変えようということになると思うが、もし仮にそうなった場合、高学年だとすんなり歩ける場所と思うが、遠い人たちにすると、5号線の交通量の多い場所や線路があって踏切があるが、うちは築港だが、低学年だと歩いて見ても、とても危険な場所で、道路の下をくぐったり暗い場所を通ったり、歩道もなく、踏切を通して、大きい子だと慣れて行けると思うが、1年生では通えないような距離の方でも築港に限らずいると思うが、その辺は危険なところに、若竹でも交通指導員がいるが、危険なところには交通指導員をつけてくれるのか。ちなみに、うちの子はこのまま統廃合になれば、3年生から通うことになるが、危なくてとても通わせる気にはなれないと思う。道路を新しくするとか、交通の面も考えてほしいと思う。</p>	<p>交通安全の関係だが、交通指導員が、ここの入口のところにも配置されているが、これから通学路を確定していく中で、信号の問題とか、確かに築港から上がってくる車のスピードもあるので、そのところは現実的に話をさせていただきたいと思っている。どの経路が一番安全でどうしてもここを通らなければならないときはこういう状況が一番安全で、ここを通らなければならないときはこのような道路事情だから一定の指導員になるのか、交通安全対策というのはあるのでお伺いをしてできることはしていかなければならないと思っている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2	<p>16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランの決定はいつどうやってするのか。 ・私たちが合意したとかまだだとかいうのは、誰が決めて、どういうふうに私たちに教えるのか。 ・桜町中学校はなくなるのか。次いつにしようという計画を立てているのか。 	<p>桜町中学校については後期に入れている。ご承知のとおり、桜町中学校と望洋台中学校と朝里中学校の3校が朝里地区にあるが、計画では2校という位置付けにしている。ただ難しいのは、一つの大きな要件としては望洋台が今後どのようなようになっていくのが今のところ見極められない。1工区、2工区と家が建ってきて3工区に建ち始めている。計画としては4工区として潮見台の方までいく大変大きな団地になる。単純に桜町中学校と朝里中学校だけで言えば、基準にしている9学級以上というのは、まだしばらく確保されることになる。当面、望洋台を中心にした子どもの動向がどのようになるのかを見極めて考えていかなければならない。その意味では桜町中学校を今年耐震診断が終わって今耐震化工事の実施設計をしているので、後期は平成29年からだが、今の段階で桜町中学校がなくなるということはこのプランでもいいきれない。もう少し子どもの人口動向を見ていかなければならないと思っている。</p> <p>それと、今日お示している図面では、単純に言って、中学校区で分けてこのような色分けになっている。議論の中で、この緑と黄色のラインがもう少し動いても良いのではないかという議論があれば、それはまたもう一つの課題になると思う。実は私も若竹町に住んでいて、中学校は桜町中学校だったが、当時はずっと潮見台側の方が桜町と潮見台の境界だった時代もあったので、この線引き自体もこれで完全に固定ということではなく、もう少し潮見台側に線引きをしたほうが良いとか、この辺は桜町中学校の方にいれた方が良いとか、そういった議論があれば私どもとしては当然話し合いをしていきたいと思っている。</p>
	<p>17</p> <p>今話を伺って、どれも全部不安だ。例えば、私たちが、この若竹小学校がなくなること反対しても2年後にこの計画を実行されるのか。</p>	<p>私どもとしてはこういう形でお示しをさせていただいて、今現状でも色々なご意見をお持ちの方がいらっしゃると思うが、私どもは、このプランにご理解をいただいでご協力をいただけるよう、できるだけこういった説明会を続けていこうと思っている。</p> <p>皆さん反対なのにやるのかと聞かれて、みんなが反対だがやるぞ、とは言えない。そういうことがないようにするために、こういった懇談会をやっている。そのところはご理解いただきたい。</p>
	<p>18</p> <p>まちづくりの観点ということから、この若竹町をどうしていくのかということが非常に大きいと思う。築港再開発という形で、大規模な開発をして道営住宅もありマンションもある。そして古い道営住宅も直している。また、開発の官舎の跡地も空き地のままになっているし、こういったまちづくりという観点で、ここは築港駅の近くだから、非常に通勤の便もよく、実は私は札幌に通勤をしているが、そういった部分で、JR 1本で通勤できるという非常に魅力的な街だが、将来的に小学校がなくなれば、この地域のまちづくり自体がどうなってしまうのか。そういったことは教育委員会とは別に、小樽市の政策の部分になると思うがそれをどのように考えているのか。</p>	<p>今お話された方、おっしゃるとおり、この地区は小樽築港駅に大変近く札幌への出入りも便利な地区だということで、ある程度国道に沿った形で、住宅も張り付いていると考えている。若竹地区の土地利用、あるいは、ここの学校の今後のあり方、そういったものについては先程お話をしたとおり、まずは皆さん方のご意見を聞いて、最終的には学校の統廃合とは別にこの若竹小学校今後どのような形で使っていくかというようなことで、これまでも、過去に何校か学校の統廃合を経験してきたが、それと同じく私ども企画政策サイドとしても、その地区のまちづくりをどう考えていこうかと意見交換会を設けているので、そういった中で皆さん方のご意見をいただきながら、今後の若竹地区のあり方を一緒に考えていきたいと思う。</p> <p>特に学校というのは、教育の場としての機能だけではなく、先程も質問があったが、避難所としての機能を持っているし、地域によってはコミュニティーの形成の場としての機能を持っている学校もある。こういった希望を今後当然出されて、今はまだ個人レベルの意見が中心になっているが、地域としてこういった形にさせていただきたいということも当然出てくると思う。そういった形で私どもはご意見をいただく中で、当然配慮していくものは配慮していかなければならない。一方、行政としては残して利活用する施設をどう改修していくのか。これには当然費用が掛かる。誰が今後維持管理をしていくのか。運営主体の問題もあるから、そういったことを総合的に考えながら地域のまちづくりを考えていきたいと思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
若竹小 2	<p>19 今日とは前回に比べると、ストレートな回答が聞けたと思う。皆さんも前回よりは良かったと思っていると思う。適正配置の資料を読ませていただいて、懇談会を重ねて行って、皆さんの同意が得られた学校から順に実行していきたいという文言があったが、懇談会を数多く開いて意見を聞いて、そしてあくまでも教育委員会の方で、最終決定を判断するということが良いか。どこかの段階で何を持って合意を得たということではなくて、あくまでも教育委員会の方で、最終的に判断を下すというようにこちらはとらえてよろしいのか。</p>	<p>今、会長が言われた部分、大変難しく、どこで見極めるのかということがある。繰り返しになるが、私どもも皆さんに一生懸命丁寧な説明をしながらご理解をいただいた上でやっていきたいというのが基本的なスタンスだ。 一方では先程申し上げたが、この地区では、量徳との関係で24年3月という一つの時間というものもあるので、精力的な話し合いをさせていただきたいと思う。どこで見極めるのかというのは、大変難しいが、今日量徳小学校のPTAの副会長も見えているが今週の金曜日にまた量徳のPTAとの懇談会を行う。</p>
向陽中 5月24日	<p>1 資料の2ページで、平成27年度の人口推移について町別に示しているが、奥沢、天神、真栄から向陽に通っていることを考えると、この数字自体違ってくるのではないか。この数字は、あくまで町別の人口推移ということか。</p> <p>2 プラン1プラン2とあるが、これを根本的に変えていくということはないのか。例えばここだと、天神小学校と向陽中学校2校があるが、ここ何年も避難所として利用したことないが、もし何か起きた時に両方がなくなった場合どうするのか。地域にとっては避難所として必要だと思う。</p> <p>3 向陽から潮見台へ向かうことを考えた時、天神方面から奥沢十字街へ出て、潮見台の方に曲がっていくバス路線はない。バス会社と話をしてそういったことも考えていただけるのか。</p> <p>4 小学校、中学校を一つにするということを考えていないのか。</p>	<p>今言われたとおり、奥沢の場合は、潮見台と向陽に分かれているので、これはあくまで住所で整理したものと理解してほしい。学校別に分けたものではない。</p> <p>一つ確認したいのは、今日お配りした資料の表紙の部分で検討のために書いてあって、その下の囲みがある。担当の方から、この地区は2校の中学校を1校にして検討の結果、潮見台中学校が適切であるという言い方をした。ただ今回、私どもがお示しするのは、まずは皆さんから色々なご意見をいただくために、教育委員会の考え方をお示ししたということだ。一つの案ということだが、潮見台、向陽どちらにしても、バスは使わなければならない。バスの流れだとか、そういうものから潮見台が適切という言い方をしているが、あくまでもこれからの協議になる。</p> <p>中央バスからも、乗客がいればバスを出します、と言われていた。今でも市内で400人くらいの子供がバスで通っている。小学生はスクールバスを出しているが、中学生は部活などがあるため帰る時間が一定ではないので、路線バスを使ってもらっている。路線バスでも中学生が通う時間帯は、学校へ向かう時間は混み合うのでスクール便を出してもらいたいような話はしなければならぬ。担当からの説明の最後に、統合が決まれば、どのようなことを協議していかなければならないか、という説明の中に、通学路の選定なども書いているが、当然今、話されたこともその中に書いている。</p> <p>ここも含めて中心部では、割とその議論は出てこない。忍路などでは、小中を一緒の場所にした学校とするのはどうなのかということでご質問を受けている。私どもがお答えしているのは、今回学校再編を全市的に行う中で、今申し上げた例で言いうと、忍路小と中は現実的にあわせても50人くらいだ。それが小学校1年生から中学校を卒業するまでに、一度もクラス替えがなくて小学校の場合だと複式編成になって9年間を過ごしていく、先生方の配置も少なくなっていく、単純に小中を合わせれば多くなるのではという議論もあるが、基本的な考え方は、この学校再編を進める理由は、一定程度の学校規模でクラス替えも、教員の一定の配置もできる。特に中学生だと、専任の免許以外の教科を教えないといけないという状況がそこら中で出てくる。あとでまたお話ししたいと思います。例えば中学校で6クラスであれば先生の数は、校長も入れて11人となる。教育委員会が望ましいと考える9クラスになれば16人。基本的に専門の免許で教えることのできる体制を作ることができる。そこが教育委員会では、小学校では12、中学校では9クラスを一つの基準で考えている。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
向陽中 5	<p>教える側からすればそうかもしれないが、生徒にすれば、通学距離が遠くなるのは大変だ。それが、強いては、学校に通うのが大変だから小樽から出て行ってしまおうと思う。通う生徒の立場に立って、どうにかならないのか、要するに通学距離をなるべく短くして、小学校、中学校を全部ひとまとめにしてその学校から半径2キロくらいの通学区域を新たに組めないのか。小学校は小学校で、中学校は中学校でやるとできないと思う。だから、今まで小学校だったところを中学校に変えてしまうという方法をとれば、その通学距離でもっていけるから、その辺も考えていただきたい。</p>	<p>それはまた違うプランの話の参考にさせていただきたい。この地区で、小学校と中学校を一緒にということだが、当てはまる地区になるかどうかは、また別として、小学校と中学校を同じ施設でということになれば、体育館は2ヶ所作らなければならないとか、グラウンドはそれなりに広くなければならないとか、物理的な課題もある。そういうことで小樽市内にそういう場所があるかどうかということだ。</p>
6	<p>（要望） 向陽と天神のうち片方が残るのであれば、中学生は大人より時間がかかるかもしれないが、体型も大人に近くなっていて歩けるかもしれない。小学生は、低学年の場合、歩いて通うと2キロを超えれば、おそらく1時間かかると思う。そういうことを考えてほしいと思う。</p>	
7	<p>13ページに書かれている、施設面での特徴で、潮見台中学校のこのことについて書いているが、グラウンドのことについて書かれていない。4ページには、4,800㎡とあり、すごく狭い。グラウンドに関しての考えを聞きたい。</p>	<p>確かに潮見台と向陽を比べると、向陽のほうがはるかに広い。中学校のグラウンドの基準からいうと、プラン1で言えば、4,000㎡ちょっとあれば、面積としては基準を満たして、プラン2の388人だと5,000㎡くらいが基準になっている。市内の中学校で見えていくと、実面積は、広いところもあれば狭いところもあるが、向陽が8,800㎡、狭い学校は、菁園の3,000㎡だとか、桜町3,700㎡。銭函中学校や向陽では、1万を超えており、基準面からいくと、最低基準は満たしているが、向陽と潮見台を比較すれば、潮見台の方が狭いのは間違いない。</p>
8	<p>グラウンドに関して言えば、狭いということだけの回答ということか。</p>	<p>校地の面積でいうと、潮見台中では、1万3千㎡程。向陽中で2万程ある。必ずしも、崩していけるかどうか、法面や斜面もあるので、改善のある部分をこの統廃合に向けてやっていける分はあると思うが、それに限界はあると思う。どこまで削っていけるかということについて、計算はしていない。</p>
9	<p>グラウンドが狭いと、人数が多ければ1人当たりの面積が小さくなるが、改善はするのかもしれないのか。</p>	
10	<p>今グラウンドの話が出ているが、最低どこまで面積が必要なのか。潮見台中学校のグラウンドも見たことがあるが、はっきり言って野球をやると言っても、ほとんどできない。ほとんど球は道路に落ちてしまう。広い面積はあるが山側を削らなければならない。物理的にできるのか、やる意思はあるのか。向陽中学校以上とは言わないが、面積を作るというのであれば、どれだけの費用がかかって、どれだけ削るのか案を示さないと、ただ口で「できる、できない」と言っているのならば開かない。これだけやるのだったら、これくらいの費用がかかるというのが、普通ではないか。色々学校を見ているが、グラウンドの広さはまちまちだ。どこどこを比較するという話自体がおかしい。向陽と潮見台の話をするとき、向陽に合わせるのか。やるとしたら費用がどれくらいかかって、それが本当にできるのか、土地があるのは山側か。それなら、校舎をどけなければいけない。そこまでやる意思があるのか。</p>	<p>今の話は、プランに向けての検討結果で、このブロックの中学校の位置としては、潮見台中学校と向陽中学校を比較してそういった中で先程話のあった、施設面からの検討の部分で、グラウンド面積が触れられていない、そういったことがきちんと触れられて、かつ、必要最小限の面積も比較検討する材料としては重要なことではないか、という主旨のプランの検討結果についての話だと思う。その後の男性の話も同じ主旨だと思う。プランの検討結果の表現に盛り込んだ方がいいという最終的にはそのような話だと思う。</p> <p>まず面積の基準についての話だが、文部科学省の方で、中学校の設置基準を持っている。その中で、運動場の面積について、生徒数が240人以下の場合は、3,600㎡、241人から720人までは、3,600㎡×生徒数から240人を引いた数の10倍となっているので、これを当てはめると、295人のプラン1の場合では4,150㎡になる。388人になると5,080㎡になる。それから、どこまで削るのかとか校舎をどかせてという話もあったが、今簡単に答えることはできないので、話し合いもこれが最後ではないので、ご意見として伺っておいてどこまでやっていけるのか検討していきたいと思う。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
向陽中	<p>11 新聞報道で、平成24年度、南小樽地区の量徳小学校の廃校の記事があったが、ここも南小樽地区なので同時進行するのではないかという懸念や色々考えることがある。前期8年の計画には入っているが、小学校、中学校全体的に具体的な策は考えているのか。</p>	<p>去年の11月に適正化基本計画を策定する前の5月26日にこの向陽中学校で素案の説明会を開催した。あまり集まっていたけなかつた経過がある。この計画の中には南小樽地区だけではなく、小樽市全体のことが書いているが、計画期間は15年という長い時間をとっている。その中でも、学校の設置状況であるとか、子どもの減っていく状況などで、一定の区分をしているが、前期で取り組んでいかなければならない地区と後期で取り組む地区に大きく分けている。後期は朝里地区と銭函地区、それ以外は全部前期という書き方をしている。平成22年から平成29年の8年間を前期の計画としている。</p> <p>ここは前期の中で学校再編をしていかなければならないということだ。では、前期の地区は平成29年までやらないのかという疑問が出てくると思うが、この基本計画の中にも書いているが、学校の問題は保護者や地域にとってもとても大きな問題なので、このような懇談会をきちんとやって、一定の合意ができたところ、まとまったところからやっていく扱いにしている。そして、合意ができたところから行うとなった場合に、先程の説明の中でも、赤い部分で示している、いわゆる隣接している部分、量徳小学校では、中学校に行くときに、潮見台中と菁園中に行く。若竹は桜町中に行く子どもと潮見台中に行く子どもがいる。それでこういう分けたプランを示している。隣のブロックと隣接するところは、そこの調整をしていかなければならない。それを含めて、前期の8年間の中で、方向性を出していく。先程の量徳については、平成24年3月で統合校を決めて実際に統合するという方針を決めさせていただいた。もちろん病院の問題もあるので、一定の時期に区切ってやらせていただく。この基本計画全体からすれば、この地区は何年までとの区切りはない。一定の合意ができて、統合校を決めるか、それと、中学生では制服の問題もある。</p>
	<p>12 統合を4月からやるのであれば問題ないが、途中からやる場合は。</p>	<p>年度途中でやるという選択肢はない。また後でお聞きする。この計画の全体的な位置としては、いつやるということは決めていない。ただ量徳は、先程言ったように、この南小樽地区のBグループの天神、奥沢、それで中学校はこの地区全体についても決めてはいない。全市的に24年3月で議論をさせていただいているのは、この南小樽地区のAグループと考えていただいて結構だ。</p> <p>この懇談会は、今日が6ヶ所目だ。今までの5ヶ所の中でも、やるのであればあまり時間をかけないでやってほしいという意見もいただいている。</p> <p>潮見台小学校での懇談で、潮見台中学校の保護者の方から今話のあったピンクの部分の若竹小学校との兼ね合いで、ピンクの部分に住んでいる保護者の方から発言があり、「非常に悩ましいところだ。」と言っていた。ここに実際に住んでいる保護者、あるいは、その関係の保護者と話し合いをしたいという率直な話もあった。これからは色々な形での懇談、あるいは、意見交換の場を作っていかなければならないと考えている。</p>
	<p>13 学校を直すということになれば、改修にある程度の期間がかかるから夏休みや冬休みの工事になる。そうすれば、4月からの統合にならないのではないのか。</p>	<p>工事の騒音などを考えて、夏休み、冬休みの期間の施工になる。特に冬は雪が降るので学校校舎の改築になると、夏休みに大きな工事をやって、雪が降るくらいまでに、大きな工事を進めておいて、細かい工事を冬休みにやって次の年度に間に合わせるというのが一つのパターンだ。</p> <p>施設面からだけではなく、教育の部分からも1年間の勉強の進め方を計画を立ててやっているの、2学期から一緒になるとかそういうことは現実的には難しい。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
向陽中	14 昔、小学校の時に天神小学校と奥沢小学校で2学期から、人員の異動がありクラスがなくなった、増えたということがあった。	40～50年前には、手宮から北手宮に移っていたという話を聞いたことがあるが、今の話は聞いたことがなかった。
	15 天神の方のプランとして松ヶ枝中や菁園中との組み合わせは考えていないのか。この形で行くとあくまでも、小学校を主体にした校区なので中学校は中学校の新たな校区をこしらえて、もし松ヶ枝中が残るのなら、その方が近いし、奥沢から実際に潮見台中に行くよりも菁園中に行くという人もいるし、実際に奥沢の上の方でも菁園に行く人もいるし、プランとして偏ったものでなく松ヶ枝や菁園も考えたプランというものはないのか。	<p>ブロック分けの考え方は、総合計画の中で使っているブロックがあつて、その中でこの南小樽地区を考えて、それとの関係の中で、縦に長い部分というのがある。あと、もう一つは、先程小学校の話もしたが、中学校に入ってくる子どもの学校の関係というもあり、基本計画の中でも連携ということで整理しているが、菁園中学校では五つの小学校から入ってきている現状がある。今回考えた統合の組み合わせでは小学校が二つ、そこから中学校へ行くということで、小学校の校区に合わせた形での再編というものも考えている。ただ、今、話のあった松ヶ枝中学校の話では、境界の問題はあるが、六つに分けたブロックの中でまずは議論させていただいて、隣のブロックとのやり取りについてはあると考えている。</p> <p>図面を見ると、向陽中学校は松ヶ枝中学校と直線距離では大変近く見えると思う。向陽や天神、奥沢の上の方もそうだが、松ヶ枝中学校まで徒歩で通うには無理があると思う。</p>
	16 無理ではない。潮見台より近い。	通学距離が長くなるという意味でバス通学を考える。それと、広報や道新の特集記事でもあったが、中央・山手ブロックを見ると松ヶ枝中学校は築50年を過ぎている。また、私も松ヶ枝校区に住んでいて、子ども3人を通わせたが、相当厳しい通学環境にあることは事実だ。下から上がってくる坂はきつい。冬は特に大変だ。この再編計画の中では、町の方ともいろいろな議論をしているが、通学距離のこともあるが、冬の雪のこととか、交通安全上の問題だとか、そう言ったことも含めて統合校は選定していかなければならないという考え方を持っている。その意味から、築50年という学校は建て替えの時期を迎えているからもう一度、あそこに学校を建て替えて、このまま、40年、50年そこで中学校をやっていくことは、教育委員会として持っていない。
	17 生徒が増える見込みがないからか。	<p>それもあるが、あそこの立地からして。</p> <p>似たような趣旨で、去年、地域説明会をやった時に、朝里方面の説明会では、将来計画、特に新幹線とか、そういった部分でのものも加味して考えているのかという質問もあった。</p> <p>小樽市のHPで「新幹線」で検索していただくと、3年ほど前に作ったものがあるのですが、山から出てきてすぐに山に入って、その間が500mくらいしかない。その間に駅を作って、またすぐに(トンネルに)入ってしまう。あのような地形だ。もちろん、今後どのような開発になるのかということもあるが、小樽市で一定のイメージ図は出している。地形を見ると分かるが、当然大規模な宅地造成とかそういうことはあり得ない。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
向陽中	<p>18 その敷地に住宅が増える要素は考えていないのか。</p>	<p>私は、教育委員会の前は新幹線を担当していた。住宅地を増やして定住人口を増やすという計画を持つ自治体もあるが、小樽の場合の立地条件から考えて交流人口、新幹線で色々な人を呼び込んで、その人たちにお金を落としてもらうという人口は見込めると思うが、定住人口はなかなか難しいのではないかと。計画の中では、今はストップしているが、望洋台の4工区、潮見台側の方を住宅というよりは、東京から小樽に来て別荘地として開発できないかを計画しているが、大幅な宅地とすることはなかなか難しいと思う。</p> <p>参考までに、征里にベイビュータウンが宅地造成されたが、あそこは朝里小学校の区域で、全部が張り付いているわけではないが、今の状況では学年で5人から6人でしかない。だから、よほど大規模な宅地造成がない限り、クラスがどんどん増えててんてこ舞いになるような状況にはないと思っている。</p>
	<p>19 （要望） ただ、ここに学校がないとなれば、初めからここに学校がないからやめようということになる。そういうことも考えてもらわなければならないと思う。全く施設がなければ住む人がいなくなる。施設を残しておけば、住み着く可能性がある。その辺も考えてほしい。奥沢5丁目から2、3分上ると宅地造成だけやってそのままになっているところもある。そうすると、こっち側の学校になってしまう。向こう側よりこっちの方が近いということになる。著しく増えなくても、そういうものを残しておけば、可能性があるということも考えてもらいたい。</p>	

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
向陽中	<p>町内会の仕事をやっているが、この計画案の全体的な部分は、どうしても色々な数字が積み重ねられた経過の中で、こういう形で提起されるということは時代的にやむを得ないと思う反面、一抹の寂しさを感じるというのが本音だ。「学校の統廃合を進めるに当たって」というパンフレットに地域との連携について書かれている。この地域の人は天神小学校と向陽中学校に通うという概念ができていく。統廃合がダメということではなく校区が広がっていくことにより、子どもたちと地域の関わりは今後どうなるのかなと思う。</p> <p>例えば、交通指導でもそこに学校があるから町内会や色々な人たちにお手伝いをいただくということがある。また、地域の歴史ということがかつては大変なにぎわいだったとか、あるいは、味噌屋があったとか、そういった地域の歴史を子どもに教える機会は、学校でもあるだろうし、町会でもあった。今度は別の学校が教えるわけだから、地域の子どもや孫に対する歴史などを教えることをこれからどのように作り上げていくのか。と考えることもでてくると感じることもある。</p> <p>町会でも色々なことをやっているが、子どもと町会とで時季になると野菜を植えたり、そういう交流とか、天神小学校では、「雪明かりの路」を子どもと地域とPTAを含めてやっているとか、そういう意味では校区の中に子どもがある程度少ないことによりできる色々なことがある。それは、数字を捉えて大規模になっていくときめ細かい地域との交流やそういうものが、抜けてくるのではないかという危惧がある。これから5年、10年後に校区の見直しが行われて進められた場合。そういう地域との役割、地域との関係をどう持っていくのかということに対する教育委員会の考えがあるのか、時間があるのでこれから交流もいいと思うが、聞かせてほしい。</p>	<p>今、地域の子どもを守る会の方の活動を長くされている方からのお話をいただいた。今回は再編プランで具体的な案を示したが、去年の地域説明会で基本計画の説明をしたときに、ここの会場ではなかったが、他の会場からも、地域の見守りなどをやっている方からのご発言もあった。</p> <p>今、ご質問のあった部分で特に、地域と学校の密着度の強いところ、例えば忍路や祝津などでは、運動会なども町のメイン行事としてやっている部分もありまして、そのことについてのご意見もたくさんいただいた。基本計画でも保護者や地域住民とのこれまでの取組をどのようにして行くのかということとは本当に大きな課題だと思う。それと、もう一つは、定型的なもの、決まった形のものはないと思っている。この地域はこういう形、この地域はこういう形ということで、地域でさまざまな取組をしていると思う。今この時期で、ああしろ、こうしろ、ということはないが、今日お配りしている一枚ものの資料に統合校が決まった後に、こういう議論をしていきます。という中に「(仮称)学校統合協議会」というものを載せている。ここでは、単に制服とか教材とかということではなく、それぞれ今まで地域でやっていた取組。地域のお祭りなどもあるが、ここの地区を一緒になった場合、どういうものを残していくというか、拡大していく、あるいは、一緒のものとしてやっていくのかについてご相談をしていかなければならない部分が出てくるだろうと思っている。この地域は「お父さん学級」もあった地区だということは知っていた。母親だけではなく父親の取組も色々されていたという経過があるものですから、是非この地区でこれは続けていこうということは、隣の地区に来てても、隣でも色々なことを考えてやっているわけですから、今日の段階では、そういうことを、協議会の中でも大きな一つの課題として協議する項目となるのではないかと思っている。先程も触れたが、教育委員会の考え方を持って入ったのは今日が初めてで、何回も単独のPTAの皆さんとの話もあるし、隣のPTAとの話、あるいは、小中という形での話もしていかなければならないと思う。教育委員会としてもこのような取組は極めて大事だという認識を持っているということをご理解願いたい。</p>
	<p>中学校2校を比較する上での数値のようなものはあるか。例えば、向陽中学校が潮見台中学校に統合された場合に、通学距離を数値にあらわして、この人数で行くと延べ何キロになる。向陽に来た場合は延べ何キロになるということを出さないのか。それから、校舎の年数についても向陽の方が新しいので、それを数値に換算してどちらがいいのかというような、色々な要素があると思うが、最初に言ったグラウンドの面積など、数値にしたものはあるか。</p>	<p>数値については、この図面でも示したが、①で4.1キロとか②で4.4キロとか話をしたのは、これは平成27年時点で住んでいる子どもがいる、その子が一番遠いということを示したものだ。ご意見では百人の子どもがいれば、その子どもたちの通学距離すべてを合計するということが。</p>
	<p>比較するには何か数値に直すと比較しやすい。例えば、校舎が古いから改修が必要だという要素を数値に直したのものがあるかということだ。</p>	<p>今日示した資料で、一番遠い子どもはどこになるのかということを示した。これは直線距離ではなく、基本的な道、普通ここを通って行くだろうということを示して距離を入れた。私どもも一定程度のものは持っているのですが、この辺だったら何キロくらいというのを調べたものはある。</p>

南小樽ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
向陽中	<p>23 先程からおおむね合意を得てから統合すると言っていたが、どの時点で合意があったとみなされるのか。</p>	<p>どこの会場でも聞かれる部分だ。このような懇談に今日はたくさんの方にお集まりいただいているが、全員が集まるということはなかなかないし、こういうものだから、多数決で決めることでもない。私どもも平成12、13年に東山中学校、石山中学校、住吉中学校を再編した経験を持っている。結果としては計画を取り下げざるを得なかったが、小学校では堺小学校を花園と稲穂に校区を変更した経過もある。そう言った部分からすると、このような話し合いを何回かして行く中で、そうしたらこういう形だということは、話し合いの中で出てくるものだと思う。だから、一定の時期に多数決をとって決めるということではなく、私どもこのように具体的なプランをもって地区別懇談会を始めたのが、先週の月曜日からですから、7月22日までまず全部の学校を対象にして行って、また次の段階と考えているので、今の段階でどういう時が合意の時なのだと言われれば、今までの経験でいえば、やはり何回か話し合っていく中で、そうしたらこれという、いわゆる「潮目」というと変かも知れないが共通理解、共通認識を持っていけるような議論、話し合いをしていかなければならないと思っている。</p>
向陽中	<p>24 資料の9ページと10ページの大きな改修の必要性というところで、向陽中学校は改修の必要性が特に必要ないとあるが、潮見台中学校では耐震化工事が必要と書かれているが、大体いくらかの費用がかかるのかを何故載せていないのか。プールの設置について潮見台中学校にはないので、潮見台中学校に設置を考えているのか。</p>	<p>施設の部分では、先程から議論してもらっているが、施設の面だけから言うと潮見台とここを比べた場合、圧倒的に向陽の方がいいと思っている。まず新しい、今、小樽でも耐震診断をやって耐震工事を手掛けているところがある。校舎全体ということからすれば、その構造とか大きさにもよるが、耐震補強工事というだけで一つの学校につき全部行くと2億くらいかかる。この学校は新しい基準で建てられているので耐震補強の必要がない。それから、プールという他にない特徴もある、グラウンドも広い。そこも、統合校をどこにするか考えるときの大きな要素だと思う、施設面ということ。</p> <p>もう一つは、今後子どもの数がどのように推移して行くのか、ということも一つの要素だと思う。今、現在は潮見台とここではそれほど変わらない。ただ、将来的に見ていくと、そんなに大幅ではないが、こちらの方が少なくなっていく傾向にある。それと通学の仕方、今後色々な議論はしていかなければならないと思うが、いくつかの要素を見た中で、現状で教育委員会としては、潮見台小学校の方が優位ではないのか、適切なのかなという考え方を持っている。ただ、今日いただいた議論、奥沢小や若竹小での懇談でこのような討論をしていこうと思っている。そういった中で出てきたご意見、ご要望を踏まえながらまた第2ラウンドの話し合いをしていかなければならないと思っている。</p>